

官

號

外

大正十四年二月八日 日曜日

內閣印刷局

○第五十回 帝國議會 衆議院議事速記錄第十一號

提出者 馬場 義興
賛成者 林田龜太郎
外二十九名

大正十四年二月七日(土曜日)午後一時十四分開議
議事日程 第十號

大正十四年二月七日 午後一時開議

第一 条款法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第二 米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第三 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第一讀會

第四 決議案(鐵道ノ既定計畫遂行ノ件)(元田肇君外十六名提出)

第一讀會

○議長(柏谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセ

マス
(書記官朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
入學難綏和ニ關スル建議案

第一讀會

一 荒川 五郎君 内ヶ崎作三郎君

第一讀會

一 提出者 建部 選吾君 山井 儀重君

第一讀會

一 提出者 土生 彰君

第一讀會

一 支那語教育施設普及ニ關スル建議案

第一讀會

一 提出者 丸山 浪彌君 柏田 忠一君

第一讀會

一 柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案

第一讀會

一 提出者 八田 宗吉君 楠原 經武君

第一讀會

一 提出者 柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案

第一讀會

一 提出者 八田 宗吉君

第一讀會

湖南鐵道建設ニ關スル建議案
提出者 西方 利馬君 西澤 定吉君
熊谷 直太君 佐々木春作君
齋藤 金吾君 高橋熊次郎君
八戸久慈間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者 柏田 忠一君 井手繁三郎君
高等師範學校設置ニ關スル建議案
提出者 柏田 忠一君 (以上二月五日提出)
決議案(全議案解禁ノ件)
(以上二月五日提出)
提出者 武藤 山治君 増田 義一君
吉植庄一郎君 松田 源治君
櫻内 幸雄君 (以上二月六日提出)
一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
山縣伊三郎公一行佛領印度支那派遣ノ件
ニ關スル質問主意書
提出者 森田 金藏君 (以上二月五日提出)
(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノ爲
茲ニ掲載ス)

一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
内閣總理大臣 子爵加藤高明
衆議院議長柏谷義三殿
衆議院議員馬場義興君提出經濟外交ニ
關スル質問主意書三對スル答辯書
ル質問三對シ別紙答辯書差進候
(別紙)
衆議院議員馬場義興君提出經濟外交ニ
關スル質問主意書三對スル答辯書
一 我國現下ノ經濟上ノ困難ハ主トシテ震
災ニ基ク復興復舊材料等ノ輸入ニ因ル
對外貿易ノ逆調並戰後ニ於ケル世界的
一般經濟不況ノ影響ヲ受ケ居ルニ因ル
モノト認メラル處政府ニ於テハ之ヲ
對策トシテ財政ノ整理緊縮、國內產業
ノ獎勵、輸出貿易ノ振興及海外ニ於ケ
ル邦人ノ經濟的發展ヲ助長スルカ爲最
善ノ努力ヲ爲シツツアリ
一 現行支那輸入關稅ハ其ノ稅率左迄高カ
ラサルヲ以テ政府ニ於テハ帝國ノ對支
貿易カ現行支那輸入關稅ノ下ニ於テ特
二 不利益ノ地位ニ在ルモノトハ認メ居ラス

一 政府ハ追テ開催ヲ見ルヘキ支那關稅特
別會議ニ於テハ條約ノ定ムル所ニ從ヒ
各國ト協調ヲ保チ華府會議ニ於テ定メ
ラレタル趣旨ノ下ニ同國ニ於ケル關稅
對支貿易カ蒙ルコトアルヘキ打擊ヲ緩
和スルニ必要ナル措置ヲ講セシメ度キ
意嚮ナリ
一 政府ハ日支兩國互ニ其合理的立場ヲ尊
重シ國民的諒解ノ基礎ノ下ニ精神的文
化的乃至經濟的ノ提携協力ヲ圖ルコト
ヲ以テ兩國親善ノ要諦ト認ム
一 政府ハ外交官ノ養成ニ對シ經濟的素養
ノ方面ニ付テモ常ニ十分ノ注意ヲ拂ヒ
必要ニ應シ之カ改善ニ努ムル意向ナリ
アリ政府ハ是ヲ改善スル意ナキヤ
右及質問候也

大正十四年二月三日

農商務大臣 高橋 是清
外務大臣 男爵幣原喜重郎
大藏大臣 濱口 雄幸

大正十四年一月二十九日

去五日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如
シ

輸出組合法案(政府提出)外一件委員
高木益太郎君 大濱忠三郎君
一柳仲次郎君 飯塚春太郎君
佐竹 庄七君 松井 郡治君
荒井 建三君 前田房之助君
金光 康夫君 津崎 尚武君
吉村 伊助君 田中 定吉君
山口 義一君 加藤 知正君
濱口 吉衛君 堤 清六君
土井 権大君

豫算委員 宮島幹之助君(松山兼三郎
君補闕)
豫算委員 杉宜陳君(石坂豐一君補
闕)
第二部選出
第一部選出
一 昨六日當任委員補闕選舉ノ結果左ノ如
シ

第三部選出
豫算委員 中野猪之助君（中野實君補
關）

第五部選出
豫算委員 堀山一郎君（清水長鄉君補
關）

第六部選出
豫算委員 中村嘉壽君（柏田忠一君補
關）

第八部選出
豫算委員 繩苗代君（熊谷五右衛門君
補關）

一昨六日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
輸出組合法案（政府提出）外一件

委員長 高木益太郎君

理 事
山口 義一君 堤 清六君
土井 権大君

○議長（柏谷義三君）是ヨリ會議ヲ開キマス、諸問事項ガゴザイマス、第一部選出豫算委員、宮島幹之助君、第九部選出豫算委員奥野小四郎君、第四部選出懲罰委員丹下茂十郎君、右常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）御異議ナイト認メマス、許可致シマス、仍テ其部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ヒ届出アランコトヲ望ミマス——尙ホ御諮詢致シマス、永井作次君病氣ニ付、二月七日ヨリ二月十四日マデ詰暇ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）御異議ナイト認メマス、仍テ許可致シマス——諸君既ニ御承知ノ事トハ存ジマスガ、本院議員司法大臣横田千之助君ハ、去ル五日薨去セラレ、洵ニ痛惜哀悼ノ至ニ堪ヘナイノデアリマス、此段御報告ヲ申上ダマス——尙ホ此件ニ關シマシテ竹原樺一君ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマ

ス、之ヲ許シマス——竹原樺一君
〔竹原樺一君登壇〕

〔拍手起ル〕

○竹原樺一君 只今議長ヨリ御報告ニナリ
ニ對シ、院議ヲ以テ弔詞ヲ贈ルコト、シ、其起草ハ總チ議長ニ一任スルコトノ動議ヲ茲ニ提出致シマス、此際私ハ年長者ノ廉ヲ以チマシテ、諸君ノ御許ヲ得テ議員一同ヲ代表シ、哀悼ノ言葉ヲ述ベタイト有シマス、甚ダ僭越デハアリマスルガ、幸ニ御同意ヲ賜ハランコトヲ請ヒマス（拍手起ル）故横田君ハ明治四十五年議員ニ當選セラレ、爾來引續キ其任ニ居ラレマシテ、曩ニ原内閣ノ下ニ法制局長官ニ任ゼラレ、昨年六月現内閣成立ニ際シ、司法大臣ノ要職ニ就カレ、輔弼ノ重任ニ當ラレマシタ、同君ハ尙ホ春秋ニ富ミ、前途極メテ有望ノ政治家デアリマシタ、然ルニ數日前國ヲモ病氣ニ罹ラレ、去ル五日俄ニ薨去セラレマシタルコトハ、實ニ國家ノ爲メ哀悼ノ至ニ堪ヘザル次第デゴザイマス（拍手）茲ニ謹シ此動議ヲ提出シ、併セテ此尊敬スベキ故人ニ對シテ哀悼ノ意ヲ表シマス（拍手起ル）

○議長（柏谷義三君）只今ノ竹原君ノ御述ニナリマシタ動議ニ對シテ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）御異議ナイト認メマス、許可致シマス、仍テ其部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ヒ届出アランコトヲ望ミマス——尙ホ御諮詢致シマス、永井作次君病氣ニ付、二月七日ヨリ二月十四日マデ詰暇ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）御異議ナイト認メマス、許可致シマス、仍テ其部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ヒ届出アランコトヲ望ミマス——尙ホ御諮詢致シマス、永井作次君病氣ニ付、二月七日ヨリ二月十四日マデ詰暇ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）御異議ナイト認メマス、許可致シマス——諸君既ニ御承知ノ事トハ存ジマスガ、本院議員司法大臣横田千之助君ハ、去ル五日薨去セラレ、洵ニ痛惜哀悼ノ至ニ堪ヘナイノデアリマス、此段御報告ヲ申上ダマス——尙ホ此件ニ關シマシテ竹原樺一君ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマ

斯ニ付テ、或ハ「クロムウエル」ノ連中ガ議長ヤ議員ヲ捉ヘテ議場ヲ退場セシメ、或ハ「カトリック」ヲ壓迫シタ爲ニ、十一月五日ニ「ガイオックス」ガ兩院議員ノ集ニテ居ル曰ニ英國議會ノ下ニ爆火薬ヲ詰メテ爆發セシメリ、ソテ引シ括ラレタ、英國ノ議會ハ非常ニ大ナル歴史ヲ持シテ居ル、日本ニモ是カラ色ニ事ガ起ルダラウト思フ起ルコトハ希望シマセヌケレドモ、吾々ノ力デ成ベク之ヲ防ギ、成ベクサウ云フヤウナ手續ヲ省イテ、圓滿ニヤリタイト云フノガ私ノ此所ニ立タ所以デアリマス、洪牙利ノ議會アタリデハ「ピストル」ノ彈ガ飛ブ、危ナクテ仕方ガナイ、私ハ斯ウ云フコトヲ成ベク人間ノ智恵ヲ以テ、人間ノ道徳ヲ以テ止メタイト思フ、仕方ガナケレバ懲罰ト前提ニ於キマシテ、今日居ラレヌヤウデスカガ、加藤高明君ノ態度ニ付テ議長ノ御考ヲ聞キタ伊、ソレハ去ル一月三日ノ議場ニ於キマシテ、教育費問題ガ此議場ニ出タ時ニ、私等ノ方ノ菊池君ガ之ニ就テ御尋シタ、加藤サンガ此所へ來タ所ガ御黙リナサイト云フヤウナコトカラ、是モノ小サイ導火線——小サイ導火線ガ大ナル結果ヲ生ムノデアリマス、小サイ事ガ大ナル導火線ニナシテ居ル、普佛戰爭ガ「ビスマーク」一本ノエムスノ手紙ニ依テ居ルト云フ人モアル非常ニ危ナイ點ガアルカラ注意シナケレバナラ、殊ニ總理ノ如キ人ハサウデアル、此加藤總理ノ態度ニ付テ御黙リナサル、是ハ小サイ事デアル、併シ答辯ヲ國民ノ前ニ——此神聖ナル議場ノ前ニヤルノデ

テ、幾分カ諸君ニ關係ガアル——幾分デハナイ、大ニ關係ガアルノデスカ、私ノ質問モソレニ付テ大ニ關係ガアルト思ヒマス、議事進行ニ付テ主ニ議長ニ對シテ御尋致シタイ、私ハ察聞デハゴザイマスガ、去ル二月三日ノ此議場ノ件ニ付キマシテ議長ニモ御尋ヲ致シタ、諸君ニモ亦申シタイ點ガアルカラ茲ニ起シテ、失禮デハゴザイマスガ、暫クノ間御清聽ヲ願ヒタ、此立法權ト司法權ノ問題、或ハ立法權ト行政權トノ問題ニ於テ、或ハ「クロムウエル」ノ連中ガ議長ヤ議員ヲ捉ヘテ議場ヲ退場セシメ、或ハ「カトリック」ヲ壓迫シタ爲ニ、十一月五日ニ「ガイオックス」ガ兩院議員ノ集ニテ居ル曰ニ英國議會ノ下ニ爆火薬ヲ詰メテ爆發セシメリ、ソテ引シ括ラレタ、英國ノ議會ハ非常ニ大ナル歴史ヲ持シテ居ル、日本ニモ是カラ色ニ事ガ起ルダラウト思フ起ルコトハ希望シマセヌケレドモ、吾々ノ力デ成ベク之ヲ防ギ、成ベクサウ云フヤウナ手續ヲ省イテ、圓滿ニヤリタイト云フノガ私ノ此所ニ立タ所以デアリマス、洪牙利ノ議會アタリデハ「ピストル」ノ彈ガ飛ブ、危ナクテ仕方ガナイ、私ハ斯ウ云フコトヲ成ベク人間ノ智恵ヲ以テ、人間ノ道徳ヲ以テ止メタイト思フ、仕方ガナケレバ懲罰ト前提ニ於キマシテ、今日居ラレヌヤウデスカガ、加藤高明君ノ態度ニ付テ議長ノ御考ヲ聞キタ伊、ソレハ去ル一月三日ノ議場ニ於キマシテ、教育費問題ガ此議場ニ出タ時ニ、私等ノ方ノ菊池君ガ之ニ就テ御尋シタ、加藤サンガ此所へ來タ所ガ御黙リナサイト云フヤウナコトカラ、是モノ小サイ導火線——小サイ導火線ガ大ナル結果ヲ生ムノデアリマス、小サイ事ガ大ナル導火線ニナシテ居ル、普佛戰爭ガ「ビスマーク」一本ノエムスノ手紙ニ依テ居ルト云フ人モアル非常ニ危ナイ點ガアルカラ注意シナケレバナラ、殊ニ總理ノ如キ人ハサウデアル、此加藤總理ノ態度ニ付テ御黙リナサル、是ハ小サイ事デアル、併シ答辯ヲ國民ノ前ニ——此神聖ナル議場ノ前ニヤルノデ

ル所ノ憤慨ノ念ヲ守衛ガ持テ居ルト云フ
事デアル、其守衛ノ身體ハ日本帝國ノ國民
デアル、臣民デアル、以上ハモ保護シナ
ケレバナラス、重大ナル責任ヲ持テ居

ル、ドウ云フ所ノ力ニ依テ守衛ヲ保護ス
ルコトガ出來ルカドウカト云フコトヲ聽キ
タイ、第二ニハ守衛二名並ニ議員一名負傷
者トシテ出シ、本會議ヲ數回休憩ヲ重ね
タ、サウ云フ状態ニ於テ、サウシテ三名モ
此議會ニ於テ相當大キナ所ノ負傷ヲ負ハシ
タト云フコトハ、議長ノ職責ト感ゼザルヤ
如何、又議長ハ今後議長ノ職責ヲ完ウスル
上ニ於テ、果シテ自信アリヤ如何ト云フヤ
ウナ點ニ付テ、議長ニ問ウテ此壇ヲ降ル次
第ニアリマス（拍手）

○議長（柏谷義三君） 只今田淵君ヨリ頗ル
多岐ニ瓦ル所ノ、御尋ガゴザイマシタ、或ハ
御答ガ漏レルモノガアルカモ分ラズノデア
リマスカ（田淵豊吉君「漏レタラ聽イテ下サ
レバ言ヒマスカラ」ト呼フ）第一ハ去ル三日
ノ議場ニ於ケル加藤首相ノ態度ニ關シテ、
議長ノ意見ヲ求メラレテ居ルノニアリマ
ス、國務大臣ノ議會ニ於キマスル所ノ答辯
ハ、申スマデモナク力メテ深切丁寧ナラン
コトヲ議長ハ望ムノニアリマス、當日加藤
首相ノ態度如何ト云フコトニ付キマシテ
ハ、私が申上ゲルマデモナイノニアリマシ
テ、加藤首相ノ答辯ハ、アレニ於テ盡キテ
居タト私ハ思フノニアリマス（拍手）ノウ
ノウニソレカラ議事進行ノ範圍ヲ議長ハ餘
り狹義ニ解釋ナシテ居ルノデハナイカ、斯
ウ云フ御尋ノヤウニアリマス、從來此議事
進行ノ名ニ於テ或問題ニ對シテ意見ヲ述
べテ、或ハ討論ニ涉ルガ如キ領ノニアリマ
スルコトハ、議長ノ最モ遺憾トル所ニア
リマス（ヒヤー）固ヨリ議員諸君ノ言論ハ
自由デゴザイマス、諸君ノ御意見ハ何等カ
ノ方法ニ於テ之ヲ議場ニ御述ニナル機會ガ
アルノニアリマス、必シモ議事進行ノ名ノ
ミニ依テ其意見ヲ御述ニナラヌモ宜カ
ラウト思フノニアリマス（ヒヤー）而シテ
議事進行ノ名ニ於テ色ニナル事ヲ御述ニナ
リマスルコトハ、決シテ議事ノ進行デハナ

ル所ノ憤慨ノ念ヲ守衛ガ持テ居ルト云フ
事デアル、其守衛ノ身體ハ日本帝國ノ國民
デアル、臣民デアル、以上ハモ保護シナ
ケレバナラス、重大ナル責任ヲ持テ居
ル、ドウ云フ所ノ力ニ依テ守衛ヲ保護ス
ルコトガ出來ルカドウカト云フコトヲ聽キ
タイ、第二ニハ守衛二名並ニ議員一名負傷
者トシテ出シ、本會議ヲ數回休憩ヲ重ね
タ、サウ云フ状態ニ於テ、サウシテ三名モ
此議會ニ於テ相當大キナ所ノ負傷ヲ負ハシ
タト云フコトハ、議長ノ職責ト感ゼザルヤ
如何、又議長ハ今後議長ノ職責ヲ完ウスル
上ニ於テ、果シテ自信アリヤ如何ト云フヤ
ウナ點ニ付テ、議長ニ問ウテ此壇ヲ降ル次
第ニアリマス（拍手）

イノニアリマス（拍手）却テ議事ノ妨害ニナ
ルノデアリマス、故ニ議長ハ此議事進行ト
云フモノハ、力メテ之ヲ執表ニ解釋ヲ致シ
タイト思フノニアリマス（拍手）第三ハ猪野
毛君ノ事ニ付テ、御尋デアリマス（拍手）
タルノデ、大體之ニ對シテ御答ヲ致シテ置イ
タル思ヒマス、ソレカラ其當日ノ議場ニ於キマ
シテ、本黨ノ諸君ガ多數此壇上ニ登ラレタ
ト云フコトニ付テ、何故ニ議長ハ直ニ之ヲ
處分シナカニタカト云フコトデアリマス、
淘ニ斯ノ如キ事ノ出來マシタコトハ、議長
ニ於テモ之ヲ遺憾ト致スノニアリマスルガ、
斯ル場合ニ於キマシテ直ニ——多數此演壇
ニ登ラレマシタ時ニ於テ、一々之ニ對シテ
處分ヲ致シマスルコトハ、議長ノ頗ル困難
トル所ニアリマス、ソレカラ猪野毛君ニ
退場命令ヲ執行シテ、ソレヲ遂行スルコト
ノ出來ナカニタコトハドウデアルカ、斯ウ云
フ御尋ノヤウニアリマシタガ（田淵豊吉君
「休憩中ノコトダ」「休憩中トハ如何」ト呼ヒ
「黙レ」ト呼フ者アリ）退場命令ヲシテ休憩
ヲシタノハドウ云フ譯カト云フ御尋ノヤウ
ニアリマス、是ハ當日ノ議場ノ光景ハ、田
淵君モ御承知ノ通リデアリマス（田淵豊吉
君「知ラナイ何モ知ラナイノデアル」ト呼
フ）知ラナケレバ淘ニ已ムヲ得ナイノデア
リマスルガ、議長ハ田淵君ニ對シテ退場命
令ヲ致シマシタ（田淵デハナイヨ」ト呼フ
者アリ笑聲起ル）猪野毛君ニ——猪野毛君
ハ此命令ニ抵抗セラレマシタ、此猪野毛君
ノ態度ニ對シテ、議場ガ非常ニ混雜ヲ惹起
シタノニアリマシテ、其混雜ノ爲ニ、議場
ハ已ムヲ得ズ休憩ヲ致シタ次第ニアリマス
(ヒヤー)（拍手）ソレカラ當日ノ此暴行者
ヲ取調シタカト云フコトデアリマス、之
ニ對シマシテハ——或ル諸君ニ對シマシ
テ、既ニ議長ニ於テハ其處置ヲ執リマシテ
○議長（柏谷義三君） 本案ニ對シテハ質疑
ノ通告ガアリマス、其發言ヲ許シマス——
多木久米次郎君
〔多木久米次郎君登壇〕

米穀需給調節特別會計法中改正法律案
云フモノハ、力メテ之ヲ執表ニ解釋ヲ致シ
タイト思フノニアリマス（拍手）第三ハ猪野
毛君ノ事ニ付テ、御尋デアリマス（拍手）
タルノデ、大體之ニ對シテ御答ヲ致シテ置イ
タル思ヒマス、ソレカラ其當日ノ議場ニ於キマ
シテ、本黨ノ諸君ガ多數此壇上ニ登ラレタ
ト云フコトニ付テ、何故ニ議長ハ直ニ之ヲ
處分シナカニタカト云フコトデアリマス、
淘ニ斯ノ如キ事ノ出來マシタコトハ、議長
ニ於テモ之ヲ遺憾ト致スノニアリマスルガ、
斯ル場合ニ於キマシテ直ニ——多數此演壇
ニ登ラレマシタ時ニ於テ、一々之ニ對シテ
處分ヲ致シマスルコトハ、議長ノ頗ル困難
トル所ニアリマス、ソレカラ猪野毛君ニ
退場命令ヲ執行シテ、ソレヲ遂行スルコト
ノ出來ナカニタコトハドウデアルカ、斯ウ云
フ御尋ノヤウニアリマシタガ（田淵豊吉君
「休憩中ノコトダ」「休憩中トハ如何」ト呼ヒ
「黙レ」ト呼フ者アリ）退場命令ヲシテ休憩
ヲシタノハドウ云フ譯カト云フ御尋ノヤウ
ニアリマス、是ハ當日ノ議場ノ光景ハ、田
淵君モ御承知ノ通リデアリマス（田淵豊吉
君「知ラナイ何モ知ラナイノデアル」ト呼
フ）知ラナケレバ淘ニ已ムヲ得ナイノデア
リマスルガ、議長ハ田淵君ニ對シテ退場命
令ヲ致シマシタ（田淵デハナイヨ」ト呼フ
者アリ笑聲起ル）猪野毛君ニ——猪野毛君
ハ此命令ニ抵抗セラレマシタ、此猪野毛君
ノ態度ニ對シテ、議場ガ非常ニ混雜ヲ惹起
シタノニアリマシテ、其混雜ノ爲ニ、議場
ハ已ムヲ得ズ休憩ヲ致シタ次第ニアリマス
(ヒヤー)（拍手）ソレカラ當日ノ此暴行者
ヲ取調シタカト云フコトデアリマス、之
ニ對シマシテハ——或ル諸君ニ對シマシ
テ、既ニ議長ニ於テハ其處置ヲ執リマシテ
○議長（柏谷義三君） 本案ニ對シテハ質疑
ノ通告ガアリマス、其發言ヲ許シマス——
多木久米次郎君
〔多木久米次郎君登壇〕

最後ノ議長ダ云々ト云フコトガゴザイマシ
タガ、是ハ此所ニ御答ヲスル限リデナイノ
デゴザイマス、此段御答辯ヲ致シテ置キマ
ス（拍手）

「田淵豊吉君」議長々々検事局ノ關係ハ
スルナト呼フ者アリ

「田淵豊吉君」尙ホ答辯ノ漏レタモ

ノガアルサウデゴザイマス、ソレハ議員諸
君ノ間ニ起シタ事柄ニ付テ議長ハドウスル
カト云フコトデアリマス（田淵豊吉君「檢事
局トノ關係ヲ知リタイ」と呼フ）、議員諸君
ノ間ニ起リマシタ事ハ、成ベク議員諸君ノ
間ニ於テ是ガ解決ヲ願ヒタイト云フ所ノ希
望デアリマス、是ダケノコトヲ御答ヘ致シ
テ置キマス（拍手）

「田淵豊吉君」第五ノ答辯ガ無イ ト呼
ブ

○議長（柏谷義三君） 是ヨリ日程ニ入リマ
ス、日程第一、米穀法中改正法律案、日程
第二、米穀需給調節特別會計法中改正法律
案、是ハ同一ノ議案ニアリマスカラ、一括
議題トナスニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（柏谷義三君） 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程第一、米穀法中改正法律案、
日程第二、米穀需給調節特別會計法中改正
法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——三土政府
委員

第一 米穀法中改正法律案（政府提出）
第一 米穀法中改正法律案（政府提出）
第一 附則

第一 米穀法中左ノ通改正ス

第一條及第二條中「米穀ノ需給」ヲ「米穀
ノ數量又ハ市價」ニ改ム
第四條中「米穀需給調節上」ヲ「米穀ノ數
量又ハ市價調節上」ニ改ム
本法ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行

米穀需給調節特別會計法中改正法律案
第一條中「米穀需給」ヲ「米穀ノ數量又ハ
市價」ニ改ム

本法ハ大正十四年年度ヨリ之ヲ施行ス
〔政府委員三土忠造君登壇〕
附則

○政委員（三土忠造君）只今上程サレマ
シタル米穀法中改正法律案、並ニ米穀需給
調節特別會計法中改正法律案、此二案ニ關
シマシテ、提案ノ理由ヲ極メテ簡単ニ申述
シタル所ニ於テモ之ヲ遺憾ト致スノニアリマスル
シテ米穀數量ノ過不足ノ緩和ニ努メルコト
ガ出來ルコトニナツテ居ルノニアリマス、
ベイト考ヘマス、現行米穀法ニ係リマス
レバ、政府ハ米穀ノ賣買ヲ行ヒ、又ハ關稅
ノ增減免除ヲ爲スコトニ依リマシテ、主ト
シテ米穀數量ノ過不足ノ緩和ニ努メルコト
ガ出来ルコトニナツテ居ルノニアリマス、
固ヨリ之ヲ以テ或ル程度マデ米價調節ニ調
節ニモ勢メ得ル旨ヲ明ニ致シマシテ、此法
律ノ運用ヲ圓滑ニ致シ、由テ以テ國民生活
ノ安定ニ資セントスル趣旨デ以テ、本案ヲ
提案致シタノニアリマス、又米穀需給調節
特別會計法中改正法律案ハ此米穀法ノ改正
ニ伴ヒマシテ、同ジ趣旨ニ依テ改正ヲス
ル必要ガ起シタノニアリマス、何卒御審議ノ
上御協賛アランコトヲ希望致シマス（拍手）
○議長（柏谷義三君） 本案ニ對シテハ質疑
ノ通告ガアリマス、其發言ヲ許シマス——
多木久米次郎君
〔多木久米次郎君登壇〕

○多木久米次郎君 此米穀法改正法律案ニ
付テ一寸政府ニ伺ヒタイ、此米穀法ニ付キ
マシテハ、元來吾々ノ希望、又當時其米穀
法ノ制定サレタノハ原内閣ノ當時ニアリマ
ス、原總理大臣ハ米ノ相當價格ヲ維持サス
所ノ趣旨ニ依テ提出セラレタ所ノ法律ナ
ルニ拘ラズ、所謂法ハ死物ニアリマス、之
ヲ活用宜シキヲ得ルト得ナイトニ大關係ガ
アル次ニアリマス、然ルニ多クハ此法案

ヲ滅ス本トナルト思フ、米ヶ五百万石モ千万石モ足ラヌト云フコトハ、外國貿易ニ大關係ガゴザイマス、一段歩ニ付テ二斗三斗ノ收穫或多イト少イトデハ、三百十万町歩デハ直ニ八百万石千萬石ト云フ收穫ニ關係スル、此貧乏國ノ日本ノ今日ノ状態ニ於テ、常ニ輸入超過ヲ續ケテ居ル、現ニ續々輸入超過ノ状態デアル、而シテ又米ノ關稅ヲ撤廢シ、自國ノ農產ヲ壓迫シテ、而モ外國ノ農產ヲ獎勵スルヤウナ政策デアリマセヌカ、政府ハ何ノ必要ガアッテ之ヲ撤廢スルノデアルカ、其意ノ在ル所ヲ伺ヒタ、都會ノミガ大事デ農村ハ大事デナイノカ、又他國ノ農民が大事デ自國ノ農民ハ大事デナイノカ、其眞實ナル御考ヲ承リタイ、御承知ノ通り人間ガ殖エテ食糧ガ足ラナクナル今曰ニ於テハ、自給ノ政策ヲ立テナケレバナラヌコトハ明デテル、況ヤ今日ノ六千万ノ人間ハ、既往ノ實驗カラ考ヘテ見マスト、益殖エル一方デアルカラ、隨テ食糧ガ足ラナクナル、政府ハ之ニ對シテ何等カノ御考ガアルカドウカ、斯ル未熟ナ政策ヲ執テ農民ヲ壓迫シ、地方ノ財源ヲ枯渇サセテ都會バカリ飾リ立テ、居ル、國力及民力ヲ考ヘテヤッテ居ルノデアルカ、教育費ノ如キモ、問題ハ達フヤウデアリマスガ、併シ地方ノ負擔等ニ至リマシテハ重大ナル問題デアル、是等モ唯、地方アルコトヲ知ラズ、民力モ國力モ考ヘズ、無暗ニ教員ニ月給ヲヤッタ結果デアル、故ニ是ハ當然補助シナケレバナラヌコトデアル、都會デハ幾億万ノ金ヲ濫費シツ、アリ、サウシテ地方ヲ見棄テ、居ル、若シ諸君が選舉民ニ對シ正當ナル質問ニ對シテ妨害スル理由ハナイノデアル

○議長(柏谷義三君) 三上政務次官

(政府委員三上忠造君登壇)

○政府委員(三上忠造君) 只今多木君ノ御質問ニ對シテ努メテ傾聽致シタノデアリマスガ、議場稍、騒ガシイ爲デアリマセウカ、十分聽取レマセナンダノデアリマス、唯、所々聞ヘマシタ所ヲ接ギ合セテ考ヘテ見マスル

ト云フ、要スルニ御趣旨ノ在ル所ハ、政府ノ政策ガ農民ヲ壓迫スルコトガ多イデハナリ、伊カト云フヤウナ事デアリマスガ、是ハ私共ノ考フル所デハ以テ外デアリマス、正反対デアリマス、殊ニ關稅ヲ昨今撤廢致シ、只サヘ農民ガ生活ヲ脅威サレテ居ル際ニ關稅ヲ撤廢スルト云フコトハ、農民壓迫ノ政策テハニカ、斯ウ云フ御質問デアッタヤウニ思ヒマス、御承知ノ通り米穀法ノ運用ハ、生産者ト消費者トノ兩方面ノ安定ヲ圖ルノ目的デアリマス、昨年ノ作柄カラ本年ノ端境期マデノ米ノ配給關係ヲ見マスト云フ、約五百万石近クノ不足ヲ生ズル計算ナノデアリマス、五百万石近クノ不足ヲ生ジマス場合ニ於キマシテハ、是マデ何時モ關稅ノ撤廢ヲ行シテ居ルノデアリマス、故ニ或ル方面ヨリ致シマシテハ、此作柄ノ狀況ヲ推定致シマシテ、昨年ノ十月頃カラシテ最早關稅撤廢ノ要求ガアッタノデアリマスケレドモ、吾々ハ成ベク農家ノ經濟狀態等ヲ考慮致シマシテ、出來ルダケ關稅撤廢ノ時期ヲ遅ラシマシテ、漸ク先達テ公表致シタヤウナ次第デアリマス、即チ關稅ヲアリマシテ、此時期トシテハ最毛遅ラシタ次第撤廢スル時期トシテハ、最毛遅ラシタ次第アリマシテ、此時期ヨリ遅レマスト云フト、外米ノ買入ニ對シテ非常ナ支障ヲ生ズルノデアリマス、御承知ノ通り外米ノ出盛期ハ二月、三月、四月上云フヤウナ時デアリマスカラ、此出廻期ノ始マリマス際ニ於テ、撤廢スルナラハシナケレバナラヌノデアリマス、唯、撤廢スルガ善イカ惡イカト云フ問題デアリマスガ、前申ス通リ五百萬石近クノ不足ヲ生ジマシタ場合ニ於テハ、故ナラバ米價ハ今日出廻期ニ於キマシテ、即チ我國內地ノ出廻期ニ於キマシテ四十圓近クノ價格ヲ保テ居ルノデアリマス、而シテ一面ニ於テ五百万石近クノ不足ヲ生ジテ居ルト云フ見込デアリマスカラ、今ノ中ニ用心ヲ致シマシテ、成ベク外米ヲ輸入セシメテ、國民ニ外米ヲ消費セシメ、若クハスガ、議場稍、騒ガシイ爲デアリマセウカ、十分聽取レマセナンダノデアリマス、唯、所々聞ヘマシタ所ヲ接ギ合セテ考ヘテ見マスル

ト云フ、要スルニ御趣旨ノ在ル所ハ、政府ノ政策ガ農民ヲ壓迫スルコトガ多イデハナリ、伊カト云フヤウナ事デアリマスガ、是ハ私共ノ考フル所デハ以テ外デアリマス、正反対デアリマス、殊ニ關稅ヲ昨今撤廢致シ、只サヘ農民ガ生活ヲ脅威サレテ居ル際ニ關稅ヲ撤廢スルト云フコトハ、農民壓迫ノ政策テハニカ、斯ウ云フ御質問デアッタヤウニ思ヒマス、御承知ノ通り米穀法ノ運用ハ、生産者ト消費者トノ兩方面ノ安定ヲ圖ルノ目的デアリマス、昨年ノ作柄カラ本年ノ端境期マデノ米ノ配給關係ヲ見マスト云フ、約五百万石近クノ不足ヲ生ズル計算ナノデアリマス、五百万石近クノ不足ヲ生ジマス場合ニ於キマシテハ、是マデ何時モ關稅ノ撤廢ヲ行シテ居ルノデアリマス、故ニ或ル方面ヨリ致シマシテハ、此作柄ノ狀況ヲ推定致シマシテ、昨年ノ十月頃カラシテ最早關稅撤廢ノ要求ガアッタノデアリマスケレドモ、吾々ハ成ベク農家ノ經濟狀態等ヲ考慮致シマシテ、出來ルダケ關稅撤廢ノ時期ヲ遅ラシマシテ、漸ク先達テ公表致シタヤウナ次第デアリマス、即チ關稅ヲアリマシテ、此時期トシテハ最毛遅ラシタ次第撤廢スル時期トシテハ、最毛遅ラシタ次第アリマシテ、此時期ヨリ遅レマスト云フト、外米ノ買入ニ對シテ非常ナ支障ヲ生ズルノデアリマス、御承知ノ通り外米ノ出盛期ハ二月、三月、四月上云フヤウナ時デアリマスカラ、此出廻期ノ始マリマス際ニ於テ、撤廢スルナラハシナケレバナラヌノデアリマス、唯、撤廢スルガ善イカ惡イカト云フ問題デアリマスガ、前申ス通リ五百萬石近クノ不足ヲ生ジマシタ場合ニ於テハ、故ナラバ米價ハ今日出廻期ニ於キマシテ、即チ我國內地ノ出廻期ニ於キマシテ四十圓近クノ不足ヲ生ジマシタ場合ニ於テハ、

原内閣當時ニ於テ之ヲ立案シテ議會ニ提案調節トナフテ居タル本文ニ「市價」ノ二字ヲ加ヘタニ過ギナインデアッテ、其他ニハ何等ノ改善ヲ加ヘテ居ラヌガ爲ニ、單ニ此文字ダニ御提案ニナッタ、然ルニ簡單ニ唯數量ノ疑ノ點ガアリマスカラ、政府ノ御答ヲ得タ伊ト思フノデアリマス、元來此案ハ多年民間ニ於テ要望セラレタ所ノモノデアリマス、ソレヲ今回其一部ヲ政府ガ採用シテ茲ニ御提案ニナッタ、然ルニ簡單ニ唯數量ノ生産者カラ申シマスレバ、時價デ買上げト云フナラバ、必シモ政府ノ手ニ依ラズトモ、一般ノ市場ニ於テ時價ナレバ賣買ハセラレテ居ルノデアルカラ、必シモ政府ノ力ニ依ルノ必要ハ無イノデアル、此故ニ實際法律ヲ施行スル上ニ於テハ、其目的ヲ常ニ達シテ居ラナインデアル、時價デ買上げルト云フコトデアッテ、是マデノ數量ヲ調節スルト云フ法律ノ解釋ニ依テ、其範圍ニ於テ爲シタ所ノ其實上ニ於テモ、時價ニ影響ヲ及ボスコトハ甚ダ少イノデアリマス、況ヤ此市價ト云フ二字ヲ加ヘテ價格ノ調節スルト云フ法律ノ解釋ニ依テ、其範圍ニ於テ爲シタ所ノ其實上ニ於テモ、時價ニ影響ヲ及ボスコトハ甚ダ少イノデアリマス、是デハ安過ギルト云フ標準ハ何ヲ以テ標準ト爲サルノデアルカラ、時價ヲ以テ買上ダケレバナラヌト云フ法文ガ存シテ居レバ、政府ガ或ル豫定ノ價格、是デハ高過ギル、是デハ安過ギルト云フ標準ハ何ヲ以テ標準ト爲サルノデアルカラ、時價ヲ以テ買上ダケレバナラヌト云フコトデアレバ、假ニ其標準ヲ持タシテモ、政府意中ノ豫定ノ價格ヲ持タシテモ、法律ノ明文ハ時價ニ依テ買ハナケレバナラヌト云

ト云フ弊ヲ除クト云フコトノ試ミニ、此法律ヲ設ケラレタ、爾來之ヲ實行シテノ經験ニ依リマスト云フト、數量ノ調節ノミニ捉ハレテハ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、政府が此相場ハ高いカラ之ヲ安クシャウト、是ハ安いカラ之ヲ高クシャウト云ウテ、政府ガ米ノ上ダ下ダヲ積極的ニ行ハウトルコトハ、是ハ政府ノ力ニ於テモ出來ナイ、最モ一般ノ消費者ヲシテ不安ノ念ヲ起サシムルノハ、此重要ナル米價ノ安定ヲ得ナイノガ、一番般國民ノ困ル點デアル、數量ノ調節ノミヂハ此米價ノ暴騰暴落ト云フ變動ヲ防グニ足リナイ、ドウシテモ矢張市價ト云フコトニ考慮ヲ如ヘテ、或ハ政府ガ米ヲ賣ルタリ買タリ、或ハ關稅ヲ廢シタリ、或ハ復シリタル、此方法ヲ行フニハ張市價ト云フコトニモ考コトニモ凝ラシテ、サウシテ米價ノ變動ヲ防グト云フコトニシナケレバ、又從來市價ト云フ文字ガ入ラナクトモ、數量調節ト云フ意味ニ於テ米ノ賣買ヲ行テモ、自ラ市價ノ調節ニモソレハナッテ居タノデアル、併ナガラ世ノ中ニハ政府ノサウ云フ意思ヲ以テヤツテ居ルト云フコトガ、十分ニ實際ノ事が分ラヌノデ、唯、政府ハ數量ノミニ重キヲ置イテ、價ノ變動ハ間ハスノダト云フヤウナ疑ヲ起ス者ガ澤山アルノデアリマス、寧口法文ノ上ニサウ云フ疑ヲ存シテ置クコトハ宜シクナカラシテ、今日改正ヲシテ「市價」ト云フ文字ヲ入レタ譯デアリマス、ソレカラ第一ノ御尋ハ、愈々來ノ如キ六、七千万圓ノ資金デハ固ヨリ足リナカラウ、愈、米ガ下ダ時分ニ之ヲ適當ナ所ニ引戻サウト云フノニハ、賣手ガアレバアルダケ皆買フダケノ力ガナケレバナラヌ、ソレ等ノ資金ノ方ニハ一向考慮ヲ加ヘテ居ラヌ、斯ウ云フコトデアル、是ハ第一問ノ理由デ既ニ御分リグラウト思フガ、農商務省ガ米ヲ買フ時ニハ、吉植君ハ必ず時價で買フ、斯ウ云フヤウニ解釋サレテ居ルガ、法文ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ムト云フコトハ、其時ノ米ガ例ヘバ安いカラ買

入レルト云フ場合ニハ、將來ノ市場ノ趨勢、過去ノ米價ノ變動等ヲ考慮シテ、サウシテ定メルノガ、即チ時價ニ準據シテ之ヲ定メルト云フコトニナッテ居ルノデアル（拍手）又政府ガ米ヲ買フ、或ハ賣ルト云フコトハ、必ズ之ヲ高クシャウ、之ヲ安クシャウト云フノガ第一ノ目的デハナイ、是ヨリ高クシ Mai、將來はヨリ米價ノ高クナルコトハ、般社會ノ迷惑ニナルコトダシ、又餘リニ米ガ高過ギル、是ヨリ高クシタクナイト云フ時分ニ政府ガ米ヲ賣ルノガ、即チ是ヨリ上ラントスル勢ヲ抑ヘルノデアル（ヒヤー）又安クナル時モ其通リデアル、是ヨリ安クナッテハ農家ガ到底米作ヲシテモ引合ハナイヤウニナルカラ、是ヨリ安クナッテハ又社会ノ爲ニ宜シクナイト云フ時分ニ、其下ノコトヲ止メル爲ニ買入レルノデアル、防ダノデアル、上ラントスルモノヲ抑ヘ、下ラントスルモノヲ防グ、即チ關稅ノ目的モ矢張ソコニアルノデアル、第三ニ農會其他等役ニ立タヌト云フヤウナ御詰ダガ、只今メナイカ、米價ノ公定相場ヲ定メシテ徒ニ政府ガ米ノ賣買ヲ爲スト云フヤウナコトハ、却テ社會ニ不安ノ念ヲ懷カシメル、何カラシテ要求シテ居ル、何故米價ヲ公ニ定メテ説明ヲシタル趣意ヲ能ク詫味セラレタナラバ、決シテ此米穀法ガ徒法デハナイト云フコトハ御了解ニナルダラウト思フ、公定相場ノ定メ難イト云フコトハ前ニ申シタル、即チ之ヲ十分ニヤラウト思ヘバ、遂ニ標準ヲ定メル所ノ機關ガ全國普ク出來テ——ソレデスラモ尙ホムヅカシイモノデアル、即チ之ヲ十分ニヤラウト思ヘバ、遂ニハ政府ガ米穀ノ專賣ヲシナケレバナラヌ、併シ是ハ最後ノ手段デ、最モ嫌フ手段デアル、併シ國民ノ生活上下ウシテモ政府ガ入りテ專賣ヲシナケレバナラヌト云フ時期ガ來リ、其事情ガ來レバ、是ハ政府ハ考慮シナケレバナラヌ、併シ今日ノ所デハマダメノ專賣ヲセネバナラヌト云フヤウニ事情ガ切迫シテハ居ラヌノデアリマス、既ニ米價ヲ公定スルノ必要ハ今日ナイノデアル、

又米ノ價ヲ公定シテ政府ガ專賣ヲ行ハナイト云フコトニナレバ、寧口是ハ農業ノ上ニ於テ競爭ノ念慮ガ乏クナリ、米ノ改良、生産費ノ低減ヲ圖ル、サウ云フヤウナ方面ニ努力スルコトガナクナッテ行クノデアリマスカラ、是ハ容易ニ公定相場ト云フモノヲ定メルコトハ出來ナイ、一方ニ於テハ何マイ、將來はヨリ米價ノ高クナルコトハ、般社會ノ迷惑ニナルコトダシ、又餘リニ米ガ高過ギル、是ヨリ高クシタクナイト云フ時分ニ政府ガ米ヲ賣ルノガ、即チ是ヨリ上ラントスル勢ヲ抑ヘルノデアル（ヒヤー）又安クナル時モ其通リデアル、是ヨリ安クナッテハ農家ガ到底米作ヲシテモ引合ハナイヤウニナルカラ、是ヨリ安クナッテハ又社会ノ爲ニ宜シクナイト云フ時分ニ、其下ノコトヲ止メル爲ニ買入レルノデアル、防ダノデアル、上ラントスルモノヲ抑ヘ、下ラントスルモノヲ防グ、即チ關稅ノ目的モ矢張ソコニアルノデアル、第三ニ農會其他等役ニ立タヌト云フヤウナコトハ定メナイカ、米價ノ公定相場ヲ定メシテ徒ニ政府ガ米ノ賣買ヲ爲スト云フヤウナコトハ、却テ社會ニ不安ノ念ヲ懷カシメル、何カラシテ要求シテ居ル、何故米價ヲ公ニ定メテ説明ヲシタル趣意ヲ能ク詫味セラレタナラバ、決シテ此米穀法ガ徒法デハナイト云フコトハ御了解ニナルダラウト思フ、公定相場ノ定メ難イト云フコトハ前ニ申シタル、即チ之ヲ十分ニヤラウト思ヘバ、遂ニ標準ヲ定メル所ノ機關ガ全國普ク出來テ——ソレデスラモ尙ホムヅカシイモノデアル、即チ之ヲ十分ニヤラウト思ヘバ、遂ニハ政府ガ米穀ノ專賣ヲシナケレバナラヌ、併シ是ハ最後ノ手段デ、最モ嫌フ手段デアル、併シ國民ノ生活上下ウシテモ政府ガ入りテ專賣ヲシナケレバナラヌト云フ時期ガ來リ、其事情ガ來レバ、是ハ政府ハ考慮シナケレバナラヌ、併シ今日ノ所デハマダメノ專賣ヲセネバナラヌト云フヤウニ事情ガ切迫シテハ居ラヌノデアリマス、既ニ米價ヲ公定スルノ必要ハ今日ナイノデアル、

○吉植庄一郎君 只今ノ御答ニ依テ政府ノ米穀調節問題ニ對スル御意見ノ在ル所ハ略……

〔聞エヌ〕〔分ラヌ〕〔ト呼フ者アリ〕
○吉植庄一郎君 簡單デアリマス
○議長（柏谷義三君） 御尋デアリマスレバ
○登壇ヲ求マス
○吉植庄一郎君 簡單デアリマス
〔分ラヌ〕〔登壇々々〕 ト呼フ者
○吉植庄一郎君 登壇

○議長（柏谷義三君） 御尋デアリマスレバ
○國務大臣（高橋是清君） 議長
〔國務大臣高橋是清君登壇〕

○國務大臣（高橋是清君） 從來ノ政府ガ行々タ所ト何等變りガナイト云フコトデアル、大體ニ於テ變りガナイト言得ルノデアル、併ナガラ數量ノ調節ト云フコドガ主トナツテ居リマスカラシテ、其數量ノ調節ヲ爲ス上ニ於テ市價ト云フコトニ重キヲ置カナカッタト云フ憾ガアタ、ソレ故ニ今日此市

價ト云アコトヲ入レテ、サウシテ此調節ヲ行フコトヲ、將來文字ニ拘泥シ行政官ノ更ル度ニ其方針ノ變ラメヤツニ明ニシタノデアル(拍手)ソレカラ先刻吉桶君ハ貴族院ニ於テ反対ヲ受ケテ價格ト云フ文字ヲ削ラレタト云フヤウニ御演説ニナッタ、私モ或ハサウデアタカト思テ、御答ヲシタノダガ、只今聽キマスト云フト、貴族院ニ於テ其問題ハナクシテ、貴族院ハ政提ノ通リ得賛成セラレタノデアリマスカラ、是ハ一寸御答ヲシテ置ク

○議長(柏谷義三君) 日程第三、右兩案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第三 右各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○作間耕逸君 一括シテ、委員ノ數ヲ特ニ十八名トシ、議長ニ於テ指名セラレニコトヲ望ミマス

○議長(柏谷義三君) 作間君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○作間耕逸君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ政府提出預金部預金法案、同政府提出大藏省預金部特別會計法案及同政府提出臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法律案ヲ此際特ニ上程シテ、一括議題トナシ、其第一讀會ノ續ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(柏谷義三君) 作間君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシテ、預金部預金法案、大藏省預金部特別會計法案、臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法律案、右三案ハ同一委員ニ付託シタ議案デアリマスカラ、一括シテ其第一讀會ノ續ヲ開キマス

價ト云アコトヲ入レテ、サウシテ此調節ヲ行フコトヲ、將來文字ニ拘泥シ行政官ノ更ル度ニ其方針ノ變ラメヤツニ明ニシタノデアル(拍手)ソレカラ先刻吉桶君ハ貴族院ニ於テ反対ヲ受ケテ價格ト云フ文字ヲ削ラレタト云フヤウニ御演説ニナッタ、私モ或ハサウデアタカト思テ、御答ヲシタノダガ、只今聽キマスト云フト、貴族院ニ於テ其問題ハナクシテ、貴族院ハ政提ノ通リ得賛成セラレタノデアリマスカラ、是ハ一寸御答ヲシテ置ク

○議長(柏谷義三君) 日程第三、右兩案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

預金部預金法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一大藏省預金部特別會計法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十四年二月七日

預金部預金法案委員長 武内 作平

第一讀會ノ續(委員長報告)

一大藏省預金部特別會計法案委員長 武内 作平

會計法案委員長 武内 作平

第一讀會ノ續(委員長報告)

臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法
律案(政府提出)

衆議院議長柏谷義三殿

報生書

一大藏省預金部特別會計法案委員長 武内 作平

臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法
律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十四年二月七日

第一讀會ノ續(委員長報告)

一大藏省預金部特別會計法案委員長 武内 作平

臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法
律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十四年二月七日

武内 作平

會計法廢止法律案委員長 武内 作平

第一讀會ノ續(委員長報告)

一大藏省預金部特別會計法案委員長 武内 作平

臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法
律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十四年二月七日

武内 作平

會計法廢止法律案委員長 武内 作平

第一讀會ノ續(委員長報告)

ス、預金部ノ預金ハ現在ニ於キマシテ約六億万圓程ニ上ラテ居ルノデアリマス其中ノ最モ多額ヲ占メテ居リマスノハ郵便貯金デアリマシテ十一億七千七百三十五万六千圓デアリマス、其外ニ此法律命令ニ依リマス預金ヲ合算致シマシテ、十三億七千六百六十万二千四百四十六圓ノ多キニ達シテ居リマスガ、尙ホ其他ニ積立金ト假受金トモ申スベキ金額ガゴザイマシテ、ソレヲ合算致シマスト約十六億ニ近イモノニナッテ居リマス、特ニ注意ヲ要シマスコトハ、此金ノ大部分ガ多數國民ノ心血ヲ注イグ所謂貯金デアルト云フコトデアリマス、是等ノ多數ノ金ガ如何ナル方面ニ於テ運用サレ居ルカト申シマスト、國債證券ニ運用サレテアリマスモノガ一億四千七百万圓計リアリマス、サウシテ一般會計及特別會計ニ貸付ケテアル金額ガ一億六千二百六十萬圓デアリマス、サウシテ地方ノ資金ニナッテ居リマスモノガ四億一千三百二十萬圓、事業資金ニナッテ居リマスモノガ、一億八千五百四十萬圓、海外事業資金ニナッテ居リマスモノガ一億五千二百萬圓デアリマス、其外預金ガ二億一千八百六十萬圓、當座預金ガ一億千二百萬圓デアリマス、尙ホ小口ノモノガ四千八百萬圓アリマシテ、合計十五億五千八百九十万圓ト云フモノガ預金部ノ預金ノ運用シテ居ル口別デアリマス、之ニ依テ見マスト、此預金部ノ預金ハ一二ハ國家ノ財政政策ノ重要ナル機關トモナッテ居リマス、又農村振興或ハ產業開發ト云フヤウナ事ニモ缺クベカラザル機關ニナッテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ重要ナル所ノ關係ニ在ル、此實庫デアル大資金ガドウ云フ方法ニ依テ運用サレテ居ルカト申シマスト、茲ニ遺憾ガ甚ダ少クナカッタノデアリマス、預金規則ニ依リマスト、預金部特別會計法案ノ委員會ノ經過並ニ結果出豫算ヲ調製シテ、歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、デアリマスカラシテ、一面ニ於キマシテ預金ノ收支或ハ運用ニ付テハ、毎年帝國議會ノ承認ヲ求メルト同時ニ、一方ニ於キマシテハ大藏大臣ガ獨斷專門ヲ爲サズ、預金部運用委員會ニ諮詢シテ、之ヲ決行スル、斯ウ云フ事ニナッタノデアリマスルカラ、從來ノ如キ祕密、不公开ト云フヤウナコトガ、全ノ打消サル、事ニナルノデアリマス、此運用委員會ニ諮詢ノデアリマスルカラ、本案ニ於キマシテハ其組織ハ勅令ニ讓ル、運用委員會ノ組織權限及資金ノ運用ニ關スル規定ハ之ヲ勅令ヲ以定ム、要スルニ勅令ニ讓テアルノデアリマスガ、政府ハ未定稿トシテ出シテアリマスガ、委員會ニ對シ勅令案ヲ提示致シマシ

ヲ繰返サレテ居ルニモ拘ラズ、サウ云フコトヲ實行シテ居リマセヌノデゴザイマスカラ、是ハ一ツノ法律ニスルカ、或ハ外ノ方法ニ依リマシテ、斯ノ如キ制限ヲ旨ヘテ置ク必要ガアルト思フノデゴザイマス、唯、斯ウ云フヤウナ法案ガ出來タカラト云クテ、決シテ満足スルコトハ出來ナイ、此政府ヲバ御援助ナサツテ居ラッシャル所ノ各派ノ方ノ時代ニ於テハ、或ハソレデ済ムカモ知レナイ、或ハ現内閣ノ濱口藏相ニ於キマシテハ、之ヲ實行サレルカモ知レマセヌガ、併ナガラ此内閣ガ永久ニ續クモノデモナクシバ、又皆サン方ガ何時マデモ之ヲバ支持サレル譯デハナイト私ハ思フノデゴザイマスカラ、何レノ時代ニ於キマシテモスノ如キ明文ニ依リテ、明瞭ナル版本ヲ持ヘテ置クコトガ即チ適當デアラウト思フノデゴザイマス（拍手）是ガ不必要デアルト云フコトハ、或ハ有ユル法律ガ不必要デアルト云フト同ジ事デハナイカト思フノデゴザイマス、諸君、富ノ平均ヲ得ルコト、富ノ分配ト云フコトニ付キマシテハ私ガ申上ゲルマデモナク、最モ爲政家ガ注意ヲ拂ハナケレバナラヌノデアルト思フノデゴザイマス、富ノ分配過不及ナク行ツテ居リマスルナラバ、吾々ノ國ニ於キマシテ斯ノ如キ色ニト云フコトハ、蓋シ富ノ分配ガ能テ頗ル注意サレ、研究サレルノデアラウト思フノデゴザイマス、昔ノ哲學者デアリ、經濟學者ノ大宗デアル所ノ「アダムスミス」ニ致シマシテモ、「ジョン・スチュアート・ミル」ニ致シマシテモ、彼等ガ常ニ研究シタ點ハ是アル、恐クハ諸君ト致シマシテ此點ニ付テ頗ル注意サレ、研究サレルノデアラウト思フノデゴザイマス、之ヲ研究シ之ヲ論議致シマシテモ、實行ノ上ニ現レナイト

（拍手）私共ハ皆様方が恐らく之ヲ實行ニ見ルト云フコトニ付テ御異論ハナイデアラウカト思フノデゴザイマス、併ナガラ吾々ノヤウナ地方ニ地盤ヲ有シテ居リマスル所ノ所謂百姓議員ト、ソレカラ現内閣ノ中堅ヲ爲シテ居ラレル所ノ憲政會ノ諸君ノ如ク、中央ニ地盤ヲ持ツテ居ラル、方トハソニ見解ノ相違ガアルカモ知レマセヌガ、此委員會ニ於キマシテ、皆様方も亦政友會ノ諸子モ、吾々ノ此附帶決議ト類似シタ所ノ御考ハ持テ居ラル、ノデゴザイマス、唯、此政府ヲ支持セナケレバナラスト云フ因縁ノ爲ニ、自ラ思フ所ヲ實行スル能ハズシテ、ソコニ幾ラカノ讓歩ガシテアル（拍手）、即チソレガイカヌ點デアルト私共ハ思フノデゴザイマスガ、此中央、或ハ又都會ニ地盤ヲ有シテ居ラレマス所ノ憲政會ノ諸子モ、恐クハ地方ノ事情ヲ御覽ニナリマシタナラバ、必ズ皆様方ハ私共ノ此動議ニ御賛成デアラウト思フノデゴザイマス、何トナレバ憲政會ノ諸子ハ當ニ民衆政府ヲ高調シテ居ラレマスシ、殊ニ地方ノ事ハ御承知ナリカラデモアルガ、若シ知ラレタナラバ必ずヤ之ニ御賛成ガアルニ違ヒナイト私ハ思フノデゴザイマス、諸君、私共ハ徒ニ此議場ニ參リマシテ喋ルノガ目的デハナイ、眞ニ國家ノ事ヲ慎重審議シタイト云フノガ希望デアブテ、此處ニ參ルノデアリマス

（拍手發言スル者多シ）

○議長（柏谷義三君） 静肅ニ願ヒマス

○中村嘉壽君（續） 諸君、地方ノ狀態ヲパ能ク觀ルト云フコトハ、吾々が最も緊急ナル事デアラウト思ヒマス、諸君、諸君ハ地方ニ資金ガ廻ツテ居ナイト云フコトハ確ニ御認メニナツテ居ルノデアル、吾々爲政家ハ何トシテ——政治家ハ何トシテ地方ニ圓滑ナル資金ノ融通ノ途ヲ講ズルカト云フコト

スルナラバ、何等ノ役ヲ爲サナイノデアル（拍手）私共ハ皆様方が恐らく之ヲ實行ニ見ルト云フコトニ付テ御異論ハナイデアラウカト思フノデゴザイマス（拍手）此後ノ陛下方ニ於テモ「脱線張、民ノ寵ヲ考ヘテ居ラル、ノデアリマス、吾々ハ又國民ノ付託ヲ負ウテ此事ヲ研究ズベク此所ニ出テ居ルノデゴザイマスルガ、皆様方モ之ヲ人事デナイト御考ニナリマシテ、吾々ノ此緊急動議ニ御賛成ヲ下サランコトヲ切ニ希望スル次第デゴザイマス（拍手）

○議長（柏谷義三君） 附帶決議ニ對シマシテ賛否ノ通告ガアリマス、其發言ヲ許シマス、若尾幾太郎君登壇

○若尾幾太郎君 大變席ガ遠クニ居リマシテ、聽工ナイ所ガアリマシタノデ一寸失禮致シマシタ、中村君ノ御提案ニナリマシタ一二ノ案ハ、私が提案ヲ致シマシタル所ノ二三ニ當ルカノヤウニ思ヒマス、只今之ヲ更ニ私カラ自分ノ提案致シマシタモノ、又預金部預金法、政府提出案ノ委員長カラ御報告ニナリマシタモノヲ繰返シマシタル所ノ一讀致シマス「政府ハ地方資金融通ノ途ヲ擴張シ以テ産業ノ開發並ニ社會事業ノ助成ニ供スベシ、尙ホ其次ハ、政府ハ運用委員會ノ機能ヲ發揮セシメンガ爲メ、委員ノ選任ニ付特ニ留意スベシ、此委員會ノ機能ヲ擴張シ、以テ産業ノ開發並ニ社會事業ノ助成ニ供スベシ、尙ホ其次ハ、政府ハ運用委員會ノ機能ヲ發揮セシメンガ爲メ、委員ノ選任ニ付特ニ留意スベシ、此委員會ノ機能ヲ擴張シ以テ産業ノ開發並ニ社會事業ノ助成ニ供スベシ、尙ホ其次ハ、政府ハ運用委員會ノ機能ヲ發揮セシメンガ爲メ、委員ノ選任ニ付特ニ留意スベシ、此委員會ノ機能ヲ發揮セシムルガ爲ニ制限ヲ加ヘザルコトガ宜カラウト思フ、又之ニ其遠任ニ付テハ特ニ留意スベシト云フ、特ニト云フコトヲ言テ居ル、然ラバ此預金法案ヲ御提出ニナリマシタケレドモ、先程ドナタカミードナカト云フト、又其失言ヲ取消セナドト言ハレマスカラ、是ハ取消シマス、中村君ガ謂シタガ、此政府ニ於テ公聞シテ、今朝ノ如キハ新聞紙ニ於テ國民諸君ニ見セテ居ル、斯ノ如キ信任スペキ内閣ニ對シテ、何等ノ制限ヲ附スルナゾハ、是ハ少シ借越デアルト思フ（拍手）サレバ諸君ニ於テハ我輩ノ提議ニ對スル御提案ノ理由ニ付テ御詰ガゴザルコト」斯ウ云フノデアリマス、縷々此動案通り、溝塹一致ヲ以テ御可決アランコトヲ望ムノデアリマス（拍手）

○議長（柏谷義三君） 次ニ小川郷太郎君

○小川郷太郎君 私ハ只今問題ニナツテ居

リマス附帶決議ニ賛成スル者デアリマス

「ドーチニ賛成スルノカ」ト呼フ者ア

リ

○議長(柏谷義三君) 静肅ニ願ヒマス

○小川郷太郎君(續) 只今若尾君ノ御演説

ノ中ニ、現内閣ヲ信任シテ居ルカラシテ、

斯ノ如キ注文ヲスルノハ、政府ヲ強要スル

モノデアルカライケナイト云フコトガアリ

マシタガ、私ハ此法律ハ單ニ現内閣ノ爲ニ

作ツテ居ルノデナイト思ヒマス(拍手)是ハ

現内閣ガ倒レタ後ニ於テモ、歴代ノ内閣ニ

於テ威力ヲ持ツモノデアルト思フノデアリ

マス(拍手)私ノ論議ハ其見地カラ立テ居

ルノデアリマス、私ハ第一此預金部資金ノ

運用ニ付キマシテ、從來世間ノ問題ニナッ

テ居タモノガ、凡ソニツアルト思ヒマス、

其第一ハ此預金部ニ集テ來マス所ノ巨額

ノ資金ヲ、政府ガ動モスレバ財政遭縁ノ道

具ニ使フ、是ハ從來ノ非難ノ一ツデアリマ

ス、第二ハ此預金部ノ資金ヲ事業資金、或

ハ海外事業資金ト云フヤウナ名ノ下ニ、所

謂不良貸付トシテ回収ノ出來ナイヤウナモ

ノガアルト云フコトニ付テ非難ガアッタノ

デアルト思フノデアリマス、デ今回預金部

預金法律案ト云フモノガ提出サレ、大藏省

預金部特別會計法律案モ一緒ニ提出サレマ

シタノハ、畢竟從來ノ此非難ヲ根本的カラ

矯メテ行カウト、斯ウ云フ所ノ精神ガアル

ト思フノデアリマス、ソレガ故ニ此法律案

ガ法律トナツテ實行セラル、時分ニ、此弊

トヲ考ヘテ行カナケレバナラナイノデアリ

マス、所ガ今ノ状態カラ見マスレバ、之ニ

就テ不安ノ念ガ起テ來ルノデアリマス、

第一番ニ此所ニ問題ニナリマスノハ農村ノ

方ニ廻ル所ノ金ノ少イト云フコトデアリマ

ス、是ハ殆ド天下ノ輿論デアリマシテ、殆

ド議論ヲ要セナイト思ヒマス、只今中村君

カラ色ニノ説明ガアリマシタガ、初メニ元

サレテ居リマス所ニ依リマシテモ、地方資

金トシテ廻サレタ所ノモノハ、現在ニ於キ

マシテ四億一千三百萬圓デアッテ、百分比例

デ二十七「パーント」ニナッテ居リマスガ

併シ私ハソレニ付テ少シ違タ區別ヲシテ

見タイト思ヒマスガ、震災復舊費、社會事

業資金、是ハ共ニ都會ノ方ニ融通セラレタ

金デアルト思フノデアリマス、眞ニ農村ノ

方ニ還ラテ居ル所ノ金ト云フモノハ、普通低

利資金、災害復舊費、此中ニモ勿論都會ニ

這入ッテ居ルモノガアリマスルガ、之ヲ還

ス上カラ見レバ大體農村ニ還ル金トシマシ

タナラバ、ソレハ二億四千万圓程ニナリマ

シテ、預金部カラ致シマシテハ僅ニ二割程

ノモノガ——預金部——郵便貯金カラ見マ

シテハ二割ノモノデアリマス、所ガ單ニ農

業家ト致シマシテモ郵便貯金ニ預ケテ居ル

所ノモノハ、政府ノ提出セラレマシタ材料

ニ依リマシテモ、三割三分、漁業家ヲ加へ

タラバ三割五分デアリマス、是ハ明ニ農村

カラ出タ所ノ金ガ農村ニ多數還テ居ナイ

ト云フ證據デアリマス、デ私ハ是ニ於テカ

此法律案ヲ定メラレタイト思フノデア

リマス、即チ農村カラ出タ所ノ資金ト云フ

モノハ、大體ニ於テ之ヲ農村ニ還ス、全部

還セトハ言ヒマセヌガ、ソコニ大體ノ一ツ

ノ方針ヲ立てるコトガ必要デアルト思フノ

デアリマス、斯ウ云フ方針ヲ立てるコトガ

即チ立法事業デアル、私ハ此法律ニシテ、

サウ云フヤウナ方針ヲ定メルコトヲ要求シ

タイト思ヒマシタケレドモ、大體ニ委員會

ハ勅令ニ譲ツテアリマスカラ、願クハ勅令

ヲ定メラレル時ニ當ツテ、此大方針ト云フ

ント」ヲ占メテ居ルト言ハナケレバナラヌ

モノガ、勅令ノ中ニ規定セラレントヲ望

ムノデアリマス、ソレガ今中村君ノ案トシ

テ具體的ニ郵便貯金ノ中ノ約半分——約半

分デヤアリマセヌ、二分ノ一ニ足ラザル所

ノ資金ヲ地方資金トシテ廻スト、斯ウ云フ

註文ハ是ハ大體此資金ニ依ル方針ヲ示スノ

ドアリマス、大體半分ト云フ所ニ目安ヲ置

イテ、此大方針ニ付キマシテ私ハ賛成シヤ

ウト思フノデアリマス、若シ斯ウ云フヤウ

ナ事ガ書イテナイト云フド、ドウナルカト

云フト、私ハ今日ノマデノヤリ方ト同ジヤウ

ナ事ニナリヤスマイカト思フノデアリマス、

ソコデ此商工業者ノ方面カラ之ヲ議スル

ト云フコトモ必要デアリマセウケレドモ、

從來ノ歴史カラ見マスト云フト、資金ノ運

用セラレテ居ルモノガ、動モスレバ商工業

者、及財政ノ融通ノ方ニナッテ居ルノデア

リマスカラシテ、此方ノ心配ハ少イ、心配ノ

アル所ハ農村ノ方ニ金ガ行カヌト云フコト

ヲ茲ニ定メテ置クコトガ必要デアリマス、是

レ即チ此決議案ニ付キマシテ、私ハ賛成シ

タ所以デアリマス、尙ホ私ハ之ニ就テ一ソス

デアリマス、是カ故ニ農村ニ行クヤウナ保障

ヲ茲ニ定メテ置クコトガ必要デアリマス、是

リマスカラシテ、此方ノ心配ハ少イ、心配ノ

アル所ハ農村ノ方ニ金ガ行カヌト云フコト

ヲ茲ニ定メテ置クコトガ必要デアリマス、是

リマセヌ、濱口藏相ガ嘗テ聲明セラレマシ

トハ、財政政策カラ來テ居リマセウガ、預

金部ヲ壓スルト云フコトハ同ジ事デアリマ

シテ、是ハドウナルカト申シマスレバ、此二

億四千七百九十万圓ノ國債證券ノ外ニ、尚

小國債證券ガ非常ニ殖エルト見ナケレバナ

リマセヌ、濱口藏相ガ嘗テ聲明セラレマシ

トハ通リニ、大正十三年年度ニ於キマシテ一億

五千萬圓ノ金ヲ預金部ニ引受ケシムルト云

ブコトデアリマス、所ガ其後二千万圓程ハ

公債募集ノ額ヲ少クシタト云フコトデアリ

マスカラシテ、畢竟一億三千萬圓ノモノヲ

預金部ニ引受ケシムルト云フコトニナルノ

デアラウト思ヒマス、所ガ此二億四千七百

万圓ノ中ニ、十三年年度ニ政府ガ預金部ニ引

受ケシムル額ガアリヤ否ヤフ間キマスル

ト、早速次官ハはマダ含シ唐ナイト云

フコトデアリマス、然ラバ茲ニ一億三千万

圓ト云フモノハ此預金部ノ國債證券ヲ持ツテ居

受ケシムル額ガアリヤ否ヤフ間キマスル

ト、早速次官ハはマダ含シ唐ナイト云

フコトデアリマス、所ガ此二億四千七百

万圓ノ中ニ、十三年年度ニ政府ガ預金部ニ引

受ケシムル額ガアリヤ否ヤフ間キマスル

ト、早速次官ハはマダ含シ唐ナイト云

フコトデアリマス、所ガ此二億四千七百

万圓ノ中ニ、十三年年度ニ政府ガ預金部ニ引

受ケシムル額ガアリヤ否ヤフ間キマスル

ト、早速次官ハはマダ含シ唐ナイト云

フコトデアリマス、所ガ此二億四千七百

万圓ノ中ニ、十三年年度ニ政府ガ預金部ニ引

受ケシムル額ガアリヤ否ヤフ間キマスル

ト、早速次官ハはマダ含シ唐ナイト云

フコトデアリマス、所ガ此二億四千七百

万圓ノ中ニ、十三年年度ニ政府ガ預金部ニ引

受ケシムル額ガアリヤ否ヤフ間キマスル

クノニアリマス、サウ致シマスルト國債ノ
償還ハ多少アルカモ知レマセヌガ、大體約
六億圓前後ノモノガ國債證券トナツテ現レ
テ來ルト思フノデアリマス、サウ致シマス
ルト、約四割ノモノハ政府ノ遺緑ノモノデ、
政府ノ財政遺緑ノ爲ニ預金部ノ金ノ四割ト
云フモノヲ財政ノ方ニ取テシマフト云
云フコトニナルノアラウト思ヒマス、サウ
云フ風ニナツテ來マシタナラバ、如何ニ政府
ガ此預金部ノ預金ヲ適切公正ニ運用シヤウ
ト云ヒマシチモ、農村ノ方ニ廻ル所ノ金ト
云フモノハドウシテモ少クナルト思フノデ
アリマス(拍手起ル)之ヲ吾ヒハ憂ヘルノデ
アリマス、ソレデアリマスカラ法規ノ上
ニ於テ、法律デナケレバ勅令ニ於テモ、少
クトモ是ダケノ範圍ハ農村ニ還スモノニア
ルト云フ、最小限度ヲ示ス必要ガアルト
思フノデアリマス(拍手)尙ホ最後ニ此運用
委員會ニ農業者ノ代表者ヲ加ヘルト云フコ
トノ必要ガアルコトハ、私ハ委員會カラ述
べテ居リマス、是ハ今ノヤウナコトカラ考
ヘテ見マシテモ、運用委員會ノ意見ヲ聞イ
テ、詰リソレヲ諮詢シテ決定スルトハ言ヒ
マスモノ、大藏大臣ガ大體ノ計畫ヲ定メ
テ之ニ臨ムノデアリマスカラシテ、今ノヤ
ウナ財政政策ヲ執ル所ノ内閣ニ於キマシテ
ハ、イノ一番ニ公債ヲ引受ケシムルト云フ
コトニナルノデアリマスカラ、其大方針ニ
付キマシテ運用委員會ト云フモノハ之ヲ争
フコトハ出來ナイノデアリマス、即チ是ハ
大藏大臣ノ言フ通り、聽クヨリ仕方ガナイ
デアリマス、其組織ガサウナツテ居ル、其委
員ノ中ノ半分ハ官吏デアル、半分ハ學識經
験アル人ト云ヒマスクレドモ、中ニ貴族院、
衆議院ノ議員モアリマスカラ、ドウシテモ
過半數ハ政府ノ言フ通りニナルノデアリ
マス、サウシマスト政府ノ財政ノ遺緑リノ爲
ニ金ヲ使ヒ、剩ス所幾何モナイト思フノデ
アレバ、是ハ農村ニ廻ル金ガ少クナツテ、之

ヲ争フ者ハナイノデアリマス(拍手)之ヲ争
フ爲ニ少クトモ多數ハ制セナシニ致シマシ
テモ、農村代表ノ委員ヲ若干名加ヘテ置キ
マスト云フト、是ガ多少調和サレルト思フ
ノデアリマス(拍手)私等ガ農村代表ノ委員
ヲ少クトモ若干名加ヘヤウト云フノハ此趣
旨デアリマス、商工業ノ人ヲ加ヘナケレバ
ナラスト云フ論モ起リハセヌカト申シマス
ケレドモ、ソレハ商工業者ノ方ノ代表者ハ
優越デアリマス、現ニ簡易生命保険積立金
ノ運用委員會ノ組織ヲ聞イテ見マスト、委
員會デ政府委員ノ聲明デアリマスガ、學者
ノ外ニ特殊銀行ノ總裁ガ之ニ當ラレテ居リ
マス、其數ハ官吏ノ數ヨリ民民間ノ委員ノ
數ノ方が多イヤウデアリマス、然ルニモ拘
ラズ世間之ヲ評シテ、是ハ有名無實デアル
ト云シテ居ルノデアリマス、然ルニ今回ノ預
金部資金ノ運用委員會ニ於キマシテハ、官
吏側ト民間側ハ半分々々デアリマス、サ
ウ云フ風ニ致シマシテハ此簡易生命保険ノ
積立金ノ運用委員會ヨリモ、モト政府ノ
意向ガ通り易ク出來テ居ルノデアリマス、
ソコデ私ハ此際ニ於キマシテ農民ノ利益
ヲ代表スル所ノ代表者ガ、ドウシテモ加フテ
債ヲ引受ケルト云フコトノ總テ否認ハ致
シマセヌケレドモ、預金部トシテ此公債ヲ
公債ヲ預金部ニ引受ケサスト云フ計畫ヲ立
テ、居ルト云フコトニ付テノ御非難デアリ
マシテ、現内閣ノ計畫ト雖モ、預金部ガ公
債ヲ引受ケルト云フコトノ總テ否認ハ致
シマセヌケレドモ、預金部トシテ此公債ヲ
引受ケル爲ニ、預金部ノ内容ヲ察スト云フ
ガ如キ計畫ヲ樹ツルコトハ断ジテナク、現
在ニ於キマシテ、國債證券ヲ預金部ガ持
テ居リマスノハ二億四千七百万圓、是ハ丁
度百分比列ニ致シテ百分ノ十六ニ當ルト云
フコトハ、只今小川君ノ辯べラレタ通りデ
アリマス、更ニ小川君ハ之ニ加フルニ一般
會計並ニ特別會計ノ貸付金ヲモ合算シテ御
計算ニナルカラ、大變ニ國債ノ引受額ガ多
イヤウナ數字ニ見エルノデアリマス、而シ
テ大正十三年度ニ於テ預金部ガ引受ケナケ
レバナラヌ公債ハ、是ハ確ニ一億三千万圓
アルノデアリマス、唯、一億三千万圓ト云
フ數字ヲ此上ニ加ヘテ御計算ニナルケレド
モ、一億三千万圓ノ公債ハ引受ケルケレド
モ、公債ニ於テ償還スベキモノガ四千二百

ノ疑ヲ招クト云フ嫌ガアルノデアリマスカラ
ラ、一言簡單ニ辯明ヲ致シテ置キタイノデ
アリマス、小川君ハ政府ハ預金法案ヲ提出
シテ、何デモ是カラ後モ政府ハ唯財政ノ
遺緑ノ爲ニ之ヲ利用スルモノ、如ク、獨斷
的ニ只今數字等ノ御陳述ガアツタノデアリ
マスガ、政府ガ此度此預金部ノ預金法案ヲ
提出シマシタル理由ハ、前日ノ本會議ニ於
テモ申述ベマシタル如ク、預金部ノ改善ヲ
行ヒ、從來世上カラ色ニ非難ヲ受ケテ來タ
預金部ノコトデアリマスカラ、我が政府ハ
此改善ヲ行フト目的トシテ、此法律案ヲ提出スルニ至タノデアリマス、
將來ニ於テ十分改善ノ目的ヲ達成スペク進
ンデ行カナケレバナラスト云フコトハ、現
ニ委員會等ニ於テモ私カラ屢々之ヲ繰返シ
テ申述ヘタノデアル、小川君ノ陳述ニ
依ルト、政府ガ財政ノ遺緑ヲシテ、無暗ニ
公債ヲ預金部ニ引受ケサスト云フ計畫ヲ立
テ、居ルト云フコトニ付テノ御非難デアリ
ル(拍手)
○議長(柏谷義三君) 他ニ發議ノ通告モア
リマセヌ、仍テ討論ハ終結サレマシタ、此
附帶決議ハ先決問題トシテ採決ヲ致シマ
ス、此決議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
タイト思ウテ、私ハ茲ニ一言スル所以デア
ル(拍手)

○議長(柏谷義三君) 起立者少數デアリマ
ス、附帶決議ハ否決サレマシタ、仍テ本案
ニ付テ採決致シマス、先ツ(此時發言スル
者多シ) 静ニ御聽キ下サイ、先づ預金部預
金法案及大藏省預金部特別會計法案、此兩
案ノ第一讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮詢致シマ
ス、仍テ兩案トモ第二讀會ヲ開クコトニ決
シマシタ
○議長(柏谷義三君) 起立者少數デアリマ
ス(「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ兩案トモ第二讀會ヲ開クコトニ決
シマシタ
○作間耕逸君 直ニ兩案ノ二讀會ヲ開カレ
ンコトヲ望ミマス
○(贊成々々)「ト呼フ者アリ」
○議長(柏谷義三君) 作間君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ直ニ兩案ノ二讀
會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス
○政府委員早速整爾君登壇) 私ハ別ニ討論ヲ
致ス譯デハナイノデアリマスガ、只今ノ小
川君ノ御陳述ニ依リマスト、如何ニモ世上
ノ疑ヲ招クト云フ嫌ガアルノデアリマスカラ
ラ、一言簡單ニ辯明ヲ致シテ置キタイノデ
アリマス、小川君ハ政府ハ預金法案ヲ提出
シテ、何デモ是カラ後モ政府ハ唯財政ノ
遺緑ノ爲ニ之ヲ利用スルモノ、如ク、獨斷
的ニ只今數字等ノ御陳述ガアツタノデアリ
マスガ、政府ガ此度此預金部ノ預金法案ヲ
提出シマシタル理由ハ、前日ノ本會議ニ於
テモ申述ベマシタル如ク、預金部ノ改善ヲ
行ヒ、從來世上カラ色ニ非難ヲ受ケテ來タ
預金部ノコトデアリマスカラ、我が政府ハ
此改善ヲ行フト目的トシテ、此法律案ヲ提出スルニ至タノデアリマス、
將來ニ於テ十分改善ノ目的ヲ達成スペク進
ンデ行カナケレバナラスト云フコトハ、現
ニ委員會等ニ於テモ私カラ屢々之ヲ繰返シ
テ申述ヘタノデアル、小川君ノ陳述ニ
依ルト、政府ガ財政ノ遺緑ヲシテ、無暗ニ
公債ヲ預金部ニ引受ケサスト云フ計畫ヲ立
テ、居ルト云フコトニ付テノ御非難デアリ
ル(拍手)
○議長(柏谷義三君) 他ニ發議ノ通告モア
リマセヌ、仍テ討論ハ終結サレマシタ、此
附帶決議ハ先決問題トシテ採決ヲ致シマ
ス、此決議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
タイト思ウテ、私ハ茲ニ一言スル所以デア
ル(拍手)

○議長(柏谷義三君) 起立者少數デアリマ
ス、附帶決議ハ否決サレマシタ、仍テ本案
ニ付テ採決致シマス、先ツ(此時發言スル
者多シ) 静ニ御聽キ下サイ、先づ預金部預
金法案及大藏省預金部特別會計法案、此兩
案ノ第一讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮詢致シマ
ス、仍テ兩案トモ第二讀會ヲ開クコトニ決
シマシタ
○議長(柏谷義三君) 起立者少數デアリマ
ス(「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ兩案トモ第二讀會ヲ開クコトニ決
シマシタ
○作間耕逸君 直ニ兩案ノ二讀會ヲ開カレ
ンコトヲ望ミマス
○(贊成々々)「ト呼フ者アリ」
○議長(柏谷義三君) 作間君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ直ニ兩案ノ二讀
會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス
○政府委員早速整爾君登壇) 私ハ別ニ討論ヲ
致ス譯デハナイノデアリマスガ、只今ノ小
川君ノ御陳述ニ依リマスト、如何ニモ世上
ノ疑ヲ招クト云フ嫌ガアルノデアリマスカラ
ラ、一言簡單ニ辯明ヲ致シテ置キタイノデ
アリマス、小川君ハ政府ハ預金法案ヲ提出
シテ、何デモ是カラ後モ政府ハ唯財政ノ
遺緑ノ爲ニ之ヲ利用スルモノ、如ク、獨斷
的ニ只今數字等ノ御陳述ガアツタノデアリ
マスガ、政府ガ此度此預金部ノ預金法案ヲ
提出シマシタル理由ハ、前日ノ本會議ニ於
テモ申述ベマシタル如ク、預金部ノ改善ヲ
行ヒ、從來世上カラ色ニ非難ヲ受ケテ來タ
預金部ノコトデアリマスカラ、我が政府ハ
此改善ヲ行フト目的トシテ、此法律案ヲ提出スルニ至タノデアリマス、
將來ニ於テ十分改善ノ目的ヲ達成スペク進
ンデ行カナケレバナラスト云フコトハ、現
ニ委員會等ニ於テモ私カラ屢々之ヲ繰返シ
テ申述ヘタノデアル、小川君ノ陳述ニ
依ルト、政府ガ財政ノ遺緑ヲシテ、無暗ニ
公債ヲ預金部ニ引受ケサスト云フ計畫ヲ立
テ、居ルト云フコトニ付テノ御非難デアリ
ル(拍手)
○議長(柏谷義三君) 他ニ發議ノ通告モア
リマセヌ、仍テ討論ハ終結サレマシタ、此
附帶決議ハ先決問題トシテ採決ヲ致シマ
ス、此決議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
タイト思ウテ、私ハ茲ニ一言スル所以デア
ル(拍手)

○議長(柏谷義三君) 両案共委員長ノ報告ニ付テ採決ヲ致シマス、委員長ノ報告ニ御異議アリマセバカ
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案共委員長報告ノ通り決シマシタ
○作間耕逸君 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開キ、第二讀會議決ノ通り、兩案共委員長報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(柏谷義三君) 作間君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ兩案共三讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

預金部預金法案

大藏省預金部特別會計法案 第二讀會
〔異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ】
○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案共第二讀會議決ノ通り可決確定セラレマシタ(拍手)次ニ臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法律案ニ付テ採決致シマス、本案ノ第一讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ】
○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第一讀會ヲ開クニ決シマシタ
○作間耕逸君 直ニ本案ノ第一讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス
〔異議ナシ」「贊成」ト呼フ者アリ】
○議長(柏谷義三君) 作間君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ】
○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ

〔異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ】
○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案共三讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

第四 決議案(鐵道ノ既定計畫途行ノ件)〔元田肇君外十六名提出〕
右成規ニ據り提出候也 大正十四年一月十九日

提出者 元田 肇
外十六人

政府ハ鐵道建設既定計畫ヲ遂行スヘシ 右決議ス
〔木下謙次郎君登壇〕

○木下謙次郎君 現政府ハ行政財政整理ノ名ノ下ニ、鐵道既定計畫ヲ破壞セントスルモノガアリマスノデ、是ニハ本員等ハ賛成スルコトノ出來ナイ次第アリマス爲ニ、鐵道網ノ成立ト相成タルモノデアルノデアリマス、而シテ此鐵道網ナルモノノ目的トスル所ハ、全國ニ六千三百哩ノ新ナル線路ヲ選定シ、之ヲ法律ニ依テ決定シ、鐵道網成立當時ヨリ向フ二十年間ヲ以テ此事業ヲ完成スルト云フコトガ目標ニ相成ンテ居タノデアリマスルガ、其當時此鐵道網ニ付テモ種々ノ反對論ガアッタ、或ハ無謀ノ計畫デアルトカ、或ハ餘リニ突飛ナ計畫デアルトカ云フヤウナ反對論ガアッタノデアリマスガ、併シ我ガ帝國ノ鐵道ノ狀況ト、歐羅巴先進國ニ於ケル鐵道ノ狀況トヲ比較スレバ、甚ダ烏滸ガマシイコトヲ申上ゲマスルガ、統計ヲ引用スルコトヲ暫ク御許シテ願ヒタイト思フノハ、英國ハ人口一万ニ付テ鐵道ノ敷設ハ五哩二分ノ割合ニ相成ヌルガ、相成テ居ル、獨逸ハ英國ヨリモ少シ多イ統計ニシタル大正十四年度ノ割當ハ、建設費ニ於テ七千三百万圓、改良費ニ於テ一億三千萬圓デアルノデアリマスガ、併シ我國ノ鐵道計畫ハ、單純ナル金額並ニ二年度ノミニ數字許シテ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、諸君、我國鐵道ノ始メハ皆様御承知ノ通リ京

通式ノ執行ヲ以テ始メノモノト致シテ居リ
臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法律案

〔第二讀會(確定議)〕

〔異議ナシ」「贊成」ト呼フ者アリ】
〔異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ】
〔異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ】
〔異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ】

○目的トスル如ク六千三百哩ノ新線路ヲ完成立シ、之ニ其當時マデ完成致シテ居リマスル所ノ一万四千哩ノ既成鐵道ヲ加ヘ、日本全國初メテ茲ニ二万哩ノ鐵道ガ莫布サレル譯ニナルノデアリマスカラ、日本ノ全土ノ二万哩ノ鐵道ヲ以テ日本ノ人口ニ割當テ、見レバ、如何ニモ人口一万ニ對シテ三哩半ト云フ數字ヲ示スノデアリマスカラ、今後二十年間經、テ初メテ伊太利ノ鐵道ト同ジ度合マデ進ミ得ルト云フコトガ、此鐵道網ノ目的デアリマスカラ、此鐵道網ノ目的ニ對シ、或ハ過大ニ失スルトカ、或ハ突飛ニ失スルトカ云フ如キハ、洵ニ取ルニ足ラザル議論デアルトテ、實際ノ狀況ヨリ云ヘバ、此鐵道網ハ極メテ貧弱ナル計畫デアルト謂ハナケレバナラスト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)併ナガラ吾々國力ノ狀況、國ノ財政ノ狀況ニ考慮ヲシナケレバナラヌノデアリマスルカラ甚ダ不滿足デハアリマスルガ、此貧弱ナル計畫ノ下ニ官民共同一致シテ此事業ノ遂行ニ努メ來ニタコトハ諸君御承知ノ通リデアル、而モ帝國今日ノ文化竝ニ國運ノ伸張ガ、此鐵道ノ進歩ニ負フ所少カラザルモノアルコトハ諸君ノ認識サレテ居ル通リデアリマス、隨テ今日議題ニナブテ居リマスル所ノ鐵道ノ既定計畫ハ、並ニ國運ノ伸張ガ、此鐵道ノ進歩ニ負フ所少カラザルモノアルコトハ諸君ノ認識サレテ居ル通リデアリマス、隨テ今日議題ニナブテ居リマスル所ノ鐵道ノ既定計畫ハ、單純ナル金額ト數字ノ問題ニアラズシテ、或ル意味カラ云ヘバ維新以來ノ皇謨ヲ受ケタル所ノ我ガ帝國ノ國策、國是ト言テ宣シテ居リマスルカラ甚ダ不滿足デハアリマス(拍手)果シテ鐵道ノ此計畫ガ我帝國ノ國策國是デアルナラバ、區々タル行政整理——

財政整理ノ名義ニ於テ此基礎ヲ動カス如キハ、吾々ハ鐵道ノ此計畫ガ我帝國ノ國策所デアリマス(拍手)既ニ前申上ゲマシタ如ク鐵道ノ計畫ガ帝國ノ國是デアリ、且又是が生産事業トシテ我が帝國ノ發展ガ此事業ノ成否ニ俟シモノアルヲ知ル以上ハ、吾々ハ此事業ノ財源ハ公債ニ求メテモ少シモ差

支ハナイト云フ考ヲ持テ居ル者ニアリマス、現政府ハ公債非募集主義ト云フコトヲ唱ヘテ居ラレマシタガ、仙石鐵道大臣ハ曾テ建設費ノ三千三百万圓ヲ發表シ、與黨諸君ノ強要ニ依テ他愛ナク四千六百万圓ニ更ヘタ、ノミナラズ其内ノ千五百万圓ト云フモノハ公債ヨリ募集シテ、財源ヲ取ツテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスカラ、現内閣ノ公債非募集主義ナルモノハ、既ニ破レテ居ルト言ウテ宜シイノデアル(拍手起ル)公債非募集主義ガ既ニ破レテ居ル以上ハ千五百万圓ヲ公債ニ取ルトスルナラバ、百尺竿頭一步ヲ進メテ二千万圓、三千万圓ノ財源ヲ公債ニ取シテ、此事業ノ遂行ニ努メルト云フコトハ、少シモ支ノナイコトニアラウト私若シ政府ガ何等カノ御都合ニ依テ公債ニ財源ヲ求メルコトガ絶対ニ御困リニナルト云フ事情ガアルナラバ、必シモ公債ニ財源ヲ求メナイデモ既定計畫ノ遂行ニハ財源ヲ得ルコトハ格別困難ナ事ハナイト私ハ考ヘテ居ル、何ニ由テ此財源ヲ得ルカト云フニ、本年ノ鐵道省ノ豫算ニ現レタル改良建設ノ偏重偏輕ノ豫算ノ根本ヲ直シテ、改良費ニ多分ヲ取テ居ル、或ル言葉ヲ以テスレバ無益ナル費用ヲ取テ居ルモノヲ以テ建設ニ差向クレバ、建設ノ目的ヲ達シ、本案ノ趣意ヲ貫徹スルコトハ、甚ダ容易デアリト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ル：

(拍手起り發言スル者多ク議場騒然)

○議長(柏谷義三君) 静肅ニ

○木下謙次郎君(續) 只今改良費ト建設費ノ偏重偏輕ト云フ言葉ニ對シテ反對ガアリマシタヤウデアリマスガ、併シ是ハ數字ノ上ニ明ニナッテ居ル、數字ノ上ニ明ニナッテ居リマスト云フコトハ、本年ノ豫算ノ建設費ガ四千六百万圓、改良費ガ一億四千七百万圓トナッテ居リマスルガ、清浦内閣ノ實行豫

算トシテ曩ニ私ガ諸君ニ申上げマシタ數字ニ比較スレバ、建設費ニ於テ約二千七百万圓ヲ減ジテ居ル、此費用ヲ減ジタ爲、四十線ノ中二十九線ト云フ鐵道ノ線路ヲ犠牲ニ致シテ居ルノデアリマス、然ラバ改良費ハドウデアルカト云フニ、建設費ハ二千七百万圓ヲ減ジテ居ル所ニ、改良費ハ却テ千七百萬圓ヲ増額致シテ居ルノデアリマス、而モ改良費ハ千七百萬圓ヲ増額シテ居ルノミナラズ、豫算ヲ見ルニ二十年度マデニ一千二百萬圓增加スルコトノ豫算ヲ立テ方ニ相成、テ居ルノデアリマス、斯ノ如キ多額ノ金額ガ改良費ニ加ハルノミナラズ、鐵道省ノ鐵道會計ニ依テ見マスルニ、鐵道省ガ毎年使ヒマスル所ノ營業費ハ四億圓デアリマス(拍手)併ナカラ若シ政府ガ何等カノ御都合ニ依テ公債ニ財源ヲ求メルコトガ絶対ニ御困リニナルト云フ事情ガアルナラバ、必シモ公債ニ財源ヲ求メナイデモ既定計畫ノ遂行ニハ財源ヲ得ルコトハ格別困難ナ事ハナイト私ハ考ヘテ居ル、何ニ由テ此財源ヲ得ルカト云フニ、本年ノ鐵道省ノ豫算ニ現レタル改良建設ノ偏重偏輕ノ豫算ノ根本ヲ直シテ、改良費ニ多分ヲ取テ居ル、或ル言葉ヲ以テスレバ無益ナル費用ヲ取テ居ルモノヲ以テ建設ニ差向クレバ、建設ノ目的ヲ達シ、本案ノ趣意ヲ貫徹スルコトハ、甚ダ容易デアリト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ル：

(拍手起り發言スル者多ク議場騒然)

○議長(柏谷義三君) 静肅ニ

○木下謙次郎君(續) 只今改良費ト建設費

ノ偏重偏輕ト云フ言葉ニ對シテ反對ガアリマスカラ、現内閣ノ公債非募集主義ガ既ニ破レテ居ルト云フニ、本年ノ鐵道省ノ豫算ヲ見ルモノハ、是モ同ジク改良費ニ使ハレテ居ルノデアリマスカラ、事業費ノ中ニ使ハレテ居ルノデアリマス、事業費ノ一億圓ハ改良費ニ使ハレテ居ルノミナラズ、鐵道會計ヲ見レバ、其外ニ補充費ト云フ費目ガアリマスガ、此費目ハ年々九百萬圓カラ一千萬圓ヲ支出シテ居ルノデアリマスガ、之ヲ鐵道省内デハ小改良費下稱シテ居ル、是モ同ジク改良費ニ使ハレテ居ルノデアリマスカラ、總て是等ノ數字ヲ積算スレバ、改良費ト云フモノハ洵ニ莫大ナル金額ニ上ルコトヲ私ハ申上ゲテ置キタインデアリマス(拍手)本來既定計畫遂行ノ精神ヨリ云ヘバ、吾々今日ノ帝國ノ事情ヨリ顧みテ、建設ヲ主ニシテ改良ハ從タルモノデナクテハナラヌト考ヘテ居ルノデアリマスガ、今此豫算ノ立て方ニ依レバ、改良ガ主デアッテ建設ハ從デアル、改良ヲ主ニシテ建設ヲ從ニスルト云フコトハ、洵ニ鐵道ノ政策ノ上カラ云ヘバ、本末輕重ヲ誤テ居ルモ多イ、無益ノ改築ガ多イ、或ハ「ステーション」ノ移築ガ多イ、現ニ一例デアリマスルガ、横濱ノ「ステーション」ノ改築ガ多イ、無益ノ改築ガ多イ、或ハ「ステーション」ノ移築ガ多イ、現ニ一例デアリマスルガ、嘗テ横濱ハ都合ガ悪イカラト云フノデ、一度平沼ニ移シタコトガアリマス、年ナラズシテ平沼デハマダ石鐵道大臣ハ有ユル機會ニ於テ、改良ニ多

額ノ金ヲ使ハナケレバ帝國ノ鐵道ハ危險ナルト云フコトヲ唱ヘテ居ル、豫算委員會ニ於テモ遠慮ニ此言葉ヲ放言シテ居ルノデアリマスが、仙石鐵道大臣ノ豫算ヲ承認ス者ガ年々少カラヌノデアリマスガ、斯ノ如キ多額ノ改良費ヲ負担ス者ガ年々少カラヌノデアリマスガ、斯ノ豫算ヲ見レバ、多クハ從業員ノ怠慢ノ結果デアッテ、改良費ノ不足ノ結果斯ノ如キ災難ヲ招イタト云フ場合ハ殆ド無イノデアリマス(拍手)言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、此損害ハ鐵道大臣ノ監督不行届ノ責任デアリマス(拍手)言葉ヲ見ルニ、鐵道省ガ毎年使ヒマスル所ノ營業費ハ四億圓デアリマス、其四億圓ノ四分ノ一、一億萬圓ト云フモノハ、是ハ事業費ト云フ名目ノ下ニ改良費ノ中ニ使ハレテ居ルノデアリマス、事業費ノ一億圓ハ改良費ニ使ハレテ居ルノミナラズ、鐵道會計ヲ見レバ、其外ニ補充費ト云フ費目ガアリマスガ、此費目ハ年々九百萬圓カラ一千萬圓ヲ支出シテ居ルノデアリマスガ、之ヲ鐵道省内デハ小改良費下稱シテ居ル、是モ同ジク改良費ニ使ハレテ居ルノデアリマス(拍手)斯ノ如キ方面シテ仙石鐵道大臣ノ豫算ノ編成方法ヲ見レバ、前ニ申上ゲマシタ如ク多額ノ改良費ヲ取りナカラ、而モ危険防止ト名ヅケラル、山取ル爲ニ國民ヲ囁喝シテ居ルモノト考ヘルノデアリマス(拍手)斯ノ如キコトハ當局大臣ノ言トシテ甚ダ不穩當ト考ヘマス、且ツ仙石鐵道大臣ノ豫算ノ編成方法ヲ見レバ、前ニ申上ゲマシタ如ク多額ノ改良費ヲ取りナカラ、而モ危険防止ト名ヅケラル、山取ル爲ニ國民ヲ囁喝シテ居ルモノト考ヘルノデアリマス(拍手)斯ノ如キ方面シテ仙石鐵道大臣ノ誠意ノ缺ケ居ルト云フ半面ヲ明ニ曝ケ出シナカラ、一面多額ノ改良費ハ主ニ何ニ使ハレテ居ルカト云ヘバ、茲ニ仙石鐵道大臣ノ誠意ノ缺ケ居ルト云フ半面ヲ明ニ曝ケ出シナカラ、一面多額ノ改良費ハ主ニ何ニ使ハレテ居ルカト云ヘバ、先づ改良費ノ使ハレテ居ル——主ナル部分ハ、複線ガ甚ダ多イ、其次ニ複々線ガ多イ、其次ニハ主ニ金ヲ都會ニ集中シテ、海上陸連絡、臨港鐵道ト稱シテ、吾々カラ見レバ洵ニ無益聲澤十事ニ費用ヲ澤山使テ居ル(拍手)其次ニハ「ステーション」ノ改築ガ多イ、無益ノ改築ガ多イ、或ハ「ステーション」ノ移築ガ多イ、現ニ一例デアリマス(拍手)私ハ昨日ノ豫算委員會ニ傍聴ノ信濃川ノ發電所ノ工事ノ中止ハ、仙石鐵道大臣ト特別ナル關係ノアル某私立會社ノ利益ヲ圖フテ居ルモノデアルト云フ世上ニ風説モアル(拍手)私ハ總テ之ヲ信用スル者デハアリマセヌガ、茲ニ突如トシテ六千二百方圓ト云フ數字ガ豫算ニ現レマシタ以上ハ、世間ガ之ヲ疑惑ノ中心トシテ眺メルコトハ無理カラヌコトデアルノデアリマス(拍手)私ハ昨日ノ豫算委員會ニ傍聴ヲ致シマシタガ、我黨ノ委員井出繁三郎君ニ依テ、信濃川ノ發電工事ノ中止ノ理由ヲ質問ヲ致サレマシタ、其仙石鐵道大臣ノ答辯

ヲ茲ニ御紹介シヤウト思フノデアリマスル
ガ、鐵道大臣ハドウ云フ答辯ヲシタカト云
ヘバ、實ニ私ノ驚入タコトハ、水力電氣
ハ其效用ニ付テ自分ハ信用シナイ、是ガ中
止ノ理由デアル、殊ニ送電線ノ如キハ甚ダ
危険ノ意味ヲ含シテ居ルノデアルカラ、容
易ニ水力電氣ノ如キ工事ヲ進行スル譯ニハ
行カヌ、自分ハ其效用ニ付テ信用シナイ、
實ニ驚イタ、仙石君ハ鐵道大臣ニ就任スル
以前ハ、猪苗代ノ水力電氣ノ社長デアル、
其經營者デアル、而モ猪苗代カラ東京マデ
遠距離ノ送電線ニ成功シタ云フコトデ、仙
石君ハ水力電氣界ノ「オーソリチー」トナッ
テ居ルノデアリマス、甚ダ失禮デハアルカ
モ知レヌガ、電氣ノ經營者トシテハ日本ニ
有數ナ成功者デアル、又鐵道大臣就任前マ
デハ水力電氣ノ有數ナル信者デアリタノデ
アリマスルガ、一タビ鐵道大臣ニナラテ、今
度ハ、水力電氣ハ甚ダ危險デ不信用デアル
ト云フ言葉ハ、如何ニモ君子豹變ニ手際ノ餘
リ立派ナコトニ私ハ甚ダ驚クノデアリマス
(拍手)ソコデ井出君ヨリ段々追詰メラレタ
結果ハドウデアルカト云フニ、實ニ益、大
臣ノ答辯ハ驚クベキコトニナタ、トウ云
フコトヲ言フカト云フニ、イヤ信濃川ノ發
電工事ハヤリタイノデハアルガ、今日本デ
之ヲ擔當シテ成功サセ得ル技師ガ居ナイノ
ダ、學術ノ上ニ於テモ經験ノ上ニ於テモ、
日本ニハ斯様ナ技師ガ無イノデアルカラ、
當分是ハ延期スルヨリ外仕方ガナイト斯ウ
云フ、仙石サンハ猪苗代ノ水力電氣デハア
ノ通り成功シテ居ルデハナイカ、アレニ比
べテ見レバ信濃川ノ發電工事ナドハ何デモ
ナイコトデアル、ノミナラズ信越電力ナル
一私立會社ハ同一地點ニ於テ、同一ナル工
事ニ依テ工事ヲ進メテ居ルデハナイカ、
一私立會社ガ優ニ成シ遂ゲツ、アルモノ
ヲ、政府ノ力ヲ以テ之ヲ成シ遂ゲルコトガ
出來ヌト云フヤウナ話ハ、誰ガ其答辯ニ誠

意ヲ置ク者ガアルデアリマセウ(拍手)茲
ニ至ラテ井出君ノ追第二依テ、議論ハ益
シドロモドロニナラザルヲ得ナイ結果ニ相
成テ、究極ノ答辯ハドウナツタカト云ヘバ、
結局ハ信濃川モ之ヲ拋棄スルノデハナク、
結果ハヤル積リデアル、ソコデ井出君ハ結
局ヤル積リデアルナラバ火力ノ發電所ハ要
ラヌノデハナイカ、信濃川ノ工事ヲ急イダ
ラ宜イデハナイカ、火力ノ發電所ハ二重ニ
ナルデハナイカ、仙石大臣ハ答ヘテ曰ク、
イヤ火力ハ信濃川ノ補充機関ニ使フ爲ニ折
角設計ヲ致シテ居ル、斯ウ言フ(拍手)諸君、
諸君主力ノ機關ヲ中止シテ、後廻シニシ
テ、補充機關ヲ先ニ若者ヲスルト云フヤウ
ナコトガ世ノ中ニアルデアリマセウ(拍
手)實ニ昨日ノ豫算委員會ニ於ケル狀況ヲ
見レバ、私ハ仙石君ガ誠意ヲ以テ眞面目ニ
答辯ノ任ニ當シテ居ルカドウカト云フコト
ニ、深イ疑ヲ持シテ居ル次第アルノデア
リマスルガ、サリナガラ私ハ仙石君ガ斯ノ
如キシドロモドロノ答辯ヲシタニモ拘ラ
ズ、私ハ仙石君ノ頭ノ惡イ結果斯ウシドロ
モドロニナツタモノトハ考ヘテ居ラナイ、
何等カ内部ニ言フベカラザル事情カ伏在致
シテ居ル爲ニ、斯ノ如キ現象ヲ呈シタノデ
ハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)
ドウカ、——ドウカ、「怪イゾ」と呼フ者
アリ)ドウカ吾々ノ見所デハ、斯ノ如キ
無益著澤ナ費用ニ貴重ノ金ヲ使フヨリモ、
寧口國民ノ熱望致シテ居リマスル建設方面
ト云フコトノ一ツノ證據デアルト私ハ考ヘ
トズスノ如キ議論ガ行ハレルト云フコトハ、
農村ヲ都會化スルト云フコトノ目的ニ向
テ、歐洲ノ識者ガ如何ニ心ヲ勞シテ居ルカ
ト云フコトノ一ツノ證據デアルト私ハ考ヘ
トマスルガ、我ガ帝國ハ歐洲ト事情ヲ異ニ致
シテ居リマシテ、マグ鐵道ガ中々普及致シ
テ居ラヌ、鐵道普及ハ今日ノ急務デアルノ
ミナラズ、農村ノ疲弊ハ當今其極ニ達シ、
農村振興ノ聲ハ國論ト相成、テ居ルノデア
リマスカラ、鐵道ヲ建設ジテ農村振興ノ意
味ヲ緩和スルコトモ、是モ或ル意味ニ於テ
ハ此鐵道ノ既成計畫ヲ遂行スル上ニ於テ、
大ナル異議ノアルコトデハナイト私ハ確
信ヲ致シテ居リマス(拍手)三派ノ諸君ニ於
テハ、無論鐵道ノ計畫ノ遂行ニ御異議ガ無
イコトハ當テ仙石大臣ガ三千三百萬圓說ヲ
發表致シタ時分ニ、三派ノ諸君ガ之ヲ四千
六百萬圓ニ變更サシタ、其諸君ノ御勦ハ私
運ノ伸張ガ鐵道事業ノ進行ニ深イ關係ヲ
出處ヌト云フヤウナ話ハ、誰ガ其答辯ニ誠

持ツモノデアルコトハ、是ハ皆サン御承知
ノ通リデアノテ、私ヨリ改メテ申上ゲル迄
モナイトデアリマスルガ、歐羅巴ノ事ヲ
持出シテ御叱リニ相成ルカモ知レマセヌ
ガ、結論デアリマスカラ御許ヲ願ヒマス、
近來歐羅巴ノ識者ノ間ニ於テ、社會ノ最モ
要務トスベキ當面ノ急務ハ有ユルモノヲ棄
テ、毛農村ヲ都會化シ、農村ノ生活ヲ都會
ノ生活ト變リナキ便宜ヲ與ヘルマニ引上
ゲルコトガ、社會ノ急務中ノ急務デアルト
云フ議論ガ甚ダヤカマシイノデアリマス、
(拍手)而シテ農村ヲ都會化シ、都會ノ文化
ヲ村落ニ移スト云フコトハ、如何ニスルモ
鐵道建設ノ力ニ俟タナケレバナラヌト云フ
コトヲ歐羅巴ノ識者ガ折角言ウテ居ルノデ
アリマス、歐羅巴ノ今日ノ狀況ハ前ニモ申
上ゲマシタ如ク、實ハ鐵道ガ行渡リ過ギタ結果デア
居ンテ、其爲ニ鐵道自身ノ經濟ガ甚ダ付キ
惡位ノ狀況ニ相成シテ居ル、鐵道學者ハ歐
羅巴ハ餘リニ鐵道ヲ濫費シ過ギタ結果デア
ルト言ウテ居ルノデアリマス、ソレニモ拘
ラズスノ如キ議論ガ行ハレルト云フコトハ、
農村ヲ都會化スルト云フコトノ目的ニ向
テ、歐洲ノ識者ガ如何ニ心ヲ勞シテ居ルカ
ト云フコトノ一ツノ證據デアルト私ハ考ヘ
トマスルガ、我ガ帝國ハ歐洲ト事情ヲ異ニ致
シテ居リマシテ、マグ鐵道ガ中々普及致シ
テ居ラヌ、鐵道普及ハ今日ノ急務デアルノ
ミナラズ、農村ノ疲弊ハ當今其極ニ達シ、
農村振興ノ聲ハ國論ト相成、テ居ルノデア
リマスカラ、鐵道ヲ建設ジテ農村振興ノ意
味ヲ緩和スルコトモ、是モ或ル意味ニ於テ
ハ此鐵道ノ既成計畫ヲ遂行スル上ニ於テ、
大ナル異議ノアルコトデハナイト私ハ確
信ヲ致シテ居リマス(拍手)三派ノ諸君ニ於
テハ、無論鐵道ノ計畫ノ遂行ニ御異議ガ無
イコトハ當テ仙石大臣ガ三千三百萬圓說ヲ
上云フコトニモ關係ガアリマスガ、世界道
ト云フモノヲ造ラナケレバナラヌ、世界ノ

ハ多シトシテ感謝スル所デアリマスガ、併
シ四千六百万圓ニナツタ事ヲ諸君ガ満足ヲ
致シテ居ル譯デハナイノデアリマス、特別
ノ事情ノ爲ニ唯、我慢ヲ爲サレテ居ルノミ
超越シテ、我ガ國力ノ發展、文化ノ先驅ノ爲
アリマスカラ、私ハ茲ニ本決議案ヲ提出致
シマシテ、ドウカ皆様方が黨派ニ關係ナク
反省ヲ御願ヒスル次第デアリマス(拍手)
○議長(柏谷義三君) 質疑ノ通告ガアリマ
ス、之ヲ許シマス田淵豊吉君
〔田淵豊吉君登壇〕
○田淵豊吉君 諸君私ハ餘リ鐵道ノコトハ
知ラヌノデス、極ク素人デアリマスガ、ドウ
カ相當ニ重大ナル問題デスカラ暫クノ間御清
聽ヲ願ヒタイ、大臣ガ居リマスカ、アア鐵道
ノ人ガ居ル居ル、是ハ議事進行ナナイカラ
シテ、ソレカラ世界的ニナシテ來タ、此三ツ
ヲ見ナケレバナラヌ、所ガ國際會議ガ起
テ居リマス所ガ日本ダケデモ分リハシナ
イ、統一ガナイ、ソレデ國際會議ニ出テモ
少シ外ノコトヲ言ハシテ貢フト都合ガ宣シ
イ、宜シイデスガドウモ私ハ斯ウ思フ、是
ノ人ガ居ル居ル、是ハ議事進行ナナイカラ
シテ居リマシテ、マグ鐵道ガ中々普及致シ
テ居ラヌ、鐵道普及ハ今日ノ急務デアルノ
ミナラズ、農村ノ疲弊ハ當今其極ニ達シ、
農村振興ノ聲ハ國論ト相成、テ居ルノデア
リマスカラ、鐵道ヲ建設ジテ農村振興ノ意
味ヲ緩和スルコトモ、是モ或ル意味ニ於テ
ハ此鐵道ノ既成計畫ヲ遂行スル上ニ於テ、
大ナル異議ノアルコトデハナイト私ハ確
信ヲ致シテ居リマス(拍手)三派ノ諸君ニ於
テハ、無論鐵道ノ計畫ノ遂行ニ御異議ガ無
イコトハ當テ仙石大臣ガ三千三百萬圓說ヲ
上云フコトニモ關係ガアリマスガ、世界道
ト云フモノヲ造ラナケレバナラヌ、世界ノ

日本デアリマスカラ、世界ト云フモノト日本トノ間ノ交渉點ヲ取ラナケレバナラヌ、詰リ經濟ノ根本ト申シマセウカ、何ト申シマセウカ、今日ニ於テハ交通運輸通信ト云フコトハ經濟ノ殆ド中樞ヲ成シテ居ルノデアル、支那ガ金貨本位ヲ採用出來マセヌノハ民度ノ低イノト、鐵道ガ完成シテ居ナイカラ金貨ノ輸送ニ於テモ困ル、ソレデ金貨本位ヲ採用スルコトガ出來ナイ、日本デモ都會ト田舎ト金利關係ガ違フト云フ、總テノ點ニ於テ私ハ經濟ニ大ナル關係ガアルト思フ、ソレカラ總テノ統合シタ頭ヲ大臣ガ持テ居ナイ、今回デモサウデス、局長アタリハ建設ヲヤリタイガ、仙石サン一人デ改良シヤウト云フ、仙石サン一人ガ政黨ヲ引廻シテ、局長ナドヲ引廻シテ、一人ノ頭デヤツテ居ル、又此處ニ座テ居ル人、濱口サンハ頭ガ堅イカラ金ヲ出サヌ、仙石サンモ困ツテ居タ、是ハ仙石サン一ツノ頭デ拵ヘタ案ナノダ、外ノ者ハ知ラナイ、是ハ餘談デハナイケレドモ、重要なコトデスケレドモ、又本問題トハ關係ガアルケレドモ、比較的薄イカモ知レヌ、併シ相當ニアルト欲スル所ハ、此經濟ト云フモノハ御存知ノ通り、生產ト云フモノト此分配論ガ世界ノ大問題ニナツテ居ル、生產論ハ幾何カ開却サレテ、分配論ガ世界ノ大問題トナッテ居ル、サウシテ生產論ニ於テハ生產ノ「オルガニゼーション」、生產ノ機關ノ改造ト云フモノガ生產論ニ於テ最重大ナル關係ヲ持テ來テ居ルノデアリマス、サウシテ最必要ナル分配論、或ハ社會政策ト云ヒ、或ハ社會主義ト云ヒ、共產主義ト云ヒ、此世界ノ大勢ハ則チ生產ノ方法、及ビ殊ニ分配點ニ於テ、非常ニ唯物觀ヲ主張スル「マルクス」ノ影響ヲ受ケテ、ソレニ非常ニ集中シテ居ルト云フ狀態、由來人間ハ物質的ノ事ガ多イ、故ニ人權ノ發達交通ノ發達ト

共ニ、益ヒドクナルト思フ、然ルニ現内閣ノ狀態ヲ見マスト、現内閣ノ加藤高明ト云フ人ヲヤトカ、或ハ又仙石君デモ、元ハ本位ヲ採用スルコトガ出來ナイ所ノ何所ニ持テ行シテモ、都會ト田舎ト金利關係ガ違フト云フ、總テノ點ニ於テ私ハ經濟ニ大ナル關係ガアルト思フ、ソレカラ總テノ統合シタ頭ヲ大臣ガ持テ居ナイ、今回デモサウデス、局長アタリハ建設ヲヤリタイガ、仙石君一人デ改良シヤウト云フ、仙石君一人ガ政黨ヲ引廻シテ、局長ナドヲ引廻シテ、一人ノ頭デヤツテ居ル、又此處ニ座テ居ル人、濱口サンハ頭ガ堅イカラ金ヲ出サヌ、仙石君モ困ツテ居タ、是ハ仙石君一ツノ頭デ拵ヘタ案ナノダ、外ノ者ハ知ラナイ、是ハ餘談デハナイケレドモ、重要なコトデスケレドモ、又本問題トハ關係ガアルケレドモ、比較的薄イカモ知レヌ、併シ相當ニアルト欲スル所ハ、此經濟ト云フモノハ御存知ノ通り、生產ト云フモノト此分配論ガ世界ノ大問題ニナツテ居ル、生產論ハ幾何カ開却サレテ、分配論ガ世界ノ大問題トナッテ居ル、サウシテ生產論ニ於テハ生產ノ「オルガニゼーション」、生產ノ機關ノ改造ト云フモノガ生產論ニ於テ最重大ナル關係ヲ持テ來テ居ルノデアリマス、サウシテ最必要ナル分配論、或ハ社會政策ト云ヒ、或ハ社會主義ト云ヒ、共產主義ト云ヒ、此世界ノ大勢ハ則チ生產ノ方法、及ビ殊ニ分配點ニ於テ、非常ニ唯物觀ヲ主張スル「マルクス」ノ影響ヲ受ケテ、ソレニ非常ニ集中シテ居ルト云フ狀態、由來人間ハ物質的ノ事ガ多イ、故ニ人權ノ發達交通ノ發達ト

トヲヤツタデハナイカ、所カ憲政會ハドウカト云フ、矢張都市ノ議員ガ多イカラ、道ノ私營主義ヲ唱ヘタ人達デアル、營利主義デアル、成ベク鐵道カラ金ヲ多く取ラウト云フ營利主義デアル、此營利主義ガ今日モ抜ケナイデ——西園寺サンカ知ラヌガ、政友會ノ連中ガ國營主義デナケレバナラヌト云フ、故ニ私營主義ノ憲政會ト國營主義ノ政友會ト云フモノハ兩々相容レナイ所ノ主張ヲ持テ居ルコトハ固ヨリ明デアル、然ルニ今ノ仙石君アタリガ矢張今回ヤツテ居ルノハ中央集權的デアル、保守的デアル、商工的デアル、地方的デナク、農村的デナイト云フノデアリマス、是ガ重大ナル所ノ岐レ目ニナツテ居ル、私營主義デアリマス、改良ト雖モ「インテンシブエキスшенション」トモ云ハレマセウ、即チ集約的ノ建設デアリマシテ、即チ一ツノ「エキスチション」デアル、即チ一種ノ建設延長デアル、ケレドモ都市ニ集中シテ居ルノデアリマス、或ハ車輛ノ改良トカ、或ハ電化政策トカ、或ハ停車場ヲ直ストカ、橋ヲ直ストカ、名古屋アタリノ人ハ怒ラルカモ知レナイガ、名古屋邊リデハ若シ鐵道停車場ヲ旨クシテ吳レナケレバ、脫黨シテモ名古屋ノ改築ヲヤラウト言ツタコトヲ聞イテ居ル、大阪モサウデアル、大阪ノ新聞デ提燈ヲ持ツ、東京モ金ヲ取シテ居ル、殆ド震災後焼太リスルヤウニナルマデ取ツテ居ル、都市ハ皆非常ニ良イ、都市集中主義カラ割出シテ東京、名古屋、大阪ノミナラズ全國ニ既成線ナドニモ及シテ居ル、之ヲ或ル點カラ言ヘバ集中主義、營利主義、「コムビネーシヨン」デアリマス、又一方政友會ハ黨勢擴張ノ爲ニ成ベク地方ニ鐵道ヲ架ケルト云フコ

トヲヤツタデハナイカ、所カ憲政會ハドウカト云フ、矢張都市ノ議員ガ多イカラ、道ノ私營主義ヲ唱ヘタ人達デアル、營利主義デアル、成ベク鐵道カラ金ヲ多く取ラウト云フ營利主義デアル、此營利主義ガ今日モ抜ケナイデ——西園寺サンカ知ラヌガ、政友會ノ連中ガ國營主義デナケレバナラヌト云フ、故ニ私營主義ノ憲政會ト國營主義ト國營主義トハ違テ來ルコトハ、政友會ノ諸君ニ明瞭ニ分ツテ居ル、私ハ斯ウ云フヤウニ思フノデゴザイマス、鐵道ト云フモノハ、國ガ立法權、司法權、行政權ヲ持テ居ツテ、統治權ノ大ナルモノガアル以上ハ、司法ノ上ニ於テモ、通信ノ上ニ於テモ、郵便物ヲ送ツタリスルモノ、又軍備ノ上ニ於テモ、或ハ經濟ノ上ニ於テモ、教育ノ上ニ於テモ、此日本常國ト云フモノハ「一ツノ統一シタ所ノ有機體ノヤウナモノ」デナケレバナラヌ、故ニ各地方ニ向ツテモ矢張鐵道ヲ架ケテ、サウシテ是等ノ行政機關ノ活動、司法機關ノ活動、軍備機關ノ活動ヲシテ完全ニセシメナケレバ、イカヌト思フノデアリマス、是ハ小サイ問題デナイト私ハ固ク信ズル、ノミナラズ此大ナル所ノ經濟網ト云フモノヲ張ツテ、成ベク安ク、成ベク早ク其物ヲ連絡スルト云フコトニナトル、或ハ魚デモ、或ハ木材デモ、或ハ肥料デモ其他諸々ノ物資ヲ運搬スルニ付テ非常ニ安イ、又金利モ安クナルト云フ狀態デアリマス、今日總テノモノノ都會ニ集中シテ、都會ガ段々集中警察トカ國家ノ活動ノ源泉機關デアル立法部ノ議員ニ與ヘヌト云フコトハドウデアル、前鐵道大臣トカ、或ハ新聞記者アタリニハ社ヘニ三枚ヅ、配ツテ居ルラシイ、然ルニ其一例ニ小サイ例ヲ引クト「バス」ノ問題即チ無賃乗車券問題ガサウデアル、「バス」ハ前鐵道大臣トカ、或ハ新聞記者アタリニハ警察トカ國家ノ活動ノ源泉機關デアル立法部ノ議員ニ與ヘヌト云フコトハドウデアル、取上ダルト云フコトハドウデアルカ、「ヒヤヒヤ」諸君實ニ怪シカラズ、是ハ先ニ言ウタ營利主義カラ來テ居ル、個人主義的カラ來テ居ル、諸君鐵道從業員ハドウデアルカ、從業員ノ家族ハ能ク知リマセヌガ、約十六万人アルト云フ、十六万人ノ人ニ一人ノ從業員ニ付キ三人ヲ限リ十五日分二回與ヘテ居ルノデアル、是ハ寧ロ是等ノ人ニ約十六万人アルト云フ、十六万人ノ人ニ一人ノ從業員ニ付キ三人ヲ限リ十五日分二回與ヘテ居ル、即チ年ニ一人ニ付キ九十人分與ヘテ居ルカラ、之ニ十六万ヲ乘ケレバ非常ニ多數ノ人ニ、鐵道ハ年ニ二等ヤ三等ヲ約十六万人アルト云フ、十六万人ノ人ニ一人ノ從業員ニ付キ三人ヲ限リ十五日分二回與ヘテ居ルノデアル、是ハ寧ロ是等ノ人ニハ金ヲ與ヘテ少シデモ給與ヲ増シテヤル「バス」ヲ與ヘテ必要ノナイ所ヲ見物スルヨリハ給料ヲ増スノ方ガ宜イト思フ、然ルニ

從業員ハ兎モ角其家族ニ與ヘテ居ル、是ハ本當デアルカ、若シ本當デアレス様ナ人ニ與ヘルヨリハ寧ロ國家ノ現業員デアル警察官或ハ立法部ニ向シテ、之ヲ與ヘテ自由在ニ政府ヲ監督スルニ便ニスルガ宜イ、サウシテ遺利ヲ開發スルニ便宜ヲ與ヘルガ宜イ、然ルニ政府ハ成ベク監督サレタクナ

云フ主義デアッテ、盲目ナル人ニハ與ヘテ、サウ云ウコトヲシテ居ルノハ如何ニモ鐵道自身ガ何ヲヤラウトモ外ノ者ハ默テ居ロト却ニ鐵道ハ敷カレヌト云フコトハ分ッテ居ル、故ニ「バス」ヲ出スナラバ宜イ、若シ出サネバ吾々ハ法律案トシテ取テ見セルツモリデアル、英國デモ二三年前デシタカ議員ニ鐵道乗車賃ヲ與ヘルヤウニナッテ居ル、獨逸デモ間ク所ニ依ルト新憲法ニ於テ議員ニ「バス」ヲ與ヘテ居ル上云フコトデアル、(質問ノ要旨ヲ言ヘ「ト呼フ者アリ)故ニ斯ウ云フ點ニ於テモ若シ從業員ガ金ガ要レバ從業員ニ幾分金ヲ増シテヤレバ宜イ、サウ云フ餘計ナコトヲシテ本末輕ヲ誤シテ居ル、小サイ事柄ガ即チ鐵道計畫ニ現ハレテ來テ居ルト云フコトヲ、私固ク信ジテ疑ハナイノデアリマス、第二點トシテ聽キタイノハ法律デ、地方民ガモウ既ニ架ルモノト思テ居テ、待チニ待テ居ルモノヲ、又延ハスト言フコトハ、其地方ノ人ニガ思テ居ル所ノ商賣ノ思惑トカ其他色ニ於テ齟齬ヲ來シテ居ルモノガアル、心ノ痛ミヲ感ジテ居ル、色ニ請願人が請願シテ來ル真デアル、サウ云フヤウナコトヲシテ鐵道計畫ヲヤルガ爲ニ地方民ガ迷惑ヲ蒙テ居ル、一旦國家ガ法律デヤルト云フコトヲ定

メタ以上ハ萬難ヲ排シテヤッタラドウカト思

フノデアル、然ルニ諸君一方ニ於テハ此改良費ノ總額ニ於テ——間違フカモ知レヌガ間

違タラ直シテ下サイ、六億一千六百万圓ノモノガ、七億二千四百万圓、約一億八百

万圓ヲ增シテ居ル、建設費デハ五億三千六百萬圓ヲ五億五千五百萬圓ニシテ、約一千九百萬圓シカ増シテ居ラス、一方ニ於テハ一億八百万圓ヲ増シ、一方ハ千九百万圓シカ増シテ居ラヌ奇現象ヲ呈シテ居ル、是ハ

何故デアルカ、色々ノ關係モアリマセウガ、斯ウ云フヤウナ偏頗ナル所ノ政策ヲヤレバ、吾々ハ思想ノ惡化ヲ來スト固ク信ジテ居ルノデアル、既ニ來シテ居ル——事實

デアル、次ニ私ハ此改良ガ必シモ改良ニ據ラナケレバ、先ノ人ガ言フタヤウニ今直グ人ガ落ソコナシト云フ譯ノモノノデナ

イ、故ニ地方ノ鐵道ヲ敷イテ後ニ、廣軌ナリ何ナリヲヤルト云フコトヲヤウニモ宜イ

ト云フ議論モ附ク、故ニ必シモ鐵道ノ改良ヲシナケレバ日本ガ引繰リ返ル譯デナリ、故ニ此點ハ非常ニ考慮シナケレバナラヌ、仙石サンガサウ云フ所ニ掛シテ來ルトスウ

シナケレバ營利主義ニ行カヌト云フ考カラアル、曩ノ計畫ト今ノ計畫トハ大分違テ

少シバカリ增シテ居ルト云フ點ハアリマス、付テ私ハ先ニ總額ヲ言ヒマシタガ、各自ノ

點ニ付テ言ヒマスト大分同ジヤウナモノガ此處ニモアリマスガ、(發言スル者多シ)マア

アル、曩ノ計畫ト今ノ計畫トハ大分違テ

ソレカラ此新見三次間ノ鐵道ハ私ガ間違力知リマセヌガ、一千三百万圓ヲ曩ニ計上シテ居ルノヲ今回ハ九百万圓デアル、約四百

万圓減ジテ居ル、即チ三割方減ジテ居ルト云フコトデアル、是ハ果シテ其線ノ測量ガ

ナイカト思フ、十四年度ニシマシシテモ、セシケレバ營利主義ニ行カヌト云フ考カラシタクテ、是ハ一體仙石君ノミナラズ、總テウケレドモ、大體今日ハサウ見ラレルト思

シテヤリタイト言フ、憲政會ノ非募債政策ノ後ロニ乘シタカラ、仙石ガ行キツ戾リツシテ居ル、ソレデ仙石サンハ大藏省ヘ行キマスト言ウテ、大藏省ヘ行シテモ最初僅ニ八

ノモノガ、七億二千四百万圓、約一億八百

萬圓ヲ増シテ居ル、建設費デハ五億三千六百萬圓ヲ五億五千五百萬圓ニシテ、約一千九百萬圓シカ増シテ居ラス、一方ニ於テハ

一億八百万圓ヲ増シ、一方ハ千九百万圓シカ増シテ居ラヌ奇現象ヲ呈シテ居ル、是ハ

良偏重ニ嫌ガアルト云フコトハ私ハ宜クナ

イト思フ、(發言者多く笑聲起ル)諸君ガガアガア言フカラ忘レシマフ(笑聲起ル)第三

ニ今度出シタ所ノ改訂ノ案ガ二十四年度ニナツテ完成サレルト言ウテ居リマスガ、私

ハ鐵道ノ事ハ能ク知ラヌケレドモ、多分一分多分ヂヤナイ恐クハ二十四年度ニハ完成ス

マイト云フコトヲ、是ハ私ノ最モ強イ議論、此點ニ付テ的確ナル所ノ御答辯ヲ願ヒ

タイ、ソレハドウ云フ譯デアルカト云フト此處ニモアリマスガ、(發言スル者多シ)マア

アル、曩ノ計畫ト今ノ計畫トハ大分違テ

ソレカラ此新見三次間ノ鐵道ハ私ガ間違力知リマセヌガ、一千三百万圓ヲ曩ニ計上シテ居ルノヲ今回ハ九百万圓デアル、約四百

万圓減ジテ居ル、即チ三割方減ジテ居ルト云フコトデアル、是ハ果シテ其線ノ測量ガ

ナイカト思フ、十四年度ニシマシシテモ、セシケレバ營利主義ニ行カヌト云フ考カラ

テ居ル、此數字ハ間違デナイカ知ラスト思

フガ、是ニハ何カ重大ナコトガアルノデア

リマセウ、其他ノ點ニ付テ池田山田間ノモノハ矢張少シ増シテ居ルト云フヤウナコト

シテ居ル所ノ二百四十萬圓、約二倍ニナツテ居リマス、片方ハ少シ増シテ居ルガ、片方

ノモノハ少シ減、テ居ルト云フコトデ、總額ニ於テハ少シシカ違ハヌト云フコトデ

アル、試ニ私が聞イタ所ニ依リマスト、私ハ能ク知テ居ルガ、私等ノ紀州ヲ貫通シテ居ル所ノ二百四十萬圓ノ此鐵道ハドレダケ金ヲ投ジテ居ルカト云ウト、大正十三年度ノ十月マデニ九百万圓出シテ居ル、ソレカラ後約三千二百萬圓、合計四千萬圓デ、ド

ウシテ諸君出来マセウカ、必ズヤは一哩平均三十萬圓掛テ、少クトモ六千萬圓ハ掛ル筈デアラウト思フ、物價ノ高低モアラウケレドモ、大體今日ハサウ見ラレルト思

ノノデアリマス、果シテ是ガ四千萬圓デ出来ルカドウカト云フコトヲ仙石サンニ御尋

シタクテ、是ハ一體仙石君ノミナラズ、總テノ人ガ嘘バチヲ書イタモノノデハナイカト思フ、今八田君ニ聞クト裏ノ原案ト云フモノハ大正八年ノ時ノ物價デアッテ、約二割方

其時ノ方ガ高クテ、今ノ方ガ安クナツテ居ル、故ニ安イノハ當リ前デアリマスガ、今

日勸業銀行カラ指數ヲ取寄セテ調ベタガ、其指數ダケデハ分ラヌカ知ラヌガ、八年ト

今トハ一割二步五厘下^ノテ居ルノデアリマス、併シ又三土農商務大臣ハ議會デ八年ト

今日トハ一圓何十錢ノ勞銀ガ二圓何十錢ニ

ダケ三割引イテ居ルカ、又サウシテ盛岡、山田線等ハ千九百八十万圓ノモノガ、千八百八十万圓ニナツテ五分ノ割引ヲシテ居ルマセヌガ、物價ハ一緒デアルノニ何故此線

能ク知テ居リマスガ、此絆勢線ハ二十四年

度ノ完成ニナツテ居ルケレドモ、約三割減ニナツテ居ル、外ノモノハ長岡、高崎間ハ

ドウ云フ譯カ知リマセヌガ二百五十萬圓ト云フモノヲ八百万圓増シテ一千二百六十萬圓ニシ

出來マセウカドウデアリマセウカ、私ハ他ノ線ハ能ク知リマセヌガ、此他ノ線モ是デ果シテ出來マセウカ、又全國ノ線ガ果シテ是デ出來マセウカドウカト云フコトヲ御尋シタインデアリマス、其證據ト言ッテハヲカシイガ、私ハ岐阜建設事務所ニ行キマシタ、サウシテ其處ノ相當ノ役人ニ會シタノデアリマス、サウシタラ年々二百万圓宛兩方カラ出シテ、即チ四百万圓位出シテヤレバ、十三年度ノ春ノ計算ニ於キマシテハ大正二十八年度ニ完成スル見込デアルト云フコトヲ言タ、詰リ岐阜建設事務所ノ役人ガ誤リデアルヤ如何、仙石サンガ遠クニ居テ知ッテ居ラズノカドウカト云フコトヲ聞キタイ、現ニサウ言ッテ居ルノデアル、又或ル有力ナ者モ紀勢鐵道ハ二十四年度迄ニハ出來マイト言テ居ル、コンナ小サイ金デドウシテ出來マセウカ、四千万圓ト云フモノハ大キイ方デ——年度割ヲ見ルト三千九百万圓ト云フノハ大キイ額ニナッテ居テ、十四年度ニ於テハ百三十萬圓十五年度二百二十萬圓、十六年度百八十万圓、十七年度二百六十萬圓、コンナ小サイ金デドウシテ出來マセウカ、斯ウ云フ出來ナイ所ノ案ヲ出シテ諸君ヲ欺イテ居ルモノニアルト云フコトヲ私ハ固ク信ズルノデアル、諸君、是ハ重大ナル所ノ問題デアル、政府ハスノ如キ不眞面目ナル案ヲ出シテ、此位ノ金デ地方民ヲ釣ル爲ニ此原案ヲ捨ヘタモノデハナイカ、是ハ提出者ノ人ニモ聞キタイ、諸君ハ果シテ此原案ニ依ツテ出來ルモノデアルト信ジテ居ラレルカ、ソレヲ聽キタイ、今ノ内閣ヤ之ヲ支ヘル所ノ人ニ明ニ是ガ出來ルカ出來マイカト言フコトヲ十分ニ踏査シタノデハナイト思フ、吾々ハ金モナケレバ書記モナイ、何モ十分ニ調べルコトハ出来ナイガ、併ナガラ吾々ノ見解デハ到底出來ナイデアラウト云フコトヲ信ズル、況ヤ諸君ハチヤランボランナモノヲ以テ遙

イトカ早イトカ云フコトヲ言フノハ、是ハ殆ド「ノンセンス」デアルト云ヘル、此中ニハ尋シタインデアリマス、其證據ト言ッテハヲカシイガ、私ハ岐阜建設事務所ニ行キマシタ、サウシテ其處ノ相當ノ役人ニ會シタノデアリマス、サウシタラ年々二百万圓宛兩方カラ出シテ、即チ四百万圓位出シテヤレバ、十三年度ノ春ノ計算ニ於キマシテハ大正二十八年度ニ完成スル見込デアルト云フコトヲ言タ、詰リ岐阜建設事務所ノ役人ガ誤リデアルヤ如何、仙石サンガ遠クニ居テ知ッテ居ラズノカドウカト云フコトヲ聞キタイ、現ニサウ言ッテ居ルノデアル、又或ル有力ナ者モ紀勢鐵道ハ二十四年度迄ニハ出來マイト言テ居ル、コンナ小サイ金デドウシテ出來マセウカ、四千万圓ト云フモノハ大キイ方デ——年度割ヲ見ルト三千九百万圓ト云フノハ大キイ額ニナッテ居テ、十四年度ニ於テハ百三十萬圓十五年度二百二十萬圓、十六年度百八十万圓、十七年度二百六十萬圓、コンナ小サイ金デドウシテ出來マセウカ、斯ウ云フ出來ナイ所ノ案ヲ出シテ諸君ヲ欺イテ居ルモノニアルト云フコトヲ私ハ固ク信ズルノデアル、諸君、是ハ重大ナル所ノ問題デアル、政府ハスノ如キ不眞面目ナル案ヲ出シテ、此位ノ金デ地方民ヲ釣ル爲ニ此原案ヲ捨ヘタモノデハナイカ、是ハ提出者ノ人ニモ聞キタイ、諸君ハ果シテ此原案ニ依ツテ出來ルモノデアルト信ジテ居ラレルカ、ソレヲ聽キタイ、今ノ内閣ヤ之ヲ支ヘル所ノ人ニ明ニ是ガ出來ルカ出來マイカト言フコトヲ十分ニ踏査シタノデハナイト思フ、吾々ハ金モナケレバ書記モナイ、何モ十分ニ調べルコトハ出来ナイガ、併ナガラ吾々ノ見解デハ到底出來ナイデアラウト云フコトヲ信ズル、況ヤ諸君ハチヤランボランナモノヲ以テ遙

イトカ早イトカ云フコトヲ言フノハ、是ハ殆ド「ノンセンス」デアルト云ヘル、此中ニハ尋シタインデアリマス、其證據ト言ッテハヲカシイガ、私ハ岐阜建設事務所ニ行キマシタ、サウシテ其處ノ相當ノ役人ニ會シタノデアリマス、サウシタラ年々二百万圓宛兩方カラ出シテ、即チ四百万圓位出シテヤレバ、十三年度ノ春ノ計算ニ於キマシテハ大正二十八年度ニ完成スル見込デアルト云フコトヲ言タ、詰リ岐阜建設事務所ノ役人ガ誤リデアルヤ如何、仙石サンガ遠クニ居テ知ッテ居ラズノカドウカト云フコトヲ聞キタイ、現ニサウ言ッテ居ルノデアル、又或ル有力ナ者モ紀勢鐵道ハ二十四年度迄ニハ出來マイト言テ居ル、コンナ小サイ金デドウシテ出來マセウカ、四千万圓ト云フモノハ大キイ方デ——年度割ヲ見ルト三千九百万圓ト云フノハ大キイ額ニナッテ居テ、十四年度ニ於テハ百三十萬圓十五年度二百二十萬圓、十六年度百八十万圓、十七年度二百六十萬圓、コンナ小サイ金デドウシテ出來マセウカ、斯ウ云フ出來ナイ所ノ案ヲ出シテ諸君ヲ欺イテ居ルモノニアルト云フコトヲ私ハ固ク信ズルノデアル、諸君、是ハ重大ナル所ノ問題デアル、政府ハスノ如キ不眞面目ナル案ヲ出シテ、此位ノ金デ地方民ヲ釣ル爲ニ此原案ヲ捨ヘタモノデハナイカ、是ハ提出者ノ人ニモ聞キタイ、諸君ハ果シテ此原案ニ依ツテ出來ルモノデアルト信ジテ居ラレルカ、ソレヲ聽キタイ、今ノ内閣ヤ之ヲ支ヘル所ノ人ニ明ニ是ガ出來ルカ出來マイカト言フコトヲ十分ニ踏査シタノデハナイト思フ、吾々ハ金モナケレバ書記モナイ、何モ十分ニ調べルコトハ出来ナイガ、併ナガラ吾々ノ見解デハ到底出來ナイデアラウト云フコトヲ信ズル、況ヤ諸君ハチヤランボランナモノヲ以テ遙

ド「ノンセンス」デアルト云ヘル、此中ニハ尋シタインデアリマス、其證據ト言ッテハヲカシイガ、私ハ岐阜建設事務所ニ行キマシタ、サウシテ其處ノ相當ノ役人ニ會シタノデアリマス、サウシタラ年々二百万圓宛兩方カラ出シテ、即チ四百万圓位出シテヤレバ、十三年度ノ春ノ計算ニ於キマシテハ大正二十八年度ニ完成スル見込デアルト云フコトヲ言タ、詰リ岐阜建設事務所ノ役人ガ誤リデアルヤ如何、仙石サンガ遠クニ居テ知ッテ居ラズノカドウカト云フコトヲ聞キタイ、現ニサウ言ッテ居ルノデアル、又或ル有力ナ者モ紀勢鐵道ハ二十四年度迄ニハ出來マイト言テ居ル、コンナ小サイ金デドウシテ出來マセウカ、四千万圓ト云フモノハ大キイ方デ——年度割ヲ見ルト三千九百万圓ト云フノハ大キイ額ニナッテ居テ、十四年度ニ於テハ百三十萬圓十五年度二百二十萬圓、十六年度百八十万圓、十七年度二百六十萬圓、コンナ小サイ金デドウシテ出來マセウカ、斯ウ云フ出來ナイ所ノ案ヲ出シテ諸君ヲ欺イテ居ルモノニアルト云フコトヲ私ハ固ク信ズルノデアル、諸君、是ハ重大ナル所ノ問題デアル、政府ハスノ如キ不眞面目ナル案ヲ出シテ、此位ノ金デ地方民ヲ釣ル爲ニ此原案ヲ捨ヘタモノデハナイカ、是ハ提出者ノ人ニモ聞キタイ、諸君ハ果シテ此原案ニ依ツテ出來ルモノデアルト信ジテ居ラレルカ、ソレヲ聽キタイ、今ノ内閣ヤ之ヲ支ヘル所ノ人ニ明ニ是ガ出來ルカ出來マイカト言フコトヲ十分ニ踏査シタノデハナイト思フ、吾々ハ金モナケレバ書記モナイ、何モ十分ニ調べルコトハ出来ナイガ、併ナガラ吾々ノ見解デハ到底出來ナイデアラウト云フコトヲ信ズル、況ヤ諸君ハチヤランボランナモノヲ以テ遙

ド「ノンセンス」デアルト云ヘル、此中ニハ尋シタインデアリマス、其證據ト言ッテハヲカシイガ、私ハ岐阜建設事務所ニ行キマシタ、サウシテ其處ノ相當ノ役人ニ會シタノデアリマス、サウシタラ年々二百万圓宛兩方カラ出シテ、即チ四百万圓位出シテヤレバ、十三年度ノ春ノ計算ニ於キマシテハ大正二十八年度ニ完成スル見込デアルト云フコトヲ言タ、詰リ岐阜建設事務所ノ役人ガ誤リデアルヤ如何、仙石サンガ遠クニ居テ知ッテ居ラズノカドウカト云フコトヲ聞キタイ、現ニサウ言ッテ居ルノデアル、又或ル有力ナ者モ紀勢鐵道ハ二十四年度迄ニハ出來マイト言テ居ル、コンナ小サイ金デドウシテ出來マセウカ、四千万圓ト云フモノハ大キイ方デ——年度割ヲ見ルト三千九百万圓ト云フノハ大キイ額ニナッテ居テ、十四年度ニ於テハ百三十萬圓十五年度二百二十萬圓、十六年度百八十万圓、十七年度二百六十萬圓、コンナ小サイ金デドウシテ出來マセウカ、斯ウ云フ出來ナイ所ノ案ヲ出シテ諸君ヲ欺イテ居ルモノニアルト云フコトヲ私ハ固ク信ズルノデアル、諸君、是ハ重大ナル所ノ問題デアル、政府ハスノ如キ不眞面目ナル案ヲ出シテ、此位ノ金デ地方民ヲ釣ル爲ニ此原案ヲ捨ヘタモノデハナイカ、是ハ提出者ノ人ニモ聞キタイ、諸君ハ果シテ此原案ニ依ツテ出來ルモノデアルト信ジテ居ラレルカ、ソレヲ聽キタイ、今ノ内閣ヤ之ヲ支ヘル所ノ人ニ明ニ是ガ出來ルカ出來マイカト言フコトヲ十分ニ踏査シタノデハナイト思フ、吾々ハ金モナケレバ書記モナイ、何モ十分ニ調べルコトハ出来ナイガ、併ナガラ吾々ノ見解デハ到底出來ナイデアラウト云フコトヲ信ズル、況ヤ諸君ハチヤランボランナモノヲ以テ遙

方ニノ御集ニナニテ居リマスル此政友本黨ノ御方ニデアリマスルカラ、定メシ根本計畫ノ破壊ト云フ重大問題ニ付テハ、十分ナル御意見ヲ御聞セ下サル事デアラウト、今日ハ謹シテ御待シテ居タノニアリマス、先刻木下サンノ御演説ヲ拜聴スルニ當リマテ、沟ニ申シ難イ言葉デゴザイマスル、多大ノ失望ヲ禁ジ得ナカッタノニアリ、ス(拍手)木下サンノ御演説要旨ハ、何レニ在ルカト申シマスレバ、世界ニ於ケル所ノ列國ノ例ヲ御引キニナリマシテ、是等ヨリ鐵道ノ敷設ノ哩數ガ少トイカ、殊ニ特別ニ伊太利ノ例ヲ御引キニナリマシテ、此國ニマデ劣テ居ルト云フ御議論カラ、更ニ進ミマシテハ、建設論ヲ盛ニ高調ナサレタケレドモ、一向ニ改良ノ問題ニ對シテ、特ニ鐵道ト致シマシテハ、重大ナル使命ヲ帶ビテ居リマスル此改良ノ問題ニ對シテハ、何等ノ御言及ナカリシ事ヲ私ハ遺憾トスルノデアリマス(拍手)殊ニ建主改從ナルモノハ、鐵道政策ノ根本主義デアルト云アコトヲ御斷定ナサルニ至テハ、如何ニモ鐵道ニ對スル御造詣ノ深キ木下氏ノ言葉トシテハ、私ハ受取ルコトハ出來ナカッタノニアリマス(拍手)或ハ進ンデ停車場ノ擴張問題ニ論及セラレマシタガ、唯一部ニ局限セラレタル問題デアツテ、殊ニ最後ニ於テハ、最モ力ヲ籠メテ御詰ニナリマシタノハ、信濃川ノ水力電氣問題ニ止ラタノニアリマス、沟ニ此一事ニ依テ、鐵道計畫ノ根本ガアリマス(拍手)若シ私ヲシテ非常ナ皮肉ナ言葉、變ナ言葉ヲ以テ木下サンノ御詰ノ言葉ヲ拜借シテ申スナラバ、此問題ヲ言ヒタイガ爲ニ、實ハ鐵道ノ根本ヲ破壊スルト云フコトヲ仰シヤッタノハナイカト思フノデアリマス、今之ニ對シテ、私ハ一々其箇條

箇條ニ辯明ヲ致シマスル事ヨリ、先づ大體ノ議論ヲ致シタインデアリマスルカラ、其大體ノ議論ノ中ニ含メマシテ、以上ノ御議論ニ對シテ私ノ所見ヲ申述ベテ見タイト思ヒマス、凡ソ事業ヲ國有ト致シ、官營ト致シマスニ當テハ、言ウマデモナク公益ヲ目的トシテ居ルコトハ、私が茲ニ喋々スルマデモナインデアリマス、其公益ト一口ニ申シマスルガ、公益ナルモノニ行政上ノ目的ニ出デマスル公益ガアリ、財政經濟ニ基ク公益ガアリ、更ニ國防ニ基ク所ノ公益ガアルノニアリマス、言フマデモナク一般ノ文化ノ普及ヲ圖リ、政治上ノ施設ヲシテ全国ニ普ネカラシムルト云フヤウナコトハ、是ハ行政上必要ナル公益デアリマス、又獨占事業ノ如キモノニ對シテ、其特種ノ國民ガ、有利ナル事業ノ利益ヲ壟斷致スト云フガ如キコトノ弊ヲ防ギ、是等ノ間ニ於テ國民ノ負擔致シマス租稅ノ均衡ヲ保チ、負擔ノ均衡ヲ保チ、負擔ノ公平ヲ保タシムルト云フコトハ、是亦必要ナ事柄デアル、是ガ即チ財政經濟上ノ見地ヨリ來ル公益デアリマス、更ニ國防ノ如キモノハ祕密ヲ尊ビ、統一ヲ尊ビ、迅速ヲ要スルト云フヤウナコトニ依テ、事業ヲ國營ニ移シ官營ニ移ス、即チ帝國ノ鐵道ガ國有ニセラレタ精神ハ、是等幾多ノ公益ノ理由ニ基イテ鐵道國有が起り來、茲ニ私ガ重ネテ申ス迄モナイコトデアリマス、而モ之ニ對シテ世ノ中ニ甚ダ誤解ヲ致サレ、此中ノ唯一ノ公益ヲ以テ全部ノ公益デアル如ク誤解サレテ居ル方ガ時ニアル、現ニ鐵道ノ如キニ對シテ、鐵道國有ノ根本精神ガ公益ニ在ルト云フ所以ヲ以テ、唯鐵道路線ヲ全國ニ普及セシメルト云フ、所謂建設ノミガ唯一ノ公益デアル、既成ノ線路ニ對シテ、所謂建設シマスルニ當テ、既ニ文化ガ十分發達ヲ致シ、經濟上ノ實力ガ發達ヲ致シテ、如何ニイマス、更ニ之ニ依リマシテ恰モ鐵道ヲ敷設シマスルニ當テ、既ニ例ヘテ申シマスレバ帝國ニ於ケル北海道ノ鐵道、或ハ亞米利加ニ輪送ニ對スル保安、輪送ニ對スル安全、斯ノ如キコトノ圓滑ヲ圖ルト云フ如ギコトハ、何等公益ニアラズシテ、唯鐵道ノ建

設ノミガ公安、公益ガアルト云フ如ギ誤タル見解ヲ持シテ居ル人ガ澤山アルノニアリマス、或ハ今日仰セラレマシタ鐵道ノ根本大體ノ議論ハ、詰リ斯様十證見カラ來テ居ルモノデアルト、私ハ斷定致スノニアリマス(拍手)鐵道ノ仕事ハ言フ迄モナク極メテ多岐デアリマス、吾々政治ノ立場カラ見マスト、建設ト改良トハ鐵道ノ主要ナル事業デアリマス、此鐵道ノ建設ノ主要ナル事業ハ、本方針ハ建主改從デナケレバナラヌト云フモノデアルト、私ハ斷定致スノニアリマス(拍手)鐵道ノ建設ハ公益ヲ圖ルモノデアルト云フコトハナイ、鐵道線路ハ全國ノ津々浦々マデ普及シマスコトハ勿論必要ナ事デアリマスケドモ、利益ヲ圖ルモノデアルト云フガ如キコトヲ重ねテ申シマスルノハ、根本ノ所謂錯誤デアリマス、更ニ又吾々ハ之ニ對シテ所謂輸送ノ圓滑ヲ圖ルモノデアルト云フコトニ十分ナル力ヲ盡ス、是ガ即チ私ハ鐵道ノ公益ノ目的ヲ達スルモノデアルト信ジマス、元來此鐵道ノ建設ナルモノハ二様ノ動機ヨリ起因テ、其國ノ事業ニ依リマシテ時ニ改良ヲ主トスルコトガアリ、時ニ建設ヲ主トスルコトガアル、其所謂斯ノ如キモノヲ原則的ニ改主建從、建主改從ト云フコトヲ言ハレバ是ガ即チ何レモ公益デアルナラバ、其何レヲ從トシ何レヲ主トスルカト云フガ如キハ、絕對的ノ問題ニアラズシテ、其時ノ場合、其國ノ事情ニ依リマシテ時ニ改良ヲ良上云ヒ、何レモニツノ理由ノ下ニ行ハレマス、是レ何レモ皆公益ノ目的ヨリ來テ居ルコトハ私ガ茲ニ申スマデモナイ、然ラバ是ガ即チ何レモ公益デアルナラバ、其何レヲ從トシ何レヲ主トスルカト云フガ如キハ、絕對的ノ問題ニアラズシテ、其時ノ場合、其國ノ事情ニ依リマシテ時ニ改良ヲ良上云ヒ、何レモニツノ理由ノ下ニ行ハレマス、是レ何レモ皆公益ノ目的ヨリ來テ居ルコトハ私ガ茲ニ申スマデモナイ、然ラバ是ガ即チ何レモ公益デアルナラバ、其

道ハ、後者ノ理由ニ於テ起シタ建設ニアリマス、此ニ一樣ノ建設方法ガアルト同様ニ、改善良事業ニ於キマシテセ二様ノ意味ヲ持タナケレバナラヌ、即チ一ツハ既ニ將來ニ非常ナル輸送ノ繁忙ヲ極メル、最モ繁忙ヲ極メ或ハ非常ナル危險ノ脅威ヲ受ケルト云フ場合、最モ不完全ノ状態ニ在ルト云フ場合ニ、豫メ圖テ改良ニ盡スコトガアリマス、尙ホ一ツハ既定ノ線路ニシテ十分ナル所ノ必要ヲ感ジテ、是ニ於テ所謂之ヲ圓滑ナラシムル爲ニ改良事業ヲ行フト云フコトガアルノアリマス、此ニツノ所謂建設ト云ヒ改良ハ唯、利益ヲ圖ルモノデアルト云フコトハナイ、鐵道線路ハ全國ノ津々浦々マデ普及シマスコトハ勿論必要ナ事デアリマスケドモ、利益ヲ圖ルモノデアルト云フガ如キコトヲ重ねテ申シマスルノハ、根本ノ所謂錯誤デアリマス、更ニ又吾々ハ之ニ對シテ所謂輸送ノ圓滑ヲ圖ルモノデアルト云フコトニ十分ナル力ヲ盡ス、是ガ即チ私ハ鐵道ノ公益ノ目的ヲ達スルモノデアルト信ジマス、元來此鐵道ノ建設ナルモノハ二様ノ動機ヨリ起因テ、其國ノ事業ニ依リマシテ時ニ改良ヲ主トスルコトガアリ、時ニ建設ヲ主トスルコトガアル、其所謂斯ノ如キモノヲ原則的ニ改主建從、建主改從ト云フコトヲ言ハレバ是ガ即チ何レモ公益デアルナラバ、其何レヲ從トシ何レヲ主トスルカト云フガ如キハ、絕對的ノ問題ニアラズシテ、其時ノ場合、其國ノ事情ニ依リマシテ時ニ改良ヲ良上云ヒ、何レモニツノ理由ノ下ニ行ハレマス、是レ何レモ皆公益ノ目的ヨリ來テ居ルコトハ私ガ茲ニ申スマデモナイ、然ラバ是ガ即チ何レモ公益デアルナラバ、其何レヲ從トシ何レヲ主トスルカト云フガ如キハ、絕對的ノ問題ニアラズシテ、其時ノ場合、其國ノ事情ニ依リマシテ時ニ改良ヲ良上云ヒ、何レモニツノ理由ノ下ニ行ハレマス、是レ何レモ皆公益ノ目的ヨリ來テ居ルコトハ私ガ茲ニ申スマデモナイ、然ラバ是ガ即チ何レモ公益デアルナラバ、其

横濱間ノ鐵道、或ハ歐羅巴諸國ニ於ケル鐵道ハ、後者ノ理由ニ於テ起シタ建設ニアリマス、此ニ一樣ノ建設方法ガアルト同様ニ、改善良事業ニ於キマシテセ二様ノ意味ヲ持タナケレバナラヌ、即チ一ツハ既ニ將來ニ非常ナル輸送ノ繁忙ヲ極メル、最モ繁忙ヲ極メ或ハ非常ナル危險ノ脅威ヲ受ケルト云フ場合、最モ不完全ノ状態ニ在ルト云フ場合ニ、豫メ圖テ改良ニ盡スコトガアリマス、尙ホ一ツハ既定ノ線路ニシテ十分ナル所ノ必要ヲ感ジテ、是ニ於テ所謂之ヲ圓滑ナラシムル爲ニ改良事業ヲ行フト云フコトガアルノアリマス、此ニツノ所謂建設ト云ヒ改良ハ唯、利益ヲ圖ルモノデアルト云フコトハナイ、鐵道線路ハ全國ノ津々浦々マデ普及シマスコトハ勿論必要ナ事デアリマスケドモ、利益ヲ圖ルモノデアルト云フガ如キコトヲ重ねテ申シマスルノハ、根本ノ所謂錯誤デアリマス、更ニ又吾々ハ之ニ對シテ所謂輸送ノ圓滑ヲ圖ルモノデアルト云フコトニ十分ナル力ヲ盡ス、是ガ即チ私ハ鐵道ノ公益ノ目的ヲ達スルモノデアルト信ジマス、元來此鐵道ノ建設ナルモノハ二様ノ動機ヨリ起因テ、其國ノ事業ニ依リマシテ時ニ改良ヲ主トスルコトガアリ、時ニ建設ヲ主トスルコトガアル、其所謂斯ノ如キモノヲ原則的ニ改主建從、建主改從ト云フコトヲ言ハレバ是ガ即チ何レモ公益デアルナラバ、其何レヲ從トシ何レヲ主トスルカト云フガ如キハ、絕對的ノ問題ニアラズシテ、其時ノ場合、其國ノ事情ニ依リマシテ時ニ改良ヲ良上云ヒ、何レモニツノ理由ノ下ニ行ハレマス、是レ何レモ皆公益ノ目的ヨリ來テ居ルコトハ私ガ茲ニ申スマデモナイ、然ラバ是ガ即チ何レモ公益デアルナラバ、其何レヲ從トシ何レヲ主トスルカト云フガ如キハ、絕對的ノ問題ニアラズシテ、其時ノ場合、其國ノ事情ニ依リマシテ時ニ改良ヲ良上云ヒ、何レモニツノ理由ノ下ニ行ハレマス、是レ何レモ皆公益ノ目的ヨリ來テ居ルコトハ私ガ茲ニ申スマデモナイ、然ラバ是ガ即チ何レモ公益デアルナラバ、其

在ルノデアリマス、併ナガラ此最下ニ在ルノ故ヲ以テ、直ニ鐵道政策ノ是非ヲ判断スルト云フガ如キコトハ、鐵道ノ沿革ヲ知ラザル人ノ言フコトデアリマス、國ノ經濟財政ノ事情ヲ知ラザル人アル、國ノ地位ト云フモノガ如何ナルモノデアルカト云フコトヲ知ラザル者ガ言フコトデアルト思フノデアリマス、殊ニ伊太利ノ例ヲ御引キニナリマシタガ、非常ニ世界ノ知識ニ堪能ナル木下君ト致シマシテ、驚クベキ御引例デアルト思ヒマス、伊太利ニ於ケル鐵道ハ如何ニモ日本ノ今日ヨリ澤山ノ哩數ヲ持ッテ居リマス、今日伊太利ガ數年或ハ十數年ニ於テ非常ナル財政上ノ危急ヲ訴ヘルノハ何ガ故デアルカト云フト、伊太利ノ政府ガ一時非常ナル事業ニ對スル補助政策ヲ執り、特ニ鐵道ニ對シテハ極端ナル補助政策ヲ執リマシタ結果、其私設鐵道ガ濫設セラレテ、ソレニ苦シニ一時ハ國家ノ財政状態が非常ニ紊亂シタ、是ハ主トシテ鐵道ニ在ルト云フコトハ何人モ承知シテ居ルノデアリマス、吾々ハ如何ニ鐵道ガ必要ナリト雖モ、今日伊太利ノ眞似ヲシテ、以テ今日ノ日本ノ財界ヲ素スト云フコトハ、斷ジテ忍ブベキ事デナイト云フコトヲ極言致シマス、若シ私ノ言葉ガ誤テ居リマスナラバ、次ノ壇上ニ立タル御方ガ正シク私ノ言論ヲ駁シテ下サルコトヲ御願致シテ置キマス、殊ニ現内閣ノ執リマシタ所ノ此大正十四年度ニ現レマシタ豫算、並ニ其以後ニ於キマスル所ノ繼續計畫ニ對シマシテ、建設費ノ甚ダ少ナキ既定計畫ヲ變革セラレタコトヲ痛論サレマシタケレドモ、私共ハ皆サンノ御諒解ヲ得タイト思フノデアリマス、國家ノ經濟財政ノ状態ニ於キマシテハ、特ニ必要ナル所ノ國防計畫ヲスラ變更シナケレバナラス場合ガアルノデアリマス、國防計畫スラ之ヲ變更シナケレバナラス、直接人命ニ危害ヲ及ボス所ノ治水ノ問題ニ對シ

テモ之ヲ變更シナケレバナラスコトカアル、水道ノ問題デモ同様デアリマス、道路港灣ニ於テ之ヲ改メナケレバナラス事情ガアリマス、現ニ日本ノ今日ハ其事情ニ迫ラレテ居ル時デアリマス、此直接生命財產ニ關係アル治水事業、國家ノ存立ニ大ナル影響ヲ及ボスガ如キ國防計畫、ソレ等ニ對シテモ相當ナル考慮ヲ拂ハナケレバナラス時ニ、此鐵道計畫ニ對シテハ二十餘年ニ瓦リマスル間デ僅ニ二年、五六千万圓ノ中デ僅ニ千万圓、二千万圓ノ金額ヲ減ジタガ爲ニ、ソレニ依テ所謂根本ガ破壊サレルト云フコトハ餘リ早計ナル議論ト思ハザルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ此問題ニ對シテハ僅ニ二年ノ堅縮デアリマス、僅ニ二年ノ繰延デアリマス、斯ノ如キ問題ニ對シテハ、私ハ根本ノ計畫ヲ誤ルト云フガ如キコトハ断ジテ承認出來ナイ、是ダケノ事柄ニ於テ御了知ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、更ニ今日ノ日本帝國ノ鐵道ノ改良ノ計畫ガ如何様ニナッテ居ルカト云フコトヲ、暫ク諸君ニ聽取テ願ヒタイト思フノデアリマス、今日鐵道ヲ論議スル者ハ、建設ヲ論ズル時同時ニ改良ヲ論ズルガ當然デアラウト思フノデアリマス、改良計畫ヲ論ジテ建設ヲ論ゼザル者ハナイ、建設ヲ論ジテ改良ヲ論ゼザル者ハ、建設ヲ論ズルコトハ断ジテ爲シ得タト云フコトハ出來ナイノデアリマス、私ハ是ヨリ暫ク改良事業ニ付テ申述ベタカラ、僅ニ一、二ノ例ヲ擧ゲ申上ダタイ、今日ノ改良計畫ニ對シマシテハ、根本ヨリ之ヲ改メナケレバナラス必要ニ差迫テ居ルト私ハ考ヘテ居リマス、寧口此點ニ於テ私ハ現内閣ノ爲サル所ガ、改良ニ對シテ爲ス力足ラザル所ガ大ニアルト云フコトヲ憾キニ致シマシテ、明治四十一年カラ大正二年ニ至リマスマデノ間ニ出テ來マシタル

帝國ノ旅客及貨物ニ對シマスル數字ヲ基礎トシテ、鐵道省當局者ガ調上ダラレタル所ノ豫想表ハ如何ニナッテ居ルカト申シマスレバ、此表ハ速記ニ載スコトヲ御許シヨ願シテ、一、二申上ダタイト思フ、其鐵道省ノ調査ニ依リマシテ、明治四十一年ヨリ大正二年ニ至リマスマデノ實際數ヲ基礎トシテ將來影響ヲ及ボスガ如キ國防計畫、ソレ等ニ對シテモ相當ナル考慮ヲ拂ハナケレバナラス時ニ、此鐵道計畫ニ對シテハ二十餘年ニ瓦リマスル間デ僅ニ二年、五六千万圓ノ中デ僅ニ千万圓、二千万圓ノ金額ヲ減ジタガ爲ニ、ソレニ依テ所謂根本ガ破壊サレルト云フコトハ餘リ早計ナル議論ト思ハザルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ此問題ニ對シテハ僅ニ二年ノ堅縮デアリマス、僅ニ二年ノ繰延デアリマス、斯ノ如キ問題ニ對シテハ、私ハ根本ノ計畫ヲ誤ルト云フガ如キコトハ断ジテ承認出來ナイ、是ダケノ事柄ニ於テ御了知ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、更ニ今日ノ日本帝國ノ鐵道ノ改良ノ計畫ガ如何様ニナッテ居ルカト云フコトヲ、暫ク諸君ニ聽取テ願ヒタイト思フノデアリマス、今日鐵道ヲ論議スル者ハ、建設ヲ論ズル時同時ニ改良ヲ論ズルガ當然デアラウト思フノデアリマス、改良計畫ヲ論ジテ建設ヲ論ゼザル者ハナイ、建設ヲ論ジテ改良ヲ論ゼザル者ハ、建設ヲ論ズルコトハ断ジテ爲シ得タト云フコトハ出來ナイノデアリマス、私ハ是ヨリ暫ク改良事業ニ付テ申述ベタカラ、僅ニ一、二ノ例ヲ擧ゲ申上ダタイ、今日ノ改良計畫ニ對シマシテハ、根本ヨリ之ヲ改メナケレバナラス必要ニ差迫テ居ルト私ハ考ヘテ居リマス、寧口此點ニ於テ私ハ現内閣ノ爲サル所ガ、改良ニ對シテ爲ス力足ラザル所ガ大ニアルト云フコトヲ憾キニ致シマシテ、明治四十一年カラ大正二年ニ至リマスマデノ間ニ出テ來マシタル

トシテ居ルノデアリマス、貨物ニ於キマシテモ同様デアリマス、此數ハ申上ダマセヌガ、貨物ニ於キマシテモ殆ド大正十一年ノ末ニ於テ、元田サンガ當時御計算ニナリマシタ大正三十二年ニ三百七十四万七千噸ニ達スルデアラウト御想像ナサタコトハ、既ニ大正十一年ノ暮ニ於テ三百七十一万五千噸ヲ測り出シマシタ數ニ依リマシテ、先ヅ幹線デアリマスル東海鐵道ニ就テ申上ダマスニ至リマスマデノ實際數ヲ基礎トシテ將來影響ヲ及ボスガ如キ國防計畫、ソレ等ニ對シテモ相當ナル考慮ヲ拂ハナケレバナラス時ニ、此鐵道計畫ニ對シテハ二十餘年ニ瓦リマスル間デ僅ニ二年、五六千万圓ノ中デ僅ニ千万圓、二千万圓ノ金額ヲ減ジタガ爲ニ、ソレニ依テ所謂根本ガ破壊サレルト云フコトハ餘リ早計ナル議論ト思ハザルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ此問題ニ對シテハ僅ニ二年ノ堅縮デアリマス、僅ニ二年ノ繰延デアリマス、斯ノ如キ問題ニ對シテハ、私ハ根本ノ計畫ヲ誤ルト云フガ如キコトハ断ジテ承認出來ナイ、是ダケノ事柄ニ於テ御了知ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、更ニ今日ノ日本帝國ノ鐵道ノ改良ノ計畫ガ如何様ニナッテ居ルカト云フコトヲ、暫ク諸君ニ聽取テ願ヒタイト思フノデアリマス、今日鐵道ヲ論議スル者ハ、建設ヲ論ズル時同時ニ改良ヲ論ズルガ當然デアラウト思フノデアリマス、改良計畫ヲ論ジテ建設ヲ論ゼザル者ハナイ、建設ヲ論ジテ改良ヲ論ゼザル者ハ、建設ヲ論ズルコトハ断ジテ爲シ得タト云フコトハ出來ナイノデアリマス、私ハ是ヨリ暫ク改良事業ニ付テ申述ベタカラ、僅ニ一、二ノ例ヲ擧ゲ申上ダタイ、今日ノ改良計畫ニ對シマシテハ、根本ヨリ之ヲ改メナケレバナラス必要ニ差迫テ居ルト私ハ考ヘテ居リマス、寧口此點ニ於テ私ハ現内閣ノ爲サル所ガ、改良ニ對シテ爲ス力足ラザル所ガ大ニアルト云フコトヲ憾キニ致シマシテ、明治四十一年カラ大正二年ニ至リマスマデノ間ニ出テ來マシタル

金額ニ依テ仰シヤルカ知リマセヌガ、從來トモ改良費ガ建設費ヨリ多イコトハ、是ハ永年爲シ來タ事柄デアツテ、今日ノ内閣ガ單リ建設費ヲ少クシテ、改良費ヲ多クシタト云フコトハ断ジテ無イノデアリマス、斯様ナ所ノ事柄ナモアル、斯ノ如キ貨物ガアルモノヲ棄テ、置イテ、而シテ尙且ツ諸君ハ支線ヨリドントモ貨物ガ出ルヤウ、ドンノ旅客ガ出ルヤウ、支線ノ培養、支線ノ建設ニ力ヲ盡スコトガ所謂忠實ナル鐵道建設論者デアリマスカ、私ハ聽イテ見タイノデアリマス(拍手)私共ノ考カテ致シマスレバ、此事柄ヲ調和致サナケレバナラヌ、建設ハ勿論必要デアリマスケレドモ——建設ハ不必要トハ申シマセヌ、建設モ必要デアリマスケレドモ、當面ニ差迫テ居ル問題ヲ如何ニシテ解決スルカト云フコトノ是ガ吾々ハ非常ニ必要ナ事デアル、殊ニ今日行詰テ居ル所ノ此狀態ヲ打開シマスノニハ如何ニ致スカト云ヒマスナラバ、之ヲ致シマスコトハ言フマデモナク此中央都市附近ニ於キマスル郊外、之ヲ電化ニ依リマシテ、電車ノ運轉ニ俟タナケレバ此目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、此郊外ノ運轉ニ對シテ火力ヲ用キ、機關車ヲ以テ致シマシテハ斷ジテ此附近郊外ノ輸送ハ出來ルモノデハナイノデアリマス、必ス之ヲ致サナケレバナラヌ、更ニ遠距離ニ致シマスレバ、車輛ノ増發ヲシナケレバナリマスマイ、更ニ強力ナル機關車ヲ用キナケレバナリマスマイ、此客車ヲ増發致シ、而シテ強力ナル機關車ヲ用キマスナラバ、之ニ伴フ停車場ヲ改良セザレバ、此増設サレタル客車、此重キ機關車ハ如何トモスルコトガ出来ナイカラ、之ニ依テ停車場ノ改築ノ必要ガ當然起テ來ルノデアリマス、此擴張ガ起リマス同様ナ意味ニ於テ、橋梁ノ改築ヲ行ハナケレバナリマセヌ、同様ナ意味ニ於テ隧道ノ改築ヲ行ハナケレバナリマセヌ、更ニ之ニ依リマシテ複線、複々線ノ設備ヲ

シナケレバナリマセヌ、而モ亦人命ヲ顧慮スル上ニ於キマシテ、或ハ自動連結機ノ如キモノモ必要ト致スコトガゴザイマセウ、斯ノ如キ事ヲ致スニ當リマシテ最モ多山陽線ニモアル、斯ノ如キ旅客アリ、斯ノ如キ貨物ガアルモノヲ棄テ、置イテ、而シテ専且ツ諸君ハ支線ヨリドントモ貨物ガ出ルヤウ、ドンノ旅客ガ出ルヤウ、支線ノ培養、支線ノ建設ニ力ヲ盡スコトガ所謂忠實ナル鐵道建設論者デアリマスカ、私ハ聽イテ見タイノデアリマス(拍手)私共ノ考カテ致シマスレバ、此事柄ヲ調和致サナケレバナラヌ、建設ハ勿論必要デアリマスケレドモ——建設ハ不必要トハ申シマセヌ、建設モ必要デアリマスケレドモ、當面ニ差迫テ居ル問題ヲ如何ニシテ解決スルカト云フコトノ是ガ吾々ハ非常ニ必要ナ事デアル、殊ニ今日行詰テ居ル所ノ此狀態ヲ打開シマスノニハ如何ニ致スカト云ヒマスナラバ、之ヲ致シマスコトハ言フマデモナク此中央都市附近ニ於キマスル郊外、之ヲ電化ニ依リマシテ、電車ノ運轉ニ俟タナケレバ此目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、此郊外ノ運轉ニ對シテ火力ヲ用キ、機關車ヲ以テ致シマシテハ斷ジテ此附近郊外ノ輸送ハ出來ルモノデハナイノデアリマス、必ス之ヲ致サナケレバナラヌ、更ニ遠距離ニ致シマスレバ、車輛ノ増發ヲシナケレバナリマスマイ、更ニ強力ナル機關車ヲ用キナケレバナリマスマイ、此客車ヲ増發致シ、而シテ強力ナル機關車ヲ用キマスナラバ、之ニ伴フ停車場ヲ改良セザレバ、此擴張ガ起リマス同様ナ意味ニ於テ、橋梁ノ改築ヲ行ハナケレバナリマセヌ、同様ナ意味ニ於テ隧道ノ改築ヲ行ハナケレバナリマセヌ、更ニ之ニ依リマシテ複線、複々線ノ設備ヲ

シナケレバナリマセヌ、而モ亦人命ヲ顧慮スル上ニ於キマシテ、或ハ自動連結機ノ如キモノモ必要ト致スコトガゴザイマセウ、斯ノ如キ事ヲ致スニ當リマシテ最モ多山陽線ニモアル、斯ノ如キ旅客アリ、斯ノ如キ貨物ガアルモノヲ棄テ、置イテ、而シテ専且ツ諸君ハ支線ヨリドントモ貨物ガ出ルヤウ、ドンノ旅客ガ出ルヤウ、支線ノ培養、支線ノ建設ニ力ヲ盡スコトガ所謂忠實ナル鐵道建設論者デアリマスカ、私ハ聽イテ見タイノデアリマス(拍手)私共ノ考カテ致シマスレバ、此事柄ヲ調和致サナケレバナラヌ、建設ハ勿論必要デアリマスケレドモ——建設ハ不必要トハ申シマセヌ、建設モ必要デアリマスケレドモ、當面ニ差迫テ居ル問題ヲ如何ニシテ解決スルカト云フコトノ是ガ吾々ハ非常ニ必要ナ事デアル、殊ニ今日行詰テ居ル所ノ此狀態ヲ打開シマスノニハ如何ニ致スカト云ヒマスナラバ、之ヲ致シマスコトハ言フマデモナク此中央都市附近ニ於キマスル郊外、之ヲ電化ニ依リマシテ、電車ノ運轉ニ俟タナケレバ此目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、此郊外ノ運轉ニ對シテ火力ヲ用キ、機關車ヲ以テ致シマシテハ斷ジテ此附近郊外ノ輸送ハ出來ルモノデハナイノデアリマス、必ス之ヲ致サナケレバナラヌ、更ニ遠距離ニ致シマスレバ、車輛ノ増發ヲシナケレバナリマスマイ、更ニ強力ナル機關車ヲ用キナケレバナリマスマイ、此客車ヲ増發致シ、而シテ強力ナル機關車ヲ用キマスナラバ、之ニ伴フ停車場ヲ改良セザレバ、此擴張ガ起リマス同様ナ意味ニ於テ、橋梁ノ改築ヲ行ハナケレバナリマセヌ、同様ナ意味ニ於テ隧道ノ改築ヲ行ハナケレバナリマセヌ、更ニ之ニ依リマシテ複線、複々線ノ設備ヲ

シナケレバナリマセヌ、而モ亦人命ヲ顧慮スル上ニ於キマシテ、或ハ自動連結機ノ如キモノモ必要ト致スコトガゴザイマセウ、斯ノ如キ事ヲ致スニ當リマシテ最モ多山陽線ニモアル、斯ノ如キ旅客アリ、斯ノ如キ貨物ガアルモノヲ棄テ、置イテ、而シテ専且ツ諸君ハ支線ヨリドントモ貨物ガ出ルヤウ、ドンノ旅客ガ出ルヤウ、支線ノ培養、支線ノ建設ニ力ヲ盡スコトガ所謂忠實ナル鐵道建設論者デアリマスカ、私ハ聽イテ見タイノデアリマス(拍手)私共ノ考カテ致シマスレバ、此事柄ヲ調和致サナケレバナラヌ、建設ハ勿論必要デアリマスケレドモ——建設ハ不必要トハ申シマセヌ、建設モ必要デアリマスケレドモ、當面ニ差迫テ居ル問題ヲ如何ニシテ解決スルカト云フコトノ是ガ吾々ハ非常ニ必要ナ事デアル、殊ニ今日行詰テ居ル所ノ此狀態ヲ打開シマスノニハ如何ニ致スカト云ヒマスナラバ、之ヲ致シマスコトハ言フマデモナク此中央都市附近ニ於キマスル郊外、之ヲ電化ニ依リマシテ、電車ノ運轉ニ俟タナケレバ此目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、此郊外ノ運轉ニ對シテ火力ヲ用キ、機關車ヲ以テ致シマシテハ斷ジテ此附近郊外ノ輸送ハ出來ルモノデハナイノデアリマス、必ス之ヲ致サナケレバナラヌ、更ニ遠距離ニ致シマスレバ、車輛ノ増發ヲシナケレバナリマスマイ、更ニ強力ナル機關車ヲ用キナケレバナリマスマイ、此客車ヲ増發致シ、而シテ強力ナル機關車ヲ用キマスナラバ、之ニ伴フ停車場ヲ改良セザレバ、此擴張ガ起リマス同様ナ意味ニ於テ、橋梁ノ改築ヲ行ハナケレバナリマセヌ、同様ナ意味ニ於テ隧道ノ改築ヲ行ハナケレバナリマセヌ、更ニ之ニ依リマシテ複線、複々線ノ設備ヲ

シナケレバナリマセヌ、而モ亦人命ヲ顧慮スル上ニ於キマシテ、或ハ自動連結機ノ如キモノモ必要ト致スコトガゴザイマセウ、斯ノ如キ事ヲ致スニ當リマシテ最モ多山陽線ニモアル、斯ノ如キ旅客アリ、斯ノ如キ貨物ガアルモノヲ棄テ、置イテ、而シテ専且ツ諸君ハ支線ヨリドントモ貨物ガ出ルヤウ、ドンノ旅客ガ出ルヤウ、支線ノ培養、支線ノ建設ニ力ヲ盡スコトガ所謂忠實ナル鐵道建設論者デアリマスカ、私ハ聽イテ見タイノデアリマス(拍手)私共ノ考カテ致シマスレバ、此事柄ヲ調和致サナケレバナラヌ、建設ハ勿論必要デアリマスケレドモ——建設ハ不必要トハ申シマセヌ、建設モ必要デアリマスケレドモ、當面ニ差迫テ居ル問題ヲ如何ニシテ解決スルカト云フコトノ是ガ吾々ハ非常ニ必要ナ事デアル、殊ニ今日行詰テ居ル所ノ此狀態ヲ打開シマスノニハ如何ニ致スカト云ヒマスナラバ、之ヲ致シマスコトハ言フマデモナク此中央都市附近ニ於キマスル郊外、之ヲ電化ニ依リマシテ、電車ノ運轉ニ俟タナケレバ此目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、此郊外ノ運轉ニ對シテ火力ヲ用キ、機關車ヲ以テ致シマシテハ斷ジテ此附近郊外ノ輸送ハ出來ルモノデハナイノデアリマス、必ス之ヲ致サナケレバナラヌ、更ニ遠距離ニ致シマスレバ、車輛ノ増發ヲシナケレバナリマスマイ、更ニ強力ナル機關車ヲ用キナケレバナリマスマイ、此客車ヲ増發致シ、而シテ強力ナル機關車ヲ用キマスナラバ、之ニ伴フ停車場ヲ改良セザレバ、此擴張ガ起リマス同様ナ意味ニ於テ、橋梁ノ改築ヲ行ハナケレバナリマセヌ、同様ナ意味ニ於テ隧道ノ改築ヲ行ハナケレバナリマセヌ、更ニ之ニ依リマシテ複線、複々線ノ設備ヲ

(四十二年度以降) 每年度建設改良費累年表

年 度	建 設 費		改 良	
	金 額	合計ニ對スル割合	金 額	
1 (決算)	28,233,136	.48	31,017,764	セヌカ(拍手)私共ヨリ申シマスルナラバ、
2 (〃)	18,686,240	.45	22,591,407	寧口斯ノ如キ問題ハ、斯ノ如キ事ヨリ考へテ見マスレバ、此最モ改良ニ——突破的ニ
3 (〃)	16,301,374	.42	22,230,486	所謂根本ヨリ立直サナケレバナラヌ程ナ大
4 (〃)	9,601,214	.32	20,073,151	ナル改良費ヲ要スル今日ニ於テ、寧口現内閣ノ執ツテ居リマスル改良ハ姑息ニ過ギル
5 (〃)	9,048,518	.30	21,578,873	ト吾々ハ言ヒタイ位デアツテ、諸君ハ現内閣ヲ責メルヨリモ、諸君ハ現内閣ノ鐵道政策ニ全然一致シテ居ラレル者デアルト云フコトヲ明ニ證據立テ居ルト思ヒマス、殊ニ私ヨリ申上ダル譯ノモノデハアリマセヌガ、
6 (〃)	12,370,128	.31	27,617,614	信濃川ノ水力電氣ノ問題ニ付テハ能ク政友本黨元田サンガ御承知ノ通リデアリマス、
7 (〃)	16,924,542	.24	54,820,951	大正十三年マニニ於テ二千七百万圓ノ金ガ使ハレテナケレバナラヌ筈ノ豫算ガ、僅ニ四百万圓足ラズノ金ヲ使ツタ限リデアリマ
8 (〃)	35,335,025	.25	104,230,859	ス、後ノ金ハ何處ニ行シテ居リマスカ、誰ガ左様ナ事ヲ致シタノデアリマスカ、斯ノ
9 (〃)	59,027,245	.35	108,167,265	如キ事ヲ仙石鐵道大臣ガ致シマシタカ、諸君ハ自ラ自分ノ胸ニ手ヲ置イテ、而シテ能
10 (〃)	58,297,204	.32	124,831,153	ク之ヲ御考ナサルが宜シイ、而モ鐵道大臣ハ此仕事ハシナイト云フノデハナイ、大ニ
11 (〃)	68,044,798	.33	138,512,731	考慮ヲ致シテ——考慮ヲ致シテ以テ、大正十六年ヨリ更ニ此計畫ヲ立テルト云フコト
12 (〃)	64,496,320	.35	121,013,037	ヲ明言致シテ居ル以上ハ、之ヲ責メラレル
13 (豫算)	58,239,057	.37	134,948,189	諸君ハ、私ハ不可解千萬デアルト云フコト
14 (〃)	46,000,000	.27	147,893,000	致シテ降壇スルノデアリマス(拍手)
15 (〃)	46,000,000	.22	160,406,000	フコトノ此現内閣ニ對スル非難ハ、何等取
16 (〃)	46,000,000	.21	170,526,000	ルニ足ラザル議論デアルコトヲ茲ニ宣言ヲ

東海道幹線營業一哩平均通過人員

年 度	圖 表 記 載 實 績	大正十三年 十二月精 算	大正五年調 自明治二十三年度至 大正二年度最小自乘法	大正九年調 自明治四十一年度至 大正五年度最小自乘法	大正十三年 大正三年 自大正十一年度 度至 度最小自乘法
			哩	哩	哩
元					
2	2,576,000				
3	2,463,000				
4	2,452,000				
5	2,793,000				
6	3,007,000				
7	3,856,000				
8	4,522,000				
9	4,903,000	5,507,000	2,880,000		
10	5,882,000	5,928,000	2,960,000	4,190,000	
11	6,341,000	6,359,000	3,120,000	4,282,000	
12		7,077,000	3,200,000	4,632,000	7,729,000
13		7,551,000	3,280,000	4,467,000	8,348,000
14			3,360,000	4,652,000	8,966,000
15			3,440,000	4,744,000	9,585,000
16			3,520,000	4,837,000	10,204,000
17			3,600,000	4,929,000	10,823,000
18			3,680,000	5,022,000	11,442,000
19			3,759,000		
20			3,839,000	5,114,000	
21			3,919,000	5,206,000	
22			3,999,000	5,293,000	
23			4,079,000	5,391,000	
24			4,159,000	5,483,000	
25			4,239,000	5,576,000	
26			4,319,000	5,668,000	
27			4,399,000	5,761,000	
28			4,479,000	5,853,000	
29			4,559,000	5,945,000	
30			4,639,000	6,038,000	
31			4,719,000	6,131,000	
32			4,799,000	6,224,000	
			4,879,000	6,316,000	

東海道幹線營業一哩平均通過屯數

年 度	圖 表 記 載 實	大 正 三 年 度 績 十 二 月 精 算	大 正 五 年 調 自明治二十九年度至大 正二年度最小自乘法	大 正 九 年 調 自明治四十年度至大 正五年度最小自乘法	大 正 十三 年 度 調 至 大 正 十 年 度 自 大 正 十 一年 度 最 小 自 乘 法	
元		哩 1,508,000 1,617,000 1,520,000 1,774,000 2,400,000 3,054,000 3,524,000 3,650,000 3,303,000 3,365,000	哩 3,996,000 3,478,000 3,432,000 3,715,000 3,365,000	哩 2,296,000 2,379,000 2,461,000 2,544,000 2,626,000 2,709,000 2,792,000 2,874,000 2,957,000 3,040,000 3,122,000 3,205,000 3,288,000 3,370,000 3,453,000 3,536,000 3,618,000 3,701,000 3,784,000 3,866,000 3,949,000	哩 2,561,000 2,630,000 2,770,000 2,840,000 2,910,000 2,979,000 3,049,000 3,119,000 3,189,000 3,259,000 3,328,000 3,398,000 3,468,000 3,538,000 3,608,000 3,677,000 3,747,000	哩 4,392,000 4,673,000 4,954,000 5,235,000 5,516,000 5,797,000 6,078,000
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						

○議長(柏谷義三君) 定刻ニ近シキマシタ
カラ時間ヲ延長致シマス——大石大君
〔大石大君登壇〕
○大石大君 諸君、私ハ只今議題ニナッテ居
リマスル決議案ニ對シ、贊成ノ意思ヲ表明
スル者デアリマス、只今山道君ハ冒頭ニ於
キマシテ本下君ハ其計畫ヲ明ニシナイト云
(拍手)出來ナイノダラウ「ト呼フ者アリ)又
憲政會ノ諸君ハ、從來鐵道速成三關シマシテ
屢々本議會ニ建議案ヲ提出セラレタノアリ
マス、然ルニモ拘ラズ今日此決議案ニ反対
スルト云フノハ、其政治的良心ヲ疑ハザル
ヲ得ナイノデアリマス(拍手)更ニ伊太利ノ
現狀ガ鐵道ノ爲ニ政局ガ頗ル困難ニナッタ
ト申サレマシタ、是ハ全ク伊太利ノ政局ヲ
理解セザル所ノ暴論デアリマス、更ニ歷代
ノ内閣ガ改良ヲ怠リ、ソレガ爲ニ或ハ運輸
能力ノ増進ヲ阻害シ、或ハ線路ノ危險ヲ來
シタト論ズル傍ラ、歷代ノ内閣ニ於テ建設
費ヨリモ改良費ニ數倍倹省テ居ルト云フコ
トヲ、此所ニ表ヲ舉ゲテ説明セラレタノアリ
マス、其矛盾撞着殆ド駁撃スル程ノ價
値ガ無イノデアリマス、更ニ地方ノ生産物
ハ之ヲ地方ニ依テ消化セズ、之ヲ都會ニ
輸送スルト云フコトヲ申サレマシタガ、此
御議論ハ、即チ決議案ニ贊成スル所ノ議論
ノ名ノ下ニ、鐵道財源ニ對シマシテ公債資
本アリマス、殆ド山道君ノ御議論ニ對シテ
ハ、私ハ是レ以上駁撃スル所ノ價値ヲ認メヌ
ノデアリマス、諸君、政府ハ行政財政ノ整理
ノ名ノ下ニ、鐵道財源ニ對シマシテ公債資
源ヲ縮小シ、鐵道益金ノ收入ヲ過大ニ見積
リマシテ、其資源ヲ多ク鐵道ノ益金ニ求メ
タノデアリマス、而シテ其財源ヲ改良並ニ
建設ニ割當テルニ際シ、從來ノ既定計畫ヲ
無視シ、曩ニ吾々ガ此議會ニ於テ協賛ヲ與
ヘマシタ所ノ精神ニ反シ、建設工事ノ施

行、或ハ其完成年度ニ變改ヲ加へ此計畫
ノ根本ニツノ變改ヲ加ヘタノデアリマ
ス、而シテ今後三年間ニ於ケル所ノ改良費
ヲ次第ニ增額シ、後年度ニ於ケル改良費溢
費ノ禍源ヲ減シテ居ルノデアリマス、其鐵
道ノ經營、其鐵道ノ政策ハ少シモ國民經濟
ヲ基調トセズ、全ク鐵道專門技術家ノ專恣
放縱ニ用キルノ憂ヲ見ルモノデアリマス、
吾々ハ此憂ヲ除キ眞ニ國利民福ヲ全國セン
トルスルガ爲ニ、加藤友三郎内閣ニ依テ計畫
セラレタコトヲ根據トシ、更ニ清浦内閣ニ
依テ改訂セラレタ所ノ此計畫遂行ヲ求ム
モノデアリマス、遂行ノ要望ニ對シマシ
トスルガ爲ニ、加藤友三郎内閣ニ依テ計畫
セラレタコトヲ根據トシ、更ニ清浦内閣ニ
依テ改訂セラレタ所ノ此計畫遂行ヲ求ム
モノデアリマス、殊ニ政友會ノ諸君ハ
ナイコトデアリマス、殊ニ政友會ノ諸君ハ
鐵道建設ニ急ナルコトヲ強ク主張致セラ
マシテ、濱口藏相ヲシテ千三百万圓ノ無イ袖
ヲ振ラシメタコトハ、吾々大ニ之ヲ多トシ
テ居ル者デアリマス、サリナガラ一足ト云
フ所ニ於テ他派トノ協調ニ急ニシテ、四千
六百方圓ニ御満足ニナッタコトハ、從來ノ
御主張ニ對シ沟ニ遺憾トスル者デアリマ
ス、山道君ハ改良ノ極メテ急ナルコトヲ語
ラレタノデアリマス、私ハ此内閣ノ提出セ
ラレマシタ所ノ豫算ノ内容ヲ伺ヒマシテ、
非常ニ其豫算面ニ於キマシテ建設ヲ輕ンジ、
改良ニ重キヲ置イテ居ルト云フコトヲ數字
ヲ以テ申上げタイノデアリマス、今試ニ大
正十四年度ヨリ十六年度ニ至リマス所ノ三
年間ニ於ケル清浦内閣ノ建設豫定額ト、現
内閣ノ建設豫定額トヲ比較シテ見マスルナ
ラバ、現内閣ハ清浦内閣ヨリ其建設費ニ於
テ七千四百万圓ヲ減ジテ居リマス(「減ジタ
ガドウシタ」ト呼フ者アリ)
○議長(柏谷義三君) 生方君ニ注意シマス
ト反比例致シマシテ、五千六百万圓ヲ增加致
シテ居リマスモノヲ、公平ニ之ヲ建設費ニ
割當テマスルナラバ、既定計畫ハ容易ニ出

ノ利益ハ即チ鐵道省ニフレダケノ損害トナ
ルノデアリマス、更ニ此信濃川水力ノ上流
ニ於キマシテ、信越電氣ガ六万「キロ」餘ノ
權利ヲ持テ居ルノデアリマス、而シテ此
信越電氣ト云フモノハ東京電燈會社ガ大半
ノ株ヲ有シテ居ルノデアリマス、此信越電
氣會社ノ取入レ口ト——放水口ト鐵道省
取入レ口トガ頗ル利害ガ錯綜致シマシテ、
從來紛糾ヲ來シテ居ルノデアリマス、是迄
色ニノ協調妥協ヲ圖ラレタコトデアリマス
ケレドモガ、今尙ホ是ガ總テ居ラナイ、
今鐵道省ガ此工事ヲ繰延ト致スナラバ——
工事ヲセヌト致シマスナラバ、信越電氣ハ
得タリ賢シト工事ヲ進メマシテ、遂ニハ鐵
道省ノ水利權ガ信越電氣ニ其活潑ヲ自由ニ
セラル、ト云フ結果ヲ見ヤシナイカト云フ
コトヲ一般ニ憂ヘテ居ルノデアリマス、私
ハ此關係ヨリ致シマシテ、今此水力電氣ノ
工事ヲ繰延ベタナラバ、必ズヤ鐵道省ハ此
水利權ヲ失ウカ、然ラザレバ遂ニ權利ヲ讓
渡スルノ外ハナイ窮境ニ立至ルモノト信ズ
ルノデアリマス、線路ノ危險ト云ヒ、運輸
能力ノ増進ト云フ名ノ下ニ澤山ノ改良費ヲ
要求致シマシテ、而シテ建設ヲ閑却シ、其
間ニ依テ得ル所ノ豫算ノ大半ハ、此電氣事
業ニ多ク投ズルノデアリマス、此東京近傍
ノ電化事業ニ使フノデアリマス、是ニ於
テ——私共ハ決シテ信ゼヌノデアリマス、
併ナガラ世ノ中ニハ此東京電燈會社ノ多ク
ノ株ヲ三菱ガ有シテ居ルト云フコトデアリ
マス、斯ル關係ヨリ致シマシテ、世ノ中ノ
人ハ、或ハ此間ニ一ツノ政治的罪惡ガ潛
ハシナイカト云フコトヲ疑テ居ルノデア
リマス、加藤内閣ハ綱紀肅正ヲ專責ト致シ
テ居ル所デアリマシテ、鐵相ハ吾々同郷ノ
先輩デアリマス、此改良費ヲ據向ケ
ル、而シテ建設ノ既定計畫ヲ進メマスナラ
バ、國家國民ノ利益ハ申スマデモナイコト
デアリマス、若シ政府ガ義務教育費ノ國庫

負擔増額ト共ニ天下六千万ノ國民ガ熱望致
シテ居リマス所ノ、此鐵道建設ノ既定計畫
ニ此改良費ノ資金ヲ振向ケラレルナラバ、
一面ニ於テ電氣事業ノ問題ニ對シマスル世
ノ中ノ誤解モ解ケ、綱紀内閣ヲ專賣トセラ
レマス所ノ加藤内閣ノ爲ニモ名譽ト信ズル
ノデアリマス、ドウカ此意味ニ於キマシテ
政府ハ五千六百万圓ノ改良費ヲ削シテ、而
シテ之ヲ建設費ニ廻シ建設ニ對シマス所
ノ既定計畫ヲ進メラレンコトヲ希望致シマ
ス、而シテ從來ノ主張ニ鑑ミ、此決議案ニ
賛成セラレシコトヲ希望致シマス(拍手)
○副議長(小泉又次郎君) 前田米藏君

(前田米藏君登壇)

○前田米藏君 諸君、私ハ只今議題ニナッ
テ居リマス決議案ニ對シマシテハ、反対ヲ
致ス者デアリマス、反対ノ理由ハ山道君ガ
既ニ詳細ニ論セラレマシタガ故ニ、私ハ吾々
ノ立場ヲ茲ニ明ニ致シタイト思フノデアリ
マス、固ヨリ吾々ハ多年鐵道建設ヲ主張シ、
新線ノ敷設ハ文化ノ普及ノ爲ニモ、地方開
發ノ爲ニモ必要ナル事ヲ主張シ來タノデ
アリマス、又只今モ尙ホ左様ニ信ジツ、ア
ルノデアリマス、併ナガラ諸君、昨年ノ秋
豫算闇議ノ開カル、頃ニ相成リマシテ、鐵
道省案ナリトシテ、建設費ハ三千三百万圓
デアリ、新線ハ打切ルノデアル、十四年度
ニ於テハ一本ノ新線モヤラナイノデアルト
云フコトガ世間ニ傳ハリマシタ、而シテ又
ソレガ信ズベキ所ノ風説ナルコトヲ吾々ハ
信ジタノデアリマス、是ニ於テ我黨ニ於キ
マシテハ、幹部モ有志代議士モ奮起シテ、
吾々多年ノ主張ニ努メタノデアリマス
ス、即チ改良ノ必要ナルコト固ヨリ論ヲ俟
テタル所デアリマシテ、鐵相ハ吾々同郷ノ
聯合内閣ヲ支持スル一人デアリマス、自
分ノ主張ガ或ル程度マデ通リマシタナラ
バ、多少ノ我慢ヲスルト云フコトハ已ムヲ
得ザルコトデアル、主張ノ全部ガ通ラナケ
レバ我慢ガ出來ナイト云フコトデハ、初メ
ヨリ聯合内閣ハ出來ナインデアル、即チ吾
モノデアルト吾々ハ信ジテ居ルノデアリマ
ス、是ニ於テカ吾々ハ吾々ハ主張ヲ貫徹セ
ンガ爲ニ、憲政會及革新ノ幹部ニ諒トシテ、多少ノ
我慢ヲスルト云フコトハ蓋シ國家ニ盡ス所
メ、政府ニ交渉スルコトニ相成シタノデア
リマス、政府ニ交渉致スコト約一箇月、日
夜交渉ニ交渉ヲ重不タコトハ諸君モ御承知
ノ通リデアリマス、其結果ハドウデアルカ、
三千三百万圓ハ四千六百万圓トナリ、又主
義ニ於テ新線ヲ造ルト云フコトハ絶対ニ無
イケレドモ、新線敷設ハヤルト云フコトニ
相成シタノデアル(拍手)又將來經濟界ノ事
情ニ於テ公債公募ノ時機ガ來タナラバ、公
債ヲ公募シテソレヲ建設費ニ廻スト云フコ
トモ政府ガ言明致シタノデアリマス、其結
果ニ依テ今日ノ議會ニ提出セラレテ居ル
ガ如クニ四千六百万圓ニ増加シタ、斯ノ如
クニシテ新ニ大正十四年度ヨリ十五年ノ新
線ハ計上セラレ、又土工契約ニ依テ土工
ガ完成致シマシテモ鐵道ノ列車ガ動カナイ
所ノモノガ二百哩モアル、其多數ノモノガ
運轉スルト云フコトニ相成シタコトハ、實ニ
友黨諸君ノ諒解ト、閑僚諸君ノ御配慮ガアッ
タコトデアリマスケレドモ、主トシテ——
主トシテ我政友會ノ努力デアルコトハ天
下公知ノ事實デアル(拍手)

(「憲政會ハドウシタ」「默レ」ト呼フ者
アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 静肅ニ願ヒマス
○前田米藏君(續) 諸君靜ニ聽キ給へ、吾
吾ハ聯合内閣ヲ支持スル一人デアリマス、
聯合内閣ヲ支持スル者ト致シマシテハ、自
由ノ存在セナインデアル、又既定計畫ナ
ルモノハ何デアルカト云ヘバ、即チ震災前
ニ立テラレタル計畫ガ即チ規定計畫デア
ル、金額ハ九千万圓デアル、此九千万圓デ
果シテ既定計畫ヲ遂行セヨト云フ諸君ノ論
旨デアルナラバ、諸君ハ震災後ニ於テ山本
内閣ニ於テモ、又諸君ガ分裂ヲ賭シテマデ
支持シタ所ノ清浦内閣ハ、此既定計畫ヲ變
更シテ改訂豫算ヲ出シタノデハナイカ(拍
手)獨リ仙石大臣タラズトモ今日ニ於テ、
即チ震災前ノ九千万圓案ノ既定計畫ヲ遂行
スルト云フコトハ、蓋シ至難ナ事デアルコ
トハ諸君モ御承知ノ通リデアル、諸君ハ其
點ニ於テ既定計畫ト清浦内閣ノ改訂豫算ト
ノ或ハ間違デナカッタコト思フノデアリマ

デ其主張ノ認メラタルヲ諒トシテ、多少ノ
我慢ヲスルト云フコトハ蓋シ國家ニ盡ス所
以デアリマス(拍手)聯合内閣ニ付テ云々ト
内閣ノ本質論ニ至リマシテハ、他日批評ノ時
機ガアリマセウ、私ハ唯、諸君ニ單ニ一言ヲ
呈シテ置キタイ、即チ中央ニ於テモ地方ニ
於テモ、政界ノ中心勢力タリシ此政友會ノ
絶體過半ヲ破シテ、聯立内閣ヲ成立セシメ
ルノ機運ヲ作リシ責任ハ、諸君ノ多大ナル
責ヲ負ハナケレバナラヌノデアル、又諸君
ノ出サレタ所ノ決議案ヲ見マスルト云フ
ト(聲言スル者多シ)

ス、ケレドモ此決議案ニ依テ見マスレバ、明ニ既定計畫ト書イテアリマスガ故ニ、其點ニ於テ諸君ノ主張ノ無理デアルト云フコトヲ一言致シタインデアリマス(拍手)又諸君ガ眞ニ鐵道計畫ニ熱心デアルナラバ、今日諸君が此決議案ヲ出シテ主張セラル、如ク御熱心デアルナラバ、昨年ノ秋、實ニ吾吾ガ日夜辛苦致シタル時ニ於テ、國家ノ爲ニ假令黨ハ違フト雖モ諸君ハ國民ノ輿論ヲ喚起シ、吾々ニ聲援シ、政府ニ迫タナラバ、或ハ今日以上ノ豫算ノ結果ヲ得タカモ知レマセスケレドモ(拍手)其時ハ冷然トシテ冷カニ眺メテ居ッテ、今日此時ニ當テ斯ノ如キ決議案ヲ、出スニ至テハ、諸君ノ眞面目サガ判断セラレヌノデアル、私ハ以上ノ理由ニ依リマシテ、此決議案ニハ多年御愛顧ヲ蒙リ、御同情ヲ得タ友人ノ多イ本黨案デアリマスキレドモ、殘念ナガラ反対ヲ致シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 蔵園三四郎君

(藏園三四郎君登壇)

○藏園三四郎君 私ハ現内閣ノ鐵道繰延ニ反對ヲ致シマシテ、此鐵道既定計畫ノ建議案ニ賛成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス(建議案ヂヤナイト呼フ者アリ)決議案デアリマス、元來鐵道ハ從來執來リマシタ所ノ鐵道交通政策ニ一大變化ヲ來シテ居ルノデアリマス、諸君、從來鐵道政策ハ交通政策デアルト云フコトヲ言來タノデアリマスルガ今日ハ近代ノ鐵道政策ニ至リマシテハ其精神ヲ擴張シマシテ、從來ノ交通政策トハ全ク異タル見地ニ立テ居ルノデアリマス、即チ之ニ依リマシテ或ハ文化ノ向上ヲ圖リ、或ハ地方ノ開發ヲ圖リ、或ハ物資ノ供給、物價ノ調節ヲ圖リ、以テ國運ノ進展ヲ圖ル所ノ最重大ナル性質ヲ有ス、即チ之ニ依リマシテハ其精

ルノデアリマス、政及會ノ原總裁ガ此鐵道問題ノ爲ニハ殆ド心血ヲ搾ラレタルコトハ、吾々ノ今日尙ホ忘レザル所ノモノニアリマス、然ルニ當時憲政會ノ諸君ハ、政友會總裁タル原氏ノ此鐵道政策ヲバ、單ニ黨勢擴張ノ具デアルト説リ、或ハ之ヲ攻擊致シテ來タノデアリマス、詰リ原前總裁ガ東京驛頭ニ鐵血ヲ流シマシタコトハ、畢竟スルニ此鐵道問題ノ貴キ犠牲デアッタト思フノデアリマス(「ノウ」拍手)然ルニ拘ラズ、政友會諸君ハ何ノ都合アッテカ、多年首唱シ來タ所ノ此鐵道問題、而モ自己ノニシテ手ヲ翻スガ如キ反対ヲスルノハ何事デアリマスカ、只今前田君ハ所謂仙石首相ノ計畫セラレタル三千三百万圓仙石鐵相ノ三千三百万圓案ニ非常ナル努力ヲ拂テ一千三百萬圓ヲ増加セシメタノハ、一二政友會ノ努力アルト誇ラレタノデアル、(其通リ)ト呼フ者アリ)然ルニ諸君、或ハソレモアツタデアリマセウ、所ガ諸君ノ最モ努力ヲ拂ハレタ所ノ其一千三百萬圓ハ果シテ何ニ之ヲ使用セラレテ居リマスルカ、諸君ハソレガ爲ニ新線ヲ計上スルコトガ出來タト誇リマスキレドモ、何ゾ計ラン一千三百萬圓ハ僅ニ新線ノ爲ニ二百万圓ヲ使用スルニ過ギナイノテアリマス、其他ハ悉ク漁夫ノ利ヲ占メラレタノデアリマス、諸君、私ハ大木鐵道大臣ノ時ニ此鐵道敷設法ノ精神ニ則リマシテ新線二十八線ヲ選擇致シテ、之ヲ即チ帝國議會ニ提出シテ協贊ヲ經タノデアル、即チ是ガ此鐵道計畫ノ本ヲ爲シテ居ルモノニアリマス、諸君、豫算ハ申スマズマテモナインデアル、而シテ此大動脈タル所ノ鐵道ノ機能ヲ十分ニ發揮セシメ、又

テ國有鐵道ノ生ジタル所以デアリマス、諸君、而シテ此統一計畫ヲ實行致シマスルニハ、ドウシテモ豫メ其鐵道網ヲ構成スル所ノ長計ヲ計畫セナケレバナラヌノデアリマス、是ニ於キマシテ高橋内閣ノ當時、我黨ノ長老タル所ノ元田氏ガ鐵道大臣タル當時ニ於キマシテ、萬難ヲ排シテ鐵道敷設法ナルモノヲ制定致シマシタコトハ、諸君ノ今尙ホ耳目ニ新タル所デアリマス、諸君、而シテ此鐵道敷設法ニ於キマシテ百四十九線ガ即チ我國ノ將來ノ鐵道網ヲ構成スル所ノ根本デアルノデアリマス、而シテ諸君、既ニ鐵道ガ國有鐵道トナリサウシテ茲ニ鐵道網ヲ構成スル所ノ敷設法ガ設定サレマシタ以上ハ、鐵道ハ即チ國家ノ獨占ニ歸スルノデアル——國家ノ獨占デアリマス、何人毛之ニ指スコトガ出來ナイ獨占的事業ト相成タノデアリマス、諸君、私ハ是ニ於テ言ハントスルノデアリマス、此獨占的事業ト云フモノハ、他ノ指スコトヲ許さヌ性質デアル、然ラバ此獨占事業ヲ放棄シ、若クハ之ヲ繰延ヘ、若クハ之ヲ打切ルト云フヤウナ行爲ハ、之ハ國家的罪惡ト謂ハナケレバナラスト私ハ考ヘル、ソコデ又第二ニハ此繼續豫算ノ性質上カラ私ハ之ヲ繰延ベルト云フコトハ、甚ダ亂暴デアルト云フコトヲ申上ダタノデアリマス、諸君、加藤友三郎内閣ノ當時ニ於キマシテ、大木鐵道大臣ノ時ニ此鐵道敷設法ノ精神ニ則リマシテ新線二十八線ヲ選擇致シテ、之ヲ即チ帝國議會ニ提出シテ協贊ヲ經タノデアル、即チ是ガ此鐵道計畫ノ本ヲ爲シテ居ルモノニアリマス、諸君、豫算ハ申スマズマテモナク一年限リニ是ガ協贊ヲ經ベキモノナルニ私ハ驚カザルヲ得ヌノデアリマス、能クモ政友會諸君ガ之ニ我慢セラレタモノデアルト思フ、其雅量ノ宏大トハ、私ハ到底之ニ忍びコトハ出來ヌノデアリマス、能クモ政友會諸君ガ之ニ我慢セラレタモノデアルト思フ、其雅量ノ宏大トハ、私ハ之ニ反對ノ理由ト致シマシテハ、設法ノ精神ヨリ鑑ミマシテ二、三反対ヲシテ見タイノデアリマス、諸君、敷設法ヲ制定セラレマシタルコトハ、年々内閣ノ迭ル毎ニ其鐵道政策ノ根本ヲ變更セラル、コトガ甚ダ國家ノ爲ニ憂慮ベキコトデアル、是ニ於キマシテ、即チ鐵道ノ將來ニ於ケル計畫ヲ確立致シマシテ、サウシテ法律ヲ以テ此根本義ヲ樹立致シタコトハ諸君ノ

算ノ性質ハ一定ノ年限ヲ溢リニ變ヘルコトハ出來ナイ性質ヲ帶ビテ居ルモノニアリマス、然ルニ現内閣ニ於キマシテハ其鐵道政策ニ於キマシテ、從來ノ計畫ヲ二年、或ハ三年ハ愚カ甚ダシキニ至ラテハ五年六年ノ繩延ヲ斷行シテ居ルノデアリマス、諸君、斯ノ如ク五年若クハ六年ト云フガ如キ長期ノ繩延ハ殆ド之ハ打切り同然ノモノデアルテ、繩延ト云フコトハ出來ナイモノデアルト私ハ斷言スル、現内閣ノ諸公ハ動モ又レバニロ目ニハ地震ヲ持出しシ、或ハ震災ヲ通リテ、然ルニ七千三百万圓ヲ計上シテ居ルノデアルカト申シマスレバ、大正十四年即チ今年度ヨリ十九年ニ至ル六年箇年ノ間、四千六百万圓ツ、ト計上スルコトニ相成リマシテ、殆ド從來ノ計畫ノ其半額ニモ過ギナイノデアリマス、諸君此四千六百万圓ト云フコトガ、單ニ今年度ニ止マルナラバ、或ハ是デ我慢スルコトモ出來ルカモ知レヌ、併ナカラ諸君ハ知ルヤ知ラズヤ、此十四年度カラ十九年ニ至ル所ノ六年間、四千六百万圓ト云フ過少ナル建設費ヲ計上致シマシタルコトハ、私ハ到底之ニ忍びコトハ出來ヌノデアリマス、能クモ政友會諸君ガ之ニ我慢セラレタモノデアルト思フ、其雅量ノ宏大トハ、私ハ之ニ反對ノ理由ト致シマシテハ、設法ノ精神ヨリ鑑ミマシテ二、三反対ヲシテ見タイノデアリマス、諸君、敷設法ヲ制定セラレマシタルコトハ、年々内閣ノ迭ル毎ニ其鐵道政策ノ根本ヲ變更セラル、コトガ甚ダ國家ノ爲ニ憂慮ベキコトデアル、是ニ於キマシテ、即チ鐵道ノ將來ニ於ケル計畫ヲ確立致シマシテ、サウシテ法律ヲ以テ此根本義ヲ樹立致シタコトハ諸君ノ

御承知ノ通りデアル、然ルニ現内閣ハ此敷設法ノ精神ヲ無視致シマシテ、サウシテ斯ノ如ク其計畫ニ大異動ヲ生ズルガ如ヒ變更ヲ加ヘラレタコトハ、吾々ハ是レ鐵道計畫ノ根本ノ破壊ト言ウテ敢テ差支ハナイト思フノデアリマス、只今私ガ此現内閣ノ設計ノ一端ヲ見マスト云フト、實ニ私共ハ甚ダ遺憾ニ堪ヘヌノデアリマス、先程申シマシタ通リニ、建設費トシテハ大正十四年ヨリ十九年マデハ僅ニ四千六百万圓、而シテ二十年カラ二十四年ニ至ル間ハ五千万圓、或ハ六千万圓ト云フ尻上リニ段々高クナアテ來テ居ルノデアル、諸君、此鐵道建設ノ計畫ハ宜シク年度ヲ進ムルニ從テ其金額が減少シテ行カナケレバナラヌ、何故カト申シマスルニ、此現在ノ計畫ハ現在ノ計畫ニ止マルモノデアリマスカラ、此殘リノ百二十一線ト云フモノノ段々、即チ敷設法ニアルガ如クニ漸次之ヲ計畫ヲシテ行カナケレバナラヌモノデアリマス、然ルニ現内閣ノ如ク段々其年度ヲ進ムルニ從テ段々向フガ高クナアテ來テ居ル、此年度尻ニ於キマシテ其金額が増加スルコトハ、即チ殘リノ百二十一線ノ計畫ヲ全ク阻礙スルモノデアルト言ヒ得ルノデアリマス、デ斯ノ如クニ此計畫ヲ見マスレバ、殆ド現在ノ計畫タル所ノ二十八線ハ或ハ之ヲ設計ガ出来ルカモ知レマセヌガ、殘リノ百二十一線ハ將來全ク是ノ計畫ヲ見ルコトハ出來ナイ結果ヲ見ルコトハ明デアリマス、吾々ノ即チ此既定計畫ノ遂行ヲ希望スル、即チ既定計畫ノ遂行ヲ要求スル所以ノモモハ單リ此現在ノ計畫ニ止マラズシテ、後ニ殘ル所ノ鐵道網タル所ノ國家百年ノ大計ヲ譲ジナケレバナラヌト云フニアルノデアリマス、然ルニ拘ラズ、現内閣ノ此計畫ニ依リマスレバドン、後ニ至ル從テ難境ニ接スルノデアリマスカラ、到底百年經テモ千年經テモ此計畫ハ成就スルコトガ出來ナイノデ

アル、私ハ最後ニ一言申シテ見タイノデアル、元來此官業ト云フモノハ、私ハ時ヲ擇シテ行ハナケレバナラヌト云フ意見ヲ持テ居ル、時トハ何カト申シマスレバ、即チ又勞銀ヲ吊上げテ、サウシテ高イ物價ヲ購入シナケレバナラヌト云フ非常ナ不利益ヲ持テ居ルモノデアリマス、然ルニ不最氣ニ至リマシテ之ヲ實行致シマスル時ニ於テハ、其勞銀ノ如キ、又其物價ノ如キ、低廉ニシテ之ヲ購入スルコトガ出來ル、而シテ又一面ニハ失職者ヲ救濟スルコトモ出來、一舉兩得デアルノデアリマス(拍手)宣シク此國家タルモノガ事業ヲ起シマスルニハ、此時ヲ最モ擇バナケレバナラヌ、今日ノ如ク緊縮ニ緊縮ヲ重ネ、行政整理ニ整理ヲ積シテ、サウシテ失職者頻出ノ今日ニ於キマシテハ最モ此事業ヲ盛ニシ、最モ此既定ノ計畫ヲ遂行スルニ其時ヲ得タルモノデアルト云フコトヲ私ハ確信スル者デアリマス(拍手)要スルニ吾々ハ此現内閣ノ鐵道計畫ハ全ク國家ノ根本方策タル所ノ鐵道計畫ヲ破壊スルモノデアルコトヲ信ジ、茲ニ本決議案ニ賛成ヲ致シマス所以デアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 板野友造君
(板野友造君登壇)
○板野友造君 本案ニ反対ヲ致シマス、反對ノ理由ハ餘り詳細ニ述ベル必要ガナイト居ルコトハ明デアリマス、吾々ノ即チ此既定計畫ノ遂行ヲ希望スル、即チ既定計畫ノ遂行ヲ要求スル所以ノモモハ單リ此現在ノ計畫ニ止マラズシテ、後ニ殘ル所ノ鐵道網タル所ノ國家百年ノ大計ヲ譲ジナケレバナラヌト云フニアルノデアリマス、然ルニ拘ラズ、現内閣ノ此計畫ニ依リマスレバドン、後ニ至ル從テ難境ニ接スルノデアリマスカラ、到底百年經テモ千年經テモ此計畫ハ成就スルコトガ出來ナイノデ

アル、私ハ最後ニ一言申シテ見タイノデアル、元來此官業ト云フモノハ、私ハ時ヲ擇シテ行ハナケレバナラヌト云フ意見ヲ持テ居ル、時トハ何カト申シマスレバ、即チ又勞銀ヲ吊上げテ、サウシテ高イ物價ヲ購入シナケレバナラヌト云フ非常ナ不利益ヲ持テ居ルモノデアリマス、然ルニ不最氣ニ至リマシテ之ヲ實行致シマスル時ニ於テハ、其勞銀ノ如キ、又其物價ノ如キ、低廉ニシテ之ヲ購入スルコトガトモ出来ル、而シテ又一面ニハ失職者ヲ救濟スルコトモ出來、一舉兩得デアルノデアリマス(拍手)宣シク此國家タルモノガ事業ヲ起シマスルニハ、此時ヲ最モ擇バナケレバナラヌ、今日ノ如ク緊縮ニ緊縮ヲ重ネ、行政整理ニ整理ヲ積シテ、サウシテ失職者頻出ノ今日ニ於キマシテハ最モ此事業ヲ盛ニシ、最モ此既定ノ計畫ヲ遂行スルニ其時ヲ得タルモノデアルト云フコトヲ私ハ確信スル者デアリマス(拍手)要スルニ吾々ハ此現内閣ノ鐵道計畫ヲ破壊スルモノデアルコトヲ信ジ、茲ニ本決議案ニ賛成ヲ致シマス所以デアリマス(拍手)

トヲ仰セニナルカ、謹シテ提出者ノ説明ヲ聽キタインデアル(ヒヤー)拍手)御承知ノ通り豫算ニ重ス所ニ——鐵道計畫ガ豫算ニ行ハナケレバナラヌト云フ意見ヲ持テ居ル、時トハ何カト申シマスレバ、今マデ又勞銀ヲ吊上げテ、サウシテ高イ物價ヲ購入シナケレバナラヌト云フ非常ナ不利益ヲ持テ居ルモノデアリマス、然ルニ不最氣ニ至リマシテ之ヲ實行致シマスル時ニ於テハ、其勞銀ノ如キ、又其物價ノ如キ、低廉ニシテ之ヲ購入スルコトガトモ出来ル、而シテ又一面ニハ失職者ヲ救濟スルコトモ出來、一舉兩得デアルノデアリマス(拍手)宣シク此國家タルモノガ事業ヲ起シマスルニハ、此時ヲ最モ擇バナケレバナラヌ、今日ノ如ク緊縮ニ緊縮ヲ重ネ、行政整理ニ整理ヲ積シテ、サウシテ失職者頻出ノ今日ニ於キマシテハ最モ此事業ヲ盛ニシ、最モ此既定ノ計畫ヲ遂行スルニ其時ヲ得タルモノデアルト云フコトヲ私ハ確信スル者デアリマス(拍手)要スルニ吾々ハ此現内閣ノ鐵道計畫ヲ破壊スルモノデアルコトヲ信ジ、茲ニ本決議案ニ賛成ヲ致シマス所以デアリマス(拍手)

トヲ仰セニナルカ、謹シテ提出者ノ説明ヲ聽キタインデアル(ヒヤー)拍手)御承知ノ通り豫算ニ重ス所ニ——鐵道計畫ガ豫算ニ行ハナケレバナラヌト云フ意見ヲ持テ居ル、時トハ何カト申シマスレバ、今マデ又勞銀ヲ吊上げテ、サウシテ高イ物價ヲ購入シナケレバナラヌト云フ非常ナ不利益ヲ持テ居ルモノデアリマス、然ルニ不最氣ニ至リマシテ之ヲ實行致シマスル時ニ於テハ、其勞銀ノ如キ、又其物價ノ如キ、低廉ニシテ之ヲ購入スルコトガトモ出来ル、而シテ又一面ニハ失職者ヲ救濟スルコトモ出來、一舉兩得デアルノデアリマス(拍手)宣シク此國家タルモノガ事業ヲ起シマスルニハ、此時ヲ最モ擇バナケレバナラヌ、今日ノ如ク緊縮ニ緊縮ヲ重ネ、行政整理ニ整理ヲ積シテ、サウシテ失職者頻出ノ今日ニ於キマシテハ最モ此事業ヲ盛ニシ、最モ此既定ノ計畫ヲ遂行スルニ其時ヲ得タルモノデアルト云フコトヲ私ハ確信スル者デアリマス(拍手)要スルニ吾々ハ此現内閣ノ鐵道計畫ヲ破壊スルモノデアルコトヲ信ジ、茲ニ本決議案ニ賛成ヲ致シマス所以デアリマス(拍手)

トヲ仰セニナルカ、謹シテ提出者ノ説明ヲ聽キタインデアル(ヒヤー)拍手)御承知ノ通り豫算ニ重ス所ニ——鐵道計畫ガ豫算ニ行ハナケレバナラヌト云フ意見ヲ持テ居ル、時トハ何カト申シマスレバ、今マデ又勞銀ヲ吊上げテ、サウシテ高イ物價ヲ購入シナケレバナラヌト云フ非常ナ不利益ヲ持テ居ルモノデアリマス、然ルニ不最氣ニ至リマシテ之ヲ實行致シマスル時ニ於テハ、其勞銀ノ如キ、又其物價ノ如キ、低廉ニシテ之ヲ購入スルコトガトモ出来ル、而シテ又一面ニハ失職者ヲ救濟スルコトモ出來、一舉兩得デアルノデアリマス(拍手)宣シク此國家タルモノガ事業ヲ起シマスルニハ、此時ヲ最モ擇バナケレバナラヌ、今日ノ如ク緊縮ニ緊縮ヲ重ネ、行政整理ニ整理ヲ積シテ、サウシテ失職者頻出ノ今日ニ於キマシテハ最モ此事業ヲ盛ニシ、最モ此既定ノ計畫ヲ遂行スルニ其時ヲ得タルモノデアルト云フコトヲ私ハ確信スル者デアリマス(拍手)要スルニ吾々ハ此現内閣ノ鐵道計畫ヲ破壊スルモノデアルコトヲ信ジ、茲ニ本決議案ニ賛成ヲ致シマス所以デアリマス(拍手)

ノデアル、改良ハ益金ニ依リ、建設ハ公債ニ依テ居、ダノデアル、其通リデ押切ルコトガ出來ナイカラシテ、今マデニシテ常ニ屢々繰延ベラレテ居タノデアル、今日ノ財政ニ於テ更ニ之ヲ公債ニ依テ建設費ヲ支辨スルト云フコトニナレバ、此公債政策ガ果シテ成功スルト云フコトヲ論證サレザル限りハ此議論ハ立チマセヌ（拍手起）鐵道ノ現狀ヲ御覽ナサイ、御承知ノ如ク既ニ目星シイ處ニハズツト出來テ居ル、是カラ更ニ鐵道ヲ殖スコトニナレバ利益ハ次第二薄タナル、之ヲ今日公債ヲ募集シテドン～新シイモノヲ建設スルナドト云フ左様ナ亂暴ナコトハ斷ジテ出來マセヌ、ソレカラ又改良ヲ先ニスベシト云フ御議論モアリマシタガ、是ハ既ニ山道君カラモ御詫ニナッテ居リマスカラ一切之ヲ省キマス、要スルニ此決議案ノ理由ハ理由ヲ成シテ居ラス（拍手）今日ニ於テハ鐵道ノ根本計畫ヲ破壊スルモノデモナケレバ、唯僅ニ二年ヲ繰延ベテサウシテ此計畫ヲ遂行スルト云フノデアルカラ、何モ遂行ヲ更ニ迫ルノ決議ハ要ラナイ譯ニナル、吾々ハ斯様ナ意味ヲ餘り之ニ反対ノ理由ヲ述べル必要モアリマセヌ、提案ノ理由モ明デナイ程ナ本案ニ對シテハ是ダケデ結構デアラウト思フ、是ダケ申シテ置キマス

○副議長（小泉又次郎君） 大園榮三郎君

〔大園榮三郎君登壇〕
○大園榮三郎君 最早贊否ノ議論モ餘論盡キタヤウデアリマスルカラ、私ハ簡単ニ本問題ニ付テ賛成ノ意見ヲ申上ダトイ思ヒマス、現内閣ノ國有鐵道ノ施設ニ對シテハ如何ナル改良計畫ヲ立ツルヤ、第二ニハ國民生活ニ關係ノ深キ所ノ運貨問題ヲ如何ニスベキヤ、第三ニハ只今問題ニナッテ居ル所

ノ建設線ノ事柄デアルト思フノデアリマス、此第一ノ既成線ノ改良ニ付テハ現政府ノ提出シタル所ノ豫算ヲ見マスルト、大正十四年度ニ於ケル所ノ改良費ハ一億二千二百萬圓デアリマス、之ヲ過去六年間、即チ大正八年以後ノ改良費ノ決算並ニ決算見込額ト比較シテ見マシタナラバ、其額ニ於テ殆ド相違ハナイノデアル、然ルニ現鐵道省當局者ハ從來ノ内閣ガ常ニ建設ニ重キヲ置イテ改良ヲ等閑ニ付シシタト云フコトヲ屢々力説セラレルノデアリマス、併ナグラ數字ガ明ニ之ヲ反證シテ居ルノデアリマス、只今板野君ガ建設ハ各政黨政派ガ黨勢擴張ノ爲ニ利用シテ斯ノ如ク厖大ナル計畫ヲ爲シタルモノデアルト云フコトヲ言ハレマシタガ、併ナガラ過日仙石鐵相ガ建設費三千三百萬圓ヲ計上シタル時ニ是ガ増加ヲ迫ルタノハ憲政會ノ諸君モ然リ、政友會ノ諸君モ然リ、又革新俱樂部ノ皆サンデハアリマセヌカ（拍手）而シテ鐵道改良豫算ニ付テ仙石鐵相ハ如何ナル獨得ノ計畫ヲ樹テラレタカヲ吾々ハ委員會デ承、タ、然ルニ之ニ對シテハ新規ノ何等ノ計畫ハナイ前當局ニ於テ豫算ニ於テモ政府ハ其增收ヲ見テ、且下頗モ投下資本ニ對シテ八分五厘ニ上々テ居ルノデアル、又十三年ノ豫算竝三十四年度ノ豫算ニ於テモ政府ハ其增收ヲ見テ、且下頗モ不景氣デ商工業ノ沈暮ノ時代デアルニモ拘ラズ、十三年度ニ於テハ何百万圓、或ハ十四年度ニ於テ三千何百万圓ト云フモノヲ計上シタルニ過ギナイト云フ御詫デアル、併ナガラ途ハ洋洋々デアルト云フコトハ、仙石鐵相モ認メラレタ所ノ特別會計モ頗ル其成績ガ宜シクテ、事實健實ナルモノトシテ前途ハ洋洋々デアルト云フコトハ、仙石鐵相モ願ヒマス（ト呼フ者アリ）鐵相ノ特別會計ノ基礎ガ斯ノ如ク鞏固デアリテ、前途又憂フベキ所ガナイニ拘ラズ、政府ガ建設費ヲ計上スルニ當シテ、唯單純ニ一千五百萬圓ダケヲ公債ヨリ仰ギ支出スルト云フノハ、特別會計ノ能力ヲ無視シ、特別會計ノ威力ヲ何等發揮スル所ガナイ、斯ノ如キ豫算ハ鐵道省デド何モナイノデアル、（〔簡単ニ呼ヒマス「分ラヌ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ）

○副議長（小泉又次郎君） 暫ク御静肅ニ願

○大園榮三郎君（續） 戰後英國ニ於テ物價ノ高イコトハ諸君ノ認ムル所デアル、之ニ對シテ政府ノ對策ヲ問へバ、政府並ニ國民ノ消費節約ニ待ツ外ハナイト云フ御詫デアル、而シテ鐵相ハ此運貨問題ニ付テ如何ナル計畫ヲ有セラレルカト云ヘバ、是亦殆ド何モナイノデアル、（〔簡單ニ呼ヒマス）

○副議長（小泉又次郎君） 是ニテ討論ハ終結致シマシタ、松田源治君外二十名ヨリ本案ノ採決ハ記名投票ヲ以テセラレンコトノ要求ガアリマシタ、仍テ記名投票ヲ以テ決シマス、決議案ニ贊成ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票ヲオ持アランコトヲ希望致シマス、——閉鎖——氏名點呼ヲ行ヒマス

〔書記官投票ノ數ヲ計算ス〕

○副議長（小泉又次郎君） 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——投票漏閉鎖——開匣——開鎖

○副議長（小泉又次郎君） 投票ノ結果ヲ書

馬場 義興君	濱田 國松君
西村丹治郎君	富永孝太郎君
土井 権大君	大口 喜六君
大内 暁三君	高島 兵吉君
田崎 信載君	植原悅二郎君
山本 芳治君	小橋藻三衛君
古島 一雄君	秋田 清君
齊藤真三郎君	清瀬 一郎君
關 直彦君	今里準太郎君
礪部 保次君	岡田 忠彦君
岡田 溫君	若宮 貞夫君
若尾 瑞八君	長岡 外史君
山本 憲平君	松山兼三郎君
平井光三郎君	

○副議長(小泉又次郎君) 是ニテ日程ハ終了致シマシタ、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後七時二十七分散會

同 同 一 一七 一 頁	衆議院議事速記録第十號中正誤
同 同 三 二八 行	
三六 三五	瑞西 誤
瑞西	瑞典 正
瑞典	